

夏休み体験学習プログラム



子ども アドベンチャー カレッジ 2024

開催日

8.6(火) 7(水) 8(木)

会場

横浜市内各所

※詳細はウェブサイトをご覧ください

横浜市教育委員会

実施報告書



目 次

I	子どもアドベンチャーカレッジとは	1
II	子どもアドベンチャーカレッジ 2024 開催実績	
1	プログラム実施者（企業・団体等）の募集	2
2	学生サポーターの募集	2
3	プログラム参加者（児童）の募集	3
4	広報用チラシ	4
III	子どもアドベンチャーカレッジ 2024 アンケート結果	
1	参加者向けアンケート	5
2	企業・団体等向けアンケート	6
3	学生サポーター向けアンケート	9
IV	プログラム実施報告	
	No が 白抜き のプログラムは学生サポーターの派遣有	
	【青葉区】	
1	SDGs チャレンジ！車のハンドルでオリジナルの時計を作ろう！ 株式会社アップガレージグループ	11
	【旭区】	
2	ごみ焼却工場で機械・電気のお仕事を学ぼう！ 横浜市資源循環局 旭工場	13
3	みんなを下から支えてる 意外と知らない、知ってほしい下水道 管清工業株式会社（横浜 MLG 包括 JV）	15
	【磯子区】	
4	「科学」ってなんだ？ はまぎん こども宇宙科学館	17
5	みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう！社会教育士のお仕事 横浜市社会教育コーナー	19
6	病院のお仕事体験ツアー 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	21
	【神奈川区】	
7	クルマのロボットを動かしてみよう！ マツダ株式会社	23

8	情報発信のお仕事を体験しよう！	25
	株式会社 LOCAL JAPAN、株式会社 AMAIN	
9	大地震発生！そのとき、わたしにできること	27
	横浜市消防局横浜市民防災センター	
10	地域のコミュニティスペースでまちづくりのお仕事を体験しよう！	29
	大神商店会	
11	動物愛護センターのお仕事を学ぼう！	31
	横浜市動物愛護センター	
12	「夏休み石の勉強会」	33
	神奈川鉱物研究会	
13	MANABIYA「一個の石けんから地球環境を考える」	35
	太陽油脂株式会社	
14	ロボットとパネルでプログラミングを楽しもう！	37
	株式会社 ICON	
	【金沢区】	
15	オートボックスのお仕事を体験しよう！	39
	株式会社 アイエー	
16	元気なからだをまもる！ ～看護の道具と技を使ってみよう～	41
	横浜市立大学医学部看護学科	
17	シーサイドライン車両基地を探検しよう！	43
	株式会社横浜シーサイドライン	
18	不用になった素材で工作しよう！アップサイクル体験！！	45
	武松商事株式会社	
19	みんなの生活をささえるごみ処理のお仕事	47
	横浜市資源循環局 金沢工場	
	【港南区】	
20	福祉のお仕事ワクワク体験	49
	特別養護老人ホーム 芙蓉苑	
	【港北区】	
21	広報お仕事体験「選手紹介をつくってみよう」	51
	プロアイスホッケーチーム 横浜 GRITS	
22	世の中を便利にするコンピュータのお仕事を学ぼう！	53
	株式会社タスクフォース	
	【都筑区】	
23	学芸員と一緒に博物館の裏側を探検しよう！	55
	横浜市歴史博物館	
24	漢方ってどんなもの？昔の道具をつかった香り袋づくり体験！	57
	ジェーピーエス製薬株式会社	

25	ごみ焼却工場のお仕事を体験しよう！ 横浜市資源循環局 都筑工場	59
【戸塚区】		
27	赤ちゃんのお世話や抱っこを体験してみよう！ 戸塚区地域子育て支援拠点とつとの芽（NPO 法人子育てネットワークゆめ）	61
28	あなたも看護師のお仕事を体験してみませんか。 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校	63
29	海の大切さを伝えよう ～楽しい海藻おしば教室～ UMIMORI～海もり～	65
30	気象予報士といっしょにお天気について学ぼう！ よこはま気象予報士サークルひまわり	67
31	子ども薬剤師体験セミナー 横浜薬科大学	69
32	誰もが天才画家！色の魅力を体感しよう お絵描き工房 光	71
33	太陽光パネルと TESLA の蓄電池で安心の生活を学ぼう 株式会社アイエーエナジー 辻・本郷スマートアセット株式会社	73
34	図書館のお仕事を体験しよう！ 男女共同参画センター横浜	75
35	『なんだろう』の森への大冒険！ ～子どものための哲学カフェ アートの時間	77
36	手術で使う道具には工夫がたくさん！ ～お医者さんが手術で使う道具を触って体験してみよう～ 株式会社パイオラックスメディカルデバイス	79
【中区】		
37	映像を iPad でグループ制作して映像祭に参加しよう！ キッズディレクター	81
38	オリジナルカードゲームの制作を体験しよう！ 関東学院大学 佐々ゼミナール	83
39	学芸員の仕事を体験してみよう！ 横浜人形の家	85
40	看護師さんのお仕事を知ろう！ 独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院	87
41	議事堂探検！議員を体験！ 横浜市議会局政策調査課	89
42	キッズ・マネースクール 横浜信用金庫	91

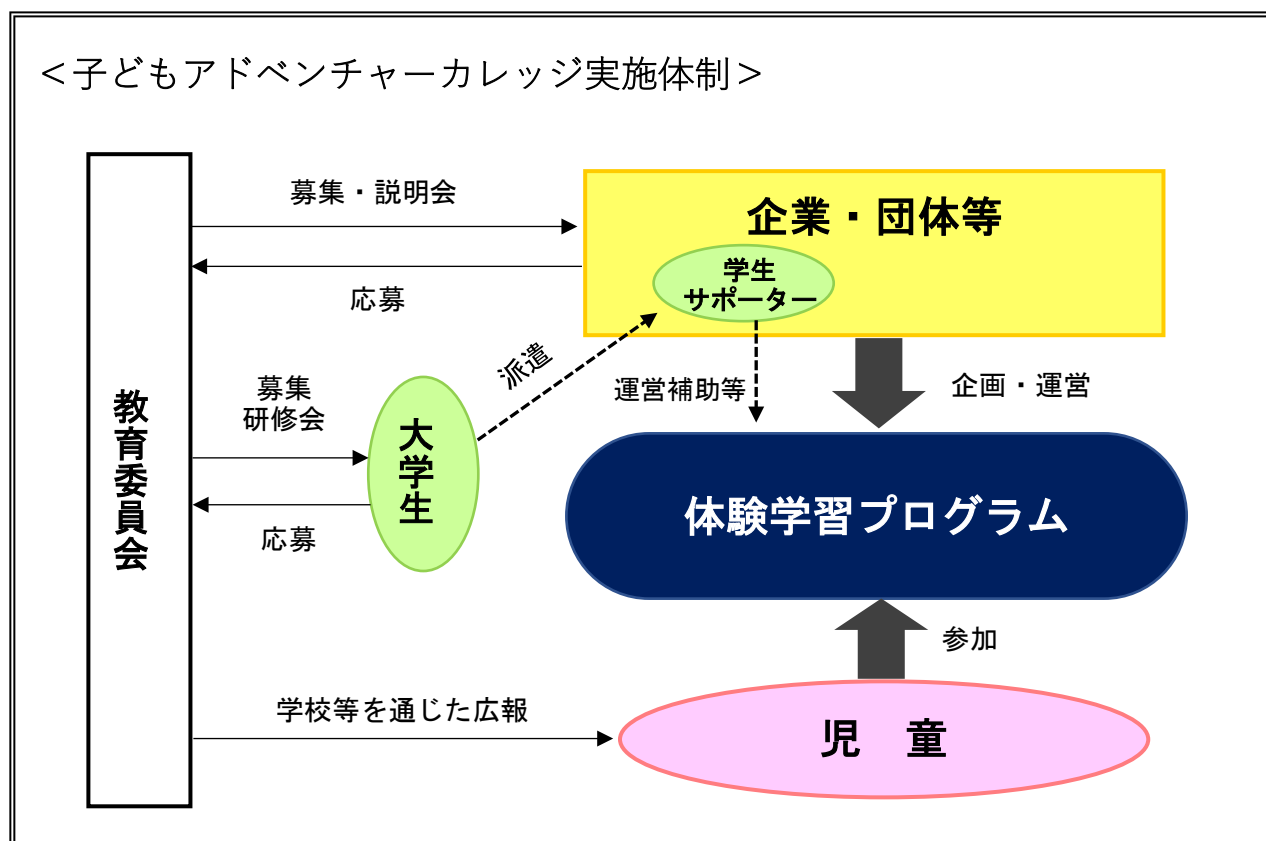
43	建設のお仕事を体験してみよう！	93
	一般社団法人横浜建設業協会／横浜建設業青年会	
44	子どもアドベンチャーカレッジ 2024 ～お金の重さを感じよう！～	95
	株式会社神奈川銀行	
45	「情報の森」冒険の心得を取材し、新聞にしよう！	97
	ニュースパーク（日本新聞博物館）	
46	スポーツチームの色々なお仕事を学んでみよう！	99
	横浜市にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 協力：横浜F・マリノス、 横浜エクセレンス、横浜FC、横浜キャノンイーグルス、横浜ビー・コルセアーズ	
47	クイズ！「税金」サマースクール	101
	～もしも、税金がない世界だったら？～ 横浜市租税教育推進協議会	
48	脱炭素社会実現に役立つバイオマス発電所の仕組みを学ぼう！	103
	三菱重工パワーインダストリー株式会社	
49	ダンボールで横浜のジオラマを作って、謎解きタイムトリップへ！	105
	一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク	
50	朝食の重要性を学び、ホテルシェフと一緒に調理&試食を楽しもう！	107
	一般社団法人全日本司厨士協会 関東総合地方本部神奈川県本部	
51	夏休み子ども貿易教室	109
	公益社団法人横浜貿易協会	
52	日銀の仕事にチャレンジ！	111
	日本銀行横浜支店	
53	ペーパークラフトを使って、まちをデザインしよう！	113
	横浜市都市整備局景観調整課	
54	ペーパータワーチャレンジ！	115
	公益財団法人横浜市建築保全公社	
55	水と野菜のふるさと道志村と昭和村を体験しよう！	117
	横浜市政策経営局広域行政課 横浜市水道局広報課 山梨県道志村 群馬県昭和村	
56	横浜の未来を考えよう！～データを使って都市経営体験～	119
	横浜市政策経営局データ経営課	
	【西区】	
57	木のストローを作ってSDGsの大切さを学んでみよう！	121
	ヨコハマSDGsデザインセンター	
58	コールセンターお仕事体験！もしも自動車事故がおきたら？	123
	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	

59	最先端テクノロジーでアライナー矯正をつくろう！ アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社	125
60	「食べる」から世界を考えよう！ 横浜市国際局グローバルネットワーク推進課	127
61	夏休みの思い出に！「焼肉のたれ」手作り体験！ エバラ食品工業株式会社	129
62	みなとみらい線お仕事体験 横浜高速鉄道株式会社	131
63	SDGs を通じて NPO のお仕事を理解しよう！ 特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.	133
64	看護やりハビリのお仕事を体験してみよう！ 昭和大学保健医療学部	135
65	ホールのお仕事探検ツアー 横浜市緑区民文化センター みどりアートパーク 【磯子区、戸塚区、南区】※複数区で実施	137
66	めざせ！お箸マイスター ～箸を作って、使って、考えよう～ NPO 法人 みんなのお箸プロジェクト	139
V	参考資料（プログラム詳細一覧）	141

I 子どもアドベンチャーカレッジとは

市内の小学生を対象に、「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するため、夏休み期間を活用し、民間企業や団体、大学、公的機関（以下、企業・団体等）などの協力を得て、多様な体験学習プログラムを実施します。

また、一部のプログラムでは、横浜市が公募する「学生サポーター」を運営補助役として配置することで、市民活動の新たな担い手として期待される若者の人材育成を図ります。



～ 体験学習プログラムのポイント ～

主体的・対話的で深い学びのきっかけとするため、次の要素を各プログラムに盛り込んでいます。

- ◆ 子どもたちの**学ぶ意欲を高めるための講話**を実施
(学校で学んだことや体験したことが、現在の仕事や活動にどう生かされているか等)
- ◆ 子どもたちが対話を通じて主体性を高められるよう、**グループディスカッション**や、体験を通じた気づきや感想を共有する**振り返り会**など、**子どもたちの発言の機会**を確保



学生サポーターによるグループディスカッションの進行の様子

II 子どもアドベンチャーカレッジ 2024 開催実績

- 【開催日】 令和6年8月6日（火）、7日（水）、8日（木）
- 【主催】 横浜市教育委員会
（事務局：横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課）
- 【対象者】 市内在住または在学の小学3～6年生
- 【実施場所】 市内各所
- 【参加方法】 事前申込制（応募者多数の場合抽選）
- 【参加費】 原則無料（一部プログラムでは、材料費等の実費負担あり）
- 【プログラム数】 65プログラム
- 【参加児童数】 2,178名 【学生サポーター】 23名
- ※プログラムにより、日時・場所・対象学年・定員が異なります。
各プログラムの詳細は、95ページ「プログラム一覧（詳細）」を参照ください。

1 プログラム実施者（企業・団体等）の募集

- 【募集期間】 令和6年2月20日（火）～ 令和6年3月21日（木）
- 【説明会】 令和6年5月20日（月）（オンライン開催）
- ・プログラム実施上の注意、緊急時の対応、募集に関する注意事項など
 - ・運営マニュアル配付

2 学生サポーターの募集

- 【募集期間】 令和6年4月30日（火）～ 令和6年6月3日（月）
- 【事前説明会】 令和6年5月23日（木）（オンライン開催）
- 【活動内容】 ① 学生サポーター研修会1：令和6年6月11日（火）
- ・社会人マナーの学習
 - ・個人目標設定
- ② 学生サポーター研修会2：令和6年7月1日（月）
- ・派遣プログラム先とのやり取りの共有（グループワーク）
 - ・子どもの言葉を引き出すコミュニケーション・スキルの習得（グループワーク）
- ③ 学生サポーター研修会3：令和6年8月1日（木）（オンライン開催）
- ・直前での不安を解消するための意見交換等
- ④ 企業・団体等との事前個別打合せ
- ⑤ プログラムの運営補助（当日）
- 会場誘導、受付、グループディスカッション・振り返り会の進行等
- ⑥ 学生サポーター振り返り会：令和6年8月20日（火）

3 プログラム参加者（児童）の募集

【募集期間】 令和6年6月11日（火）～ 令和6年7月5日（金）

【周知方法】 ① 横浜市立小学校3～6年生（約12万人）に対して、学校を通じて
広報用チラシ（3～4ページ）を配布

② すぐーる（家庭と学校の連絡システム）を活用した配信

③ 横浜市ウェブサイトや各プログラムウェブサイトによる情報発信

【申込者数】 12,932人

【当選者数】 2,857人

4 広報用チラシ (A3サイズ2つ折り)

【表面・裏面】

夏休み体験学習プログラム

子どもアドベンチャーカレッジ 2024

参加者大募集!

日程 8.6(火)7(水)8(木) 横浜市内各所

横浜市教育委員会と民間企業や団体、大学、公的機関などが連携して、多様な体験学習プログラムを実施します。

対象 市内在住または在学の小学3～6年生 詳細は横浜市ウェブサイトをご覧ください。

申込期限 令和6年7月5日(金)17時まで 子どもアドベンチャーカレッジ2024

子どもアドベンチャーカレッジとは

「子どもアドベンチャーカレッジ」は、「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するために、市内の小学生を対象に実施する、働くことや学ぶことなどの体験学習プログラムです。夏休み期間を活用し、民間企業や団体、大学、公的機関などの協力を得て、多様なプログラムを実施しています。単なる「体験」で終わらないよう、実施プログラムには、次の2つの要素が盛り込まれています。

- ① 子どもたちの学び意欲を高める講話
- ② 子どもたちの発言力を高める「振り返り会」や「グループディスカッション」

熱中症予防にご協力ください

- 体調がすぐれないときは無理して参加しないでください。
- 飲み物を持参し、こまめに水分補給を行ってください。
- 通気性のよい服装や日よけ帽子をかぶるなど、暑さ対策に工夫をお願いします。
- 体験中に具合が悪くなったときはすぐにスタッフに声をかけてください。

お問合せ 横浜市教育委員会事務局 生涯学習文化財課
TEL:045-671-3282 E-mail: ky-adventure@city.yokohama.jp

【中面】

プログラム一覧

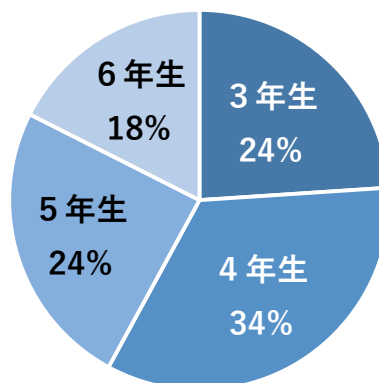
詳細は横浜市ウェブサイトをご覧ください。 子どもアドベンチャーカレッジ2024

会場(区)	プログラム	企業・団体等名称	会場(区)	プログラム	企業・団体等名称	会場(区)	プログラム	企業・団体等名称	会場(区)	プログラム	企業・団体等名称
1 青葉	子どもチャレンジ！ 車のハンドルでオリジナルの 絵紙を作ろう！	株式会社 アップカローラグループ	18 金沢	みんなの未来を 手の中になっただけで工作しよう！ アップサイクル体験！！	次郎商事株式会社	34 戸塚	自分たちの 得意なお仕事を体験しよう！ 男女共働き センター横浜	男女共働き センター横浜	51 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	公務員法人 横浜労働会
2 港	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市資源循環局 廃工場	19 金沢	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜市資源循環局 金属工場	35 戸塚	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	アートの時差	52 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	日本銀行横浜支店
3 港	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	資誠工業株式会社 (横浜M.G.ビル5F)	20 港南	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	特別支援人ホーム 横浜東区	36 戸塚	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	株式会社バイオワックス メディアカルデバイス	53 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜市資源循環局 資源センター
4 磯子	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	はまぎん 子ども学習支援	21 港北	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	プロイコキッカーチーム 横浜GRITS	37 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	キッズディレクター	54 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	公益財団法人 横浜市生涯学習センター
5 磯子	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市 社会教育コーナー	22 港北	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	株式会社スクアーズ 横浜	38 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	国東学院大学 宮崎ゼミナール	55 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
6 磯子	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市立中央 生涯学習センター	23 都筑	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜市環境研究所	39 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	横浜人形の家	56 中	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
7 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	マツダ株式会社	24 都筑	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	ジービーエス製菓 株式会社	40 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	独立行政法人 国際労働組合連合会 横浜中央病院	57 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	ココハマSDG デザインセンター
8 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	株式会社LOCAL JAPAN 株式会社AMAIN	25 都筑	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜市資源循環局 廃工場	41 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	横浜市労働 政策推進課	58 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	あいおいニッセイ エフシー 横浜労働会
9 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市環境局 横浜市民協働センター	26 磯子	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜市資源循環局 金属工場	42 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	横浜信用金庫	59 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	アライテクノロジー ソリューションズ株式会社
10 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	大井町商店	27 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜生涯学習センター (NPO法人アクトリンク)	43 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	一般社団法人横浜労働組合 横浜労働会	60 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
11 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市 労働政策センター	28 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	独立行政法人横浜労働 組合連合会 横浜中央病院	44 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	株式会社神奈川銀行	61 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	エフエフエフ株式会社
12 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	神奈川芸術研究会	29 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	UMIMORI-ほもろー	45 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	ニュースパーク (日本新聞流通)	62 西	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜労働政策推進課
13 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	太陽建設株式会社	30 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	よこはま音楽学校 サークルのみどり	46 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	株式会社 にぎひんズ NPO法人 SDGのまち	63 神	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	特定非営利活動法人 まきくろふたー SDG BEACH CITY
14 神奈川	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	株式会社ICON	31 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	横浜商科大学	47 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	横浜信用金庫	64 神	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
15 金沢	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	株式会社アイエー	32 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	お銀通信工 港 区	48 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	三菱重工(株) インダストリー株式会社	65 神	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
16 金沢	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	横浜市立大学 国際情報学部	33 戸塚	みんなの生活を かきまわす ごみ処理のお仕事	株式会社アイエー エフエフエフ	49 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	一般社団法人 横浜労働組合 横浜労働会	66 神	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	横浜生涯学習センター 横浜労働会
17 金沢	みんなが 大好きな夏休み の思い出に なろう！ 体験型 「夏休みのお仕事」をしよう！	株式会社 横浜シーサイドライン				50 中	「なんだろう」の 謎の箱 ～子どもたちの 好奇心を かきまわす～	一般社団法人 横浜労働組合 横浜労働会	67 神	「自分たち の得意なお仕事」 を体験しよう！	NPO法人 みんなの未来プロジェクト

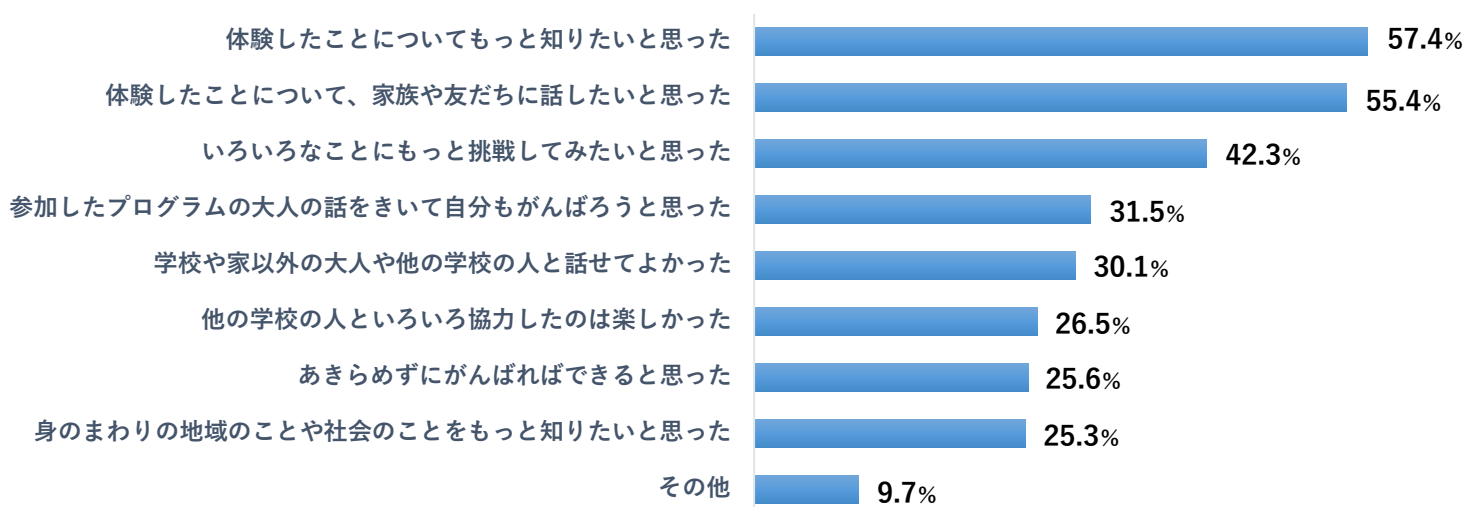
Ⅲ 子どもアドベンチャーカレッジ 2024 アンケート結果

1 参加者向けアンケート（回答数：359）

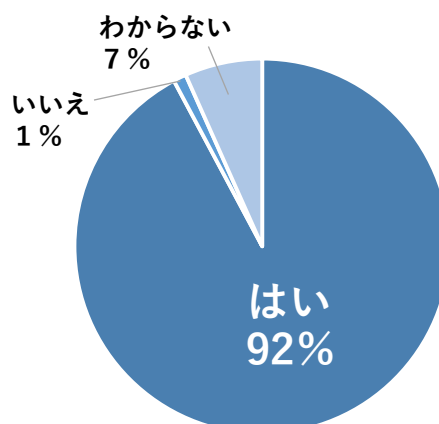
(1) 回答者の属性（学年）



(2) プログラムに参加した感想（複数選択可）



(3) 来年も参加したいですか。

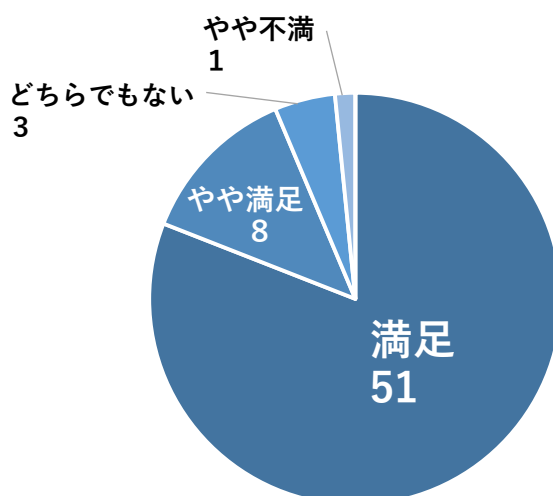


(4) 自由意見（抜粋）

- ・参加してみたいプログラムがたくさんあって楽しそうだった。学校で学ばないことを知ることができてよかった。また来年も参加したい。
- ・ふだん何気なく使っている下水道がどれだけ大切か知ることができてよかった。
- ・自分がSDGsを守って、今何ができるのか考えて生活したいと思うようになった。
- ・知らない人とのチームで緊張したけど、楽しかった。
- ・子どもが様々な職業を体験して興味の幅を広げたり、将来について考えたりするきっかけになる有意義なイベントだと思う。
- ・学校ではなかなか体験できないことに触れることができる。
- ・各チームにコーディネーターがついていて、安心して子どもを任せられた。大学生のボランティアや多くの職員の方が、子どもたちが楽しめるように工夫してくれてとてもありがたかった。
- ・大学生のスタッフが活躍していて好印象だった。
- ・進行するにつれて子ども同士がコミュニケーションを深めていた。
- ・帰宅後に、参加しなかった家族にたくさん話をしていた。
- ・参加して戻ってきた子どもの第一声が楽しかった！だった。その後も実験した内容を目を輝かせながら話し、さらに一緒に参加した初対面の子との交流の内容も話してくれた。

2 企業・団体等向けアンケート（回答数：63）

(1) 本事業参加への総合的な満足度

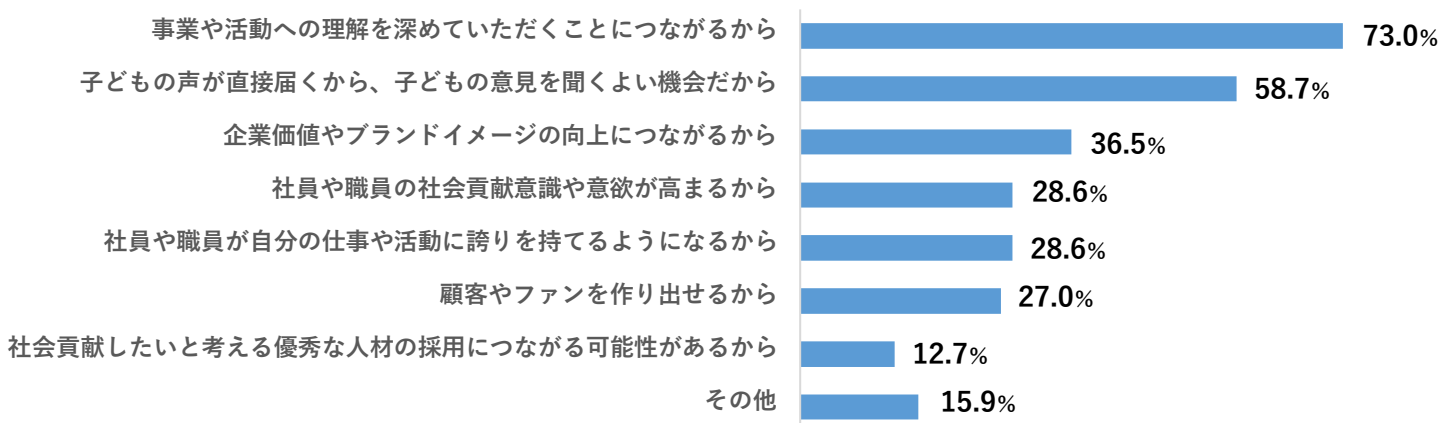


数字は回答したプログラム数
63 プログラムのうち、
59 が「満足」と「やや満足」と回答

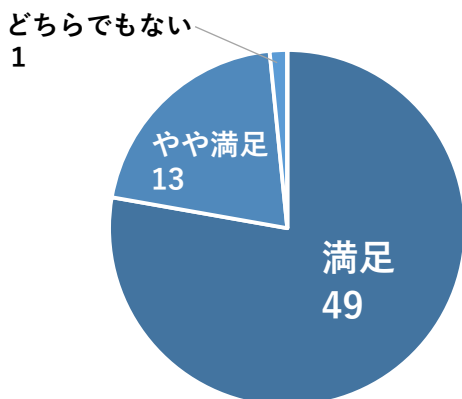
【その理由（自由記述、抜粋）】

- ・初めての参加だったが、子どもたちが楽しそうに体験する姿や振り返りで積極的に発言する姿などを見ることができ、参加して良かったと感じた。
- ・地域社会貢献のプログラムとして最適である。
- ・児童や保護者、学生ボランティアと直接接することで貴重な意見を得ることができ、またイベントを通じて当社スタッフの成長、協力体制を感じることができた。今後も、社会との関りを大切に、地域に根付いた店舗運営のきっかけ作りができたと感じている。
- ・参加者だけでなく学生サポーターにも達成感があるようなプログラムはどうすればよいかなど、普段とは違う経験ができた。
- ・このような経験を活かして将来高齢者に優しい人材また福祉で活躍する人材育成につながればよいと思う。また子どもたちの発想に職員も学ぶところが多々あった。
- ・団体の費用負担が多い（やや不満）

(2) 本事業参加への参加の目的（複数回答可）



(3) 本事業参加への参加の目的の達成度

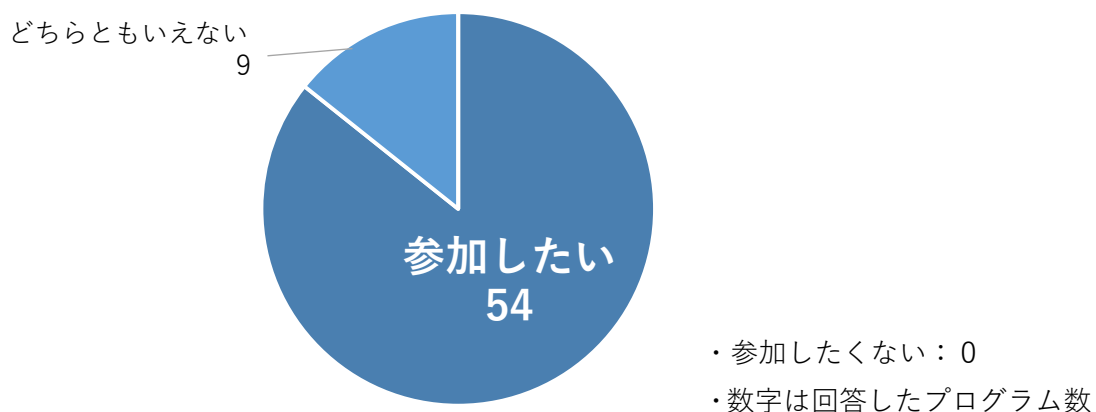


- ・「やや不満」「不満」：なし
- ・「どちらでもない」理由は、『さらにスムーズな運営のために、できることがあると思った』
- ・数字は回答したプログラム数

(4) 学生サポーター受入れについて（評）（学生サポーター受入れ企業・団体等のみ回答）

- ・子どもたちに楽しんでもらおうという意欲を感じた。振り返り会の司会も、自分で工夫し良くしようとの意欲を感じた。
- ・子どもたちと上手く接してくれ、与えられた役割を果たしてくれた。
- ・情熱のある学生たちであり、イベントを円滑に実施する上で大変に助けられた。
- ・アイスブレイクにクイズを実施するなど新鮮なアイデアを出していた。また、回をすすめるにあたって司会進行が上手くなっていったことに感心した。
- ・運営の視点で「こうしたらどうでしょう？」など案を出してくれたり、子どもたちへのサポートはもちろん「子どもたちに楽しい学びを！」という思いが共有できた。

(5) 次回の参加意向



【その理由（自由記述、抜粋）】

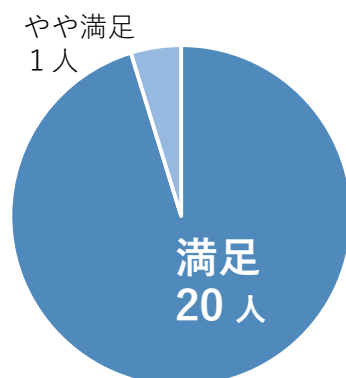
- ・参加者が楽しむ姿を見ることができたから。
- ・子どもたちにも興味を持ってもらえるようになったから。
- ・地域の方々から必要とされる企業として貢献したい。
- ・元気な子どもたちにこちら側も大きなパワーをもらえるから。
- ・子どもたちに仕事を説明したり、見てもらったりすることは労働のモチベーションの向上につながるから。

(以下、どちらともいえない主な理由)

- ・「年々酷暑となるので運営側も夏場は大変厳しい」「熱中症対策の負担」など暑さ対策に関するもの
- ・来年度の担当者の業務量や人員確保、予算などに関するもの
- ・参加者との対応（募集、抽選、結果連絡）への負担に関するもの

3 学生サポーター向けアンケート（回答数 21）

(1) 総合的な満足度

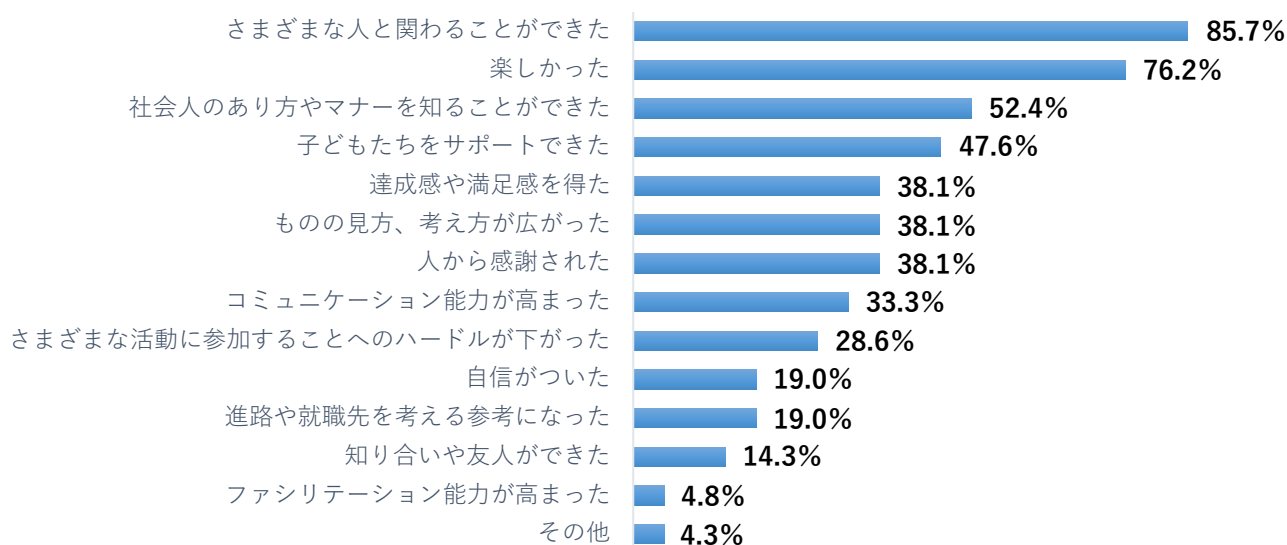


- ・「やや不満」「不満」：0%
- ・が「満足」と「やや満足」と回答

【その理由（自由記述、抜粋）】

- ・今まで自分からボランティア活動に参加した経験がなく不安なことが多かったが、企業の方としっかりとやり取りを重ねて準備し、子どもたちの生き生きとし楽しい笑顔があふれる活動ができたから。
- ・研修も充実しており、相談や質問なども気軽にすることができたため。
- ・研修を含め、様々な立場の人たちを意見を交換しながらボランティアをすることができ、自分の活動の幅を広げることができた。
- ・社会人マナーやメールの送り方など今後に役立つ学びをできたから。また、自分の取り組みを企業の方が暖かく見守って下さり、フィードバックしてくれたから。

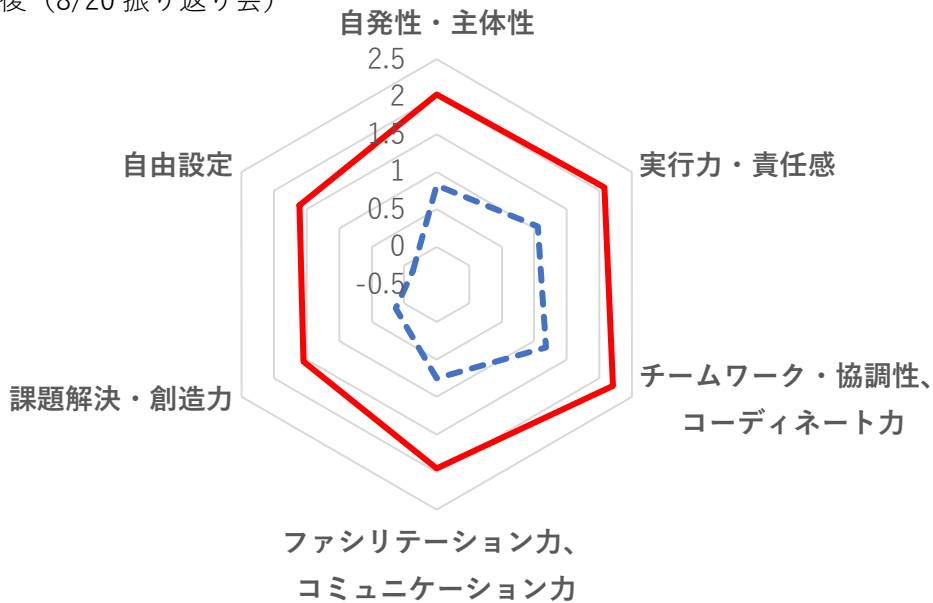
(2) 本事業に参加してよかったこと（複数選択可）



【学生サポーター研修会で実施】個人目標シート結果（提出 19 名平均）

--- 実施前（6/11 研修会 1）

— 実施後（8/20 振り返り会）



自由設定した目標：

臨機応変、柔軟性、対話力、子どもへの対応力、場づくり、人を巻き込む力、寄り添う力、集中力、考察力、社会人マナーなどの能力、度胸、説明力、語彙力、言葉遣い、要約力など

【学生サポーター研修会 2 ワークから抜粋】

Q. 子どもにステキな 1 日をプレゼントするために、あなたは何をしますか？

- ・笑顔で心がけて活動する☺ 私から積極的に声をかけにいく！ できればみんなに！ 私も楽しむ！ 楽しいを伝染させる！ 持ち前の明るさ・コミュニケーションで頑張ります。
- ・子どもと企業さんで話す場だけでなく、子ども同士でも話せる機会をつくる。・発表した子には拍手だけでなく、感謝の言葉もきちんと伝える。もちろん、参加してくれた子たちにも！
- ・マイナスな言葉を使わない！ 笑顔で接する！ 下を向かない！
- ・子どもの立場になって考え、何に困っているのかや、何を伝えたいのかなどを汲み取れるように、子どもたちの様子をよく見ることを心がけます。
- ・助けたり、手伝いたくなることはあると思うけど、子どもが主役であるので、子どもから言われるまでは手を出しません。（あえて 1 人でやらせてみるってことをします。）
- ・あたたかい、やわらかい雰囲気づくり！！まず自分自身が笑顔で少しテンションも高めにしてその場の空気感を居心地のよいものにする。1 人ずつの表情を大切にする。

IV プログラム実施報告

No.とプログラム名	No.1 「SDGsチャレンジ！ 車のハンドルでオリジナルの時計を作ろう！」
実施日・回数	8月7日（水）14時～16時 1回実施
会場	【青葉区】株式会社アップガレージグループ 1階、3階
参加児童数	21人
企業・団体等名	株式会社アップガレージグループ
参加の目的 (150文字程度)	地域の子どもたちに、SDGsが自分たちの身近なものであるということの理解を今まで以上に深めてもらうため。 また、アップガレージグループの事業について知ってもらい、企業として大切にしている内容を子どもたちに伝えるため。

【プログラム内容】

1. 3Rクイズ
2. 中古ハンドルを使った時計づくり
3. レースカー乗車体験
4. 振り返り

【当日の流れ】

- ～14:00 集合&アップガレージツナギをプレゼント
- 14:00～ あいさつ
- 14:10～ 3Rクイズ（みんなで考えよう！）
- 14:30～ 2グループに分かれ、
グループ① 中古ハンドルを使った時計づくり
グループ② レースカー乗車体験・写真撮影
- 15:00～ グループ① レースカー乗車体験・写真撮影
グループ② 中古ハンドルを使った時計づくり
- 15:30～ ふりかえりシート記入→発表
- 15:55～ 修了証配布・記念撮影
- 16:00 終了



【参加児童からの感想】

- 中古のハンドルでも、工夫をすると時計に生まれ変わるということを知って、リユースできる物を見つけてやってみたいと思った。
- レースカーはいつも乗っている車と違い、乗る部分が低かったり、椅子が深かったりすることに気が付き、おもしろかった。
- クイズでは自分のまわりにも3Rに当てはまる行動がたくさんあることと、車のステアリングについて知ることができて楽しかった。



☆時計づくりの様子☆



☆レースカーと写真撮影☆



☆3Rクイズの様子☆

【企業の気付き・感想】

- 目的としている、私たちが日頃ステークホルダーに対して伝えている、企業として大切にしている内容を子供たちに伝えることが出来た。
- 児童の感想や当日の反応から、改めて私たちの事業や活動が社会に貢献できていることを実感できた。
- 小学生にSDGsについて伝える機会をもっと増やし、自分たちの将来について考えてもらい、環境改善につなげていきたい。



☆3Rクイズの様子☆



☆集合写真☆

No.とプログラム名	No.2 ごみ焼却工場で機械・電気のお仕事を学ぼう！
実施日・回数	8月8日（木）午前：9：30～12：00 午後：13：30～16：00 計2回
会場	【旭区】横浜市資源循環局旭工場
参加児童数	13人
企業・団体等名	横浜市資源循環局旭工場・旭事務所
参加の目的 (150文字程度)	コロナ流行から、旭工場主催のイベントを開催してはなく、市民や地域との交流が全くなかったため。 新しく策定されたヨコハマプラ5.3計画を知ってもらうため。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

焼却工場の説明・見学、ゴミクレーンUFOキャッチャー体験、トラックスケール体験、缶バッジ作成、プラ5.3計画説明、ごみ収集体験、ごみ収集車の乗車体験

当日の流れ

- 1 9時30分～9時35分：あいさつ・当日の移動説明
- 2 9時35分～9時45分：工場設備の動画説明視聴
- 3 9時45分～10時25分：工場見学
- 4 10時25分～10時35分：トイレ休憩・移動
- 5 10時35分～11時10分：ゴミクレーンUFOキャッチャー体験、トラックスケール体験、缶バッジ作成
- 6 11時10分～11時45分：プラ5.3計画説明、ごみ収集体験、ごみ収集車の乗車体験
- 7 11時45分～12時00分：まとめ（修了書贈呈、アンケート回答）

※午後も13時30分から午前同様の所要時間で実施



ゴミクレーン操作室見学



ごみ収集体験

参加児童の様子や意見、感想など

- ・小学校見学では行っていない場所も見学することができて良かった。
- ・ごみ収集車の乗車体験やごみの収集体験など、普段なかなか体験することができないことができて楽しかった。
- ・ごみの処理方法について、くわしく知ることができて良かった。



トラックスケール体験



ごみ収集車の乗車体験

企業・団体の気付きや感想など

- ・質問に対してマンツーマンになって、回答することができたため、たくさんの質問を詳しく回答することができ、子ども達から進んでたくさんの質問をしてくれました。
- ・実際に体験コーナーをたくさん作ることで、興味関心を持ち、楽しんでいるよう感じました。
- ・人数に余裕があったため、来年度も実施する場合は、募集人数を増やすことも検討したいと思いました。



ゴミクレーンUFOキャッチャー体験



プ ラ5.3計画説明

No.とプログラム名	No.3 みんなを下から支える 意外と知らない、知ってほしい下水道
実施日・回数	8月8日（木）午後 計1回実施
会場	【旭区】管清工業株式会社 会議室・敷地内
参加児童数	10人
企業・団体等名	管清工業株式会社（横浜MLG包括JV）
参加の目的 (150文字程度)	横浜市中大口径下水道管路施設包括的維持管理業務委託（その2）（南北）の業務の一環として参加しました。

■ プログラム内容

- ① 下水道についての授業（出前授業）
- ② マンホールの見学、機材の見学・操作体験
- ③ 実験（スーパーボールすくい）

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

座学で下水道についての授業（出前授業）を行い、その後敷地屋外にてマンホールの見学、機材の見学・操作、実験（スーパーボールすくい）を体験して頂きました。



マンホールを覗いている様子



実験（スーパーボールすくい）の様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

参加児童の様子については、出前授業（座学）の時など一生懸命質問に答えていました。意見、感想については、下水道に流してはいけないものがあること、家で流した水がどこに行くのかなどが分かりましたという意見多かったです。また、VR体験が楽しかったという意見が多かったです。



機材（TVカメラ）について説明をしている様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・開催日近くになって欠席される方がいたので、次回からは募集人数を多めに設定しようと思いました。



機材（グランドビーバー）を操作している様子

No.とプログラム名	No.4 「科学」 ってなんだ？
実施日・回数	8月7日（水）10:30～12:00 計1回実施
会場	【磯子区】はまぎん こども宇宙科学館 会議室
参加児童数	9人
企業・団体等名	はまぎん こども宇宙科学館
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に学びや発見のきっかけを提示するようなプログラムを創出し、科学に親しむ機会を設けることで、科学館として社会に貢献したいと考えたため。 ・日常生活に関連した科学の一端に触れてもらうため。 ・科学館および科学館スタッフの仕事を紹介するため。

■ プログラム内容

科学館および科学館で働くスタッフの役割について紹介した。

その後、「浮力」をテーマにした実験を通して、「仮説を立てる→実験をする→結果を得る→考察し結論を出す」という流れを体験した。

科学とは、自然界の「なぜ？」を探求していくものであること、そして今回取り上げた浮力などの自然界の法則は、今日体験したような実践を繰り返して明らかにしてきたものの積み重ねであることを学んだ。最後にまとめをして、今日学んだことを一人ずつ発表した。

■ 当日の流れ

科学館の紹介や参加者同士の自己紹介をした後、「浮力」がテーマの実験を科学館スタッフが実演した。次に、参加者自身による「浮力」の実験の時間を設け、グループごとに実験や観察を進めた。最後に、今回の実験を通してどのような気づきがあったか、参加者一人一人に振り返ってもらい、全員で発表を行った。



実験の詳細を記録する様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

参加者は始めは緊張した様子だったが、浮力の実演が始まると、各々予想をしたり活発に発言したりするようになった。その後、グループに分かれて実験をした際は、参加者一人一人が主体的に考え行動する姿が見られた。初対面・異学年という垣根を乗り越えて、互いに連携・協力していた。

参加児童からは、「知らなかったことを知れた」
「またいろいろなことをやってほしい」
「もっと実験を増やし、今日の水の実験も展示してほしい」との感想が寄せられた。



科学館スタッフによる
実験を観察する様子

■ 気付きや感想など

- ・実験結果等を書き込めるワークシートを参加者に配付し活用してもらった。参加者は熱心書き込んでおり、主体的な学びにつながっている様子だった。

- ・実験を通して、参加者は驚きと発見が得られた様子であった。意欲・関心を引き出すプログラム内容を提示することができ、科学に親しむ機会としての目的を達成できた。

- ・なるほど！と理解が深まったり、こういう場合はどうなんだろう？と新たな疑問がわくなど、もっと知りたいという意欲が増した参加者もいた。参加者が今後は自分自身で探求・発展させていくことにもつながっていく内容であった。日常生活に関連した科学の一端に触れるという目的を達成できた。

- ・実験を中心に内容を構成したことで、参加者が受け身にならずに、自分で考え行動する姿勢を促進できたことが今回の気付きであった。より充実した内容にできるよう、関連した実験を提示するなど工夫したい。



参加者と対話しながら実験する様子

No.とプログラム名	No.5 「みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう！ 社会教育士のお仕事」
実施日・回数	8月7日（水）10：00～12：00 計1回実施
会場	【磯子区】横浜市社会教育コーナー 研修室A
参加児童数	2人
企業・団体等名	横浜市社会教育コーナー
参加の目的 (150文字程度)	新しい称号である「社会教育士」について、子どもたちに知ってもらおう。また「みんなが笑顔になれるまち」をテーマに、楽しく自分たちが暮らすまちに関心を持ち、まちづくりを自分ごととして捉えてもらうきっかけをつくる。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

だれもが自分らしく、いつまでも安心・安全に住み続けられる「みんなが笑顔で暮らせるまち」のためにできることを、クイズやグループディスカッションを通して楽しく参加者みんなで考える

当日の流れ

- 1 10時00分～10時15分：オリエンテーション、社会教育とは
- 2 10時15分～10時25分：参加者の自己紹介
- 3 10時25分～10時50分：「まちづくり」クイズ
- 4 11時00分～11時15分：まちの魅力再発見
- 5 11時15分～11時45分：みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう！
- 6 11時45分～12時00分：ふりかえり、修了証



「社会教育士」とはの話を聞いている様子



得意ダーツで自己紹介をする様子

参加児童の様子や意見、感想など

私たちのまちには、いいお店や自然をいかした場所などがいっぱいあることに気付いた。明日からみんなが笑顔になるようなことをやっていきたいとも思うし、困っているひとがいたら積極的に声をかけてあげたい。



グループディスカッションの様子

企業・団体の気付きや感想など

当日参加の児童は、プログラムに対して1つ1つ丁寧に熱心に取り組み、自分で考え、自分の言葉でしっかり発言し、主体的に参加してくれました。

残念ながら、参加人数が少なかったため、参加者同士で対話を通じて学び合う時間は充分にとれませんでした。

しかし、本プログラムを通じて 1. 主体的に考える、2. 自分の暮らすまちへの関心を深める、3. 自分ができることを自ら考える等、豊かな気づきの時間と空間を提供できたようで、プログラム提供側としても、うれしく思いました。

改めて子どもたちが社会教育士の仕事を通して「まちづくり」を自分ごととしてとらえ、主体的に未来のまちづくりに関わる意識を持ってもらえるような場とその仕組みづくりのための仕掛けをたくさんつくっていきたく思います。

今回集客が課題でしたので、次回は子どもたちにも伝わるタイトルを工夫したいと思います。

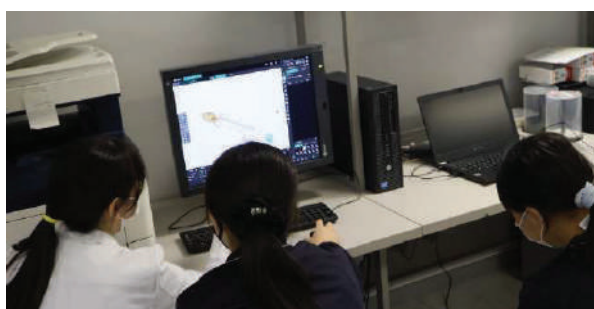
No.とプログラム名	No.6 病院のお仕事体験ツアー
実施日・回数	8月8日（木）午後、計1回実施
会場	【磯子区】横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
参加児童数	18人
企業・団体等名	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
参加の目的 (150文字程度)	脳卒中・神経脊椎センターは、横浜市立病院として、多くのお子さんに医療を身近に感じてもらうことや、その中から将来医療の世界で一緒に働きたいと思ってもらえるお子さんがいればという思いも込め、参加いたしました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

病院内の様々な職種の医療従事者が、仕事の内容の紹介や、特色を生かした体験プログラムを提供しました

当日の流れ

- 1 12時50分～13時10分：集合・着替え・病院長からのお話
- 2 13時15分～16時30分：各部署の仕事体験
(A・B2コース各2班でローテーション)
 - ・Aコース 放射線技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士
 - ・Bコース 薬剤師、検査技師、臨床工学技士、
 - ・共通 看護師、医療安全管理室
- 3 16時30分～17時00分：振り返り会



放射線技師コーナーの様子（魚のレントゲン）



臨床工学技士コーナーの様子（電気メス体験）

参加児童の様子や意見、感想など



- ・電気メスは、難しかったけどこんなふうに切れるんだと驚いた。
- ・手洗いはきちんとした順番で行わないとウイルスが残ってしまうことが分かった。
- ・病気の人のリハビリがとても大変なんだなと思った。
- ・心臓マッサージはいざというときにとても大切だと思った。
- ・病院の食事はこんなにいろいろなことを考えて作ってもらってるんだなと思った。
- ・検査技師の仕事はとても細かくてすごいことをしてるんだと思った。など



検査技師コーナー



看護師コーナー（心臓マッサージ）

企業・団体の気付きや感想など



未来の医療従事者の仲間になってくれるかもしれない子ども達へ、医療のおもしろさ、大切さを伝えていくことも、病院ではたらく私たちの大切な仕事の一つです。とても有意義な一日で、感想をまとめてもらった時間では、みんな筆が止まりませんでした。また保護者の皆さまも興味を持って同行いただきました。私たちにとっても、大変励みになる一日でした。



振り返りの様子

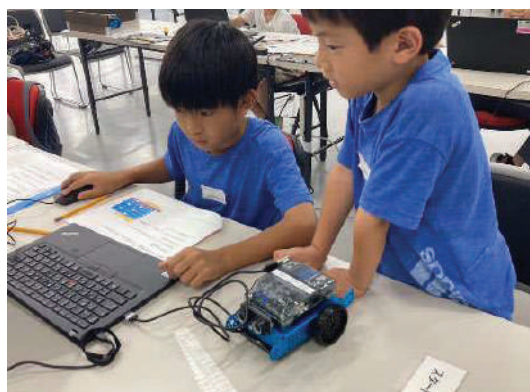
No.とプログラム名	No.7 クルマのロボットを動かしてみよう！
実施日・回数	8月6日（火）・7日（水） 両日とも10：00～、12：45～、14：30～ 計6回実施
会場	【神奈川区】 マツダ株式会社 整備場エリア
参加児童数	54人
企業・団体等名	マツダ株式会社 R&Dセンター横浜
参加の目的 (150文字程度)	市民のみなさまに横浜にもマツダがあることを知っていただく。 お子さんたちにもものづくり・自動車造りの楽しさを知っていただく。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

ロボットを使用したプログラミング教室

当日の流れ

- 1 マツダの紹介：10分
- 2 プログラミング体験：60分
- 3 ふりかえり：10分
- 4 車両見学：10分



プログラムをロボットに書き込み中



イベント会場（整備場スペース）

参加児童の様子や意見、感想など

・タブレット端末ではなくPCとマウスでの実施としたが、皆飲み込みが早く、すぐにプログラミングに取り掛かりあれこれ試行錯誤していた。

・走行距離を計測したり、ゴールへたどり着くため考えた「私の作戦」をスタッフに色々教えてくれ、しっかり考えながら取り組んでいた。

・狙い通りの動き（障害物ギリギリで停止など）をロボットがしたときに「やったー！」と喜ぶ様子が見られた。

・グループディスカッションでは恥ずかしくて発表できない子が多かったが、用意した振り返りワークシートには全員が一生懸命記入してくれていた。



自分で考えてプログラミング中



保護者も一緒にロボットの動きを確認中

企業・団体の気付きや感想など

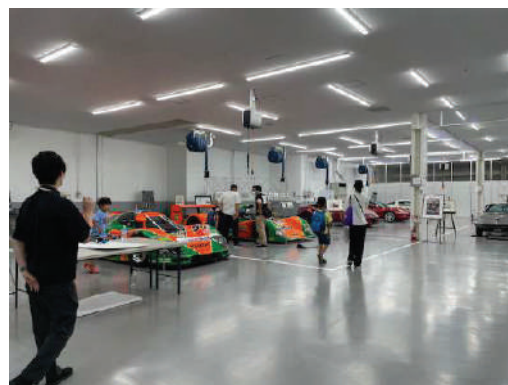
・単にプログラミングを教えるだけでなく、プログラミングがものづくりや車づくりにも繋がることを気づいてもらえたと思う。

・マツダが横浜にもあること、広島会社であることを知らない人がほとんどだったのでよいPRになったと思う。

・マツダ車オーナー以外にもブランドアピールできる良い機会となった。



児童2：エンジニア1の割合で配置しました



イベント後はマツダの過去車両も見学いただきました

No.とプログラム名	No.8 「情報発信のお仕事を体験しよう！」
実施日・回数	8月8日（木）午後 計1回実施
会場	【神奈川区】六角橋地域ケアプラザ ボランティアルーム
参加児童数	6人
企業・団体等名	株式会社LOCAL JAPAN、株式会社AMAIN
参加の目的 (150文字程度)	SNSの活用が進んでいる現在において、子どもたちの関心が高まっている情報発信に対して、より知識や理解を高めてもらうことで、子どもたちの成長に寄与したいと思い参加させていただきました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

情報発信・情報発信の仕事について講座で学習。
プロユーチューバーによるユーチューブ講座と撮影体験。

当日の流れ

- 1 13時00分～13時30分：情報発信・情報発信の仕事について講座
- 2 13時30分～13時50分：ユーチューブ講座
- 3 13時50分～14時00分：個人ワーク（原稿・台本作成体験）
- 4 14時00分～14時40分：グループ毎に撮影体験
- 5 14時40分～14時55分：振り返り会



クイズを盛り込んだ講座で回答する子どもたち



自分の書いた原稿を使ったユーチューブ撮影体験

参加児童の感想（一部抜粋）

- ・情報発信は生活に欠かせない大切な仕事なんだと感じました。
- ・編集のコツや気を引くためのポイントが聞いて参考になりました。
- ・体験をチームでやったので協力しながらできたのが楽しかった。
- ・他のみんなのいろいろな挨拶が聞いて楽しかった。
- ・情報発信やYouTubeの仕事が聞いて楽しかった。
- ・時間はかかるけど色々考えながら継続してやっていけば良いものが作れるかもしれないと思いました。
- ・ネットは、人を悲しませたり、人を笑顔にさせたりなど、ネットの力を改めて学びました。
- ・見る人を飽きさせない工夫を聞いて嬉しかった。
- ・みんなの将来の夢を聞けたり自分の将来の夢を言えたのでとても楽しかった。



真剣に話を聞く子どもたち

参加児童の様子

A4サイズのワークシート、メモ用紙いっぱいになるほど沢山の気づきメモを書きながら真剣に話を聞く様子が見られました。

また、質問も多く出るなど子どもたちの関心が高いことが伺えました。

ユーチューブ撮影体験では、はじめは緊張していた子どもたちも次第に緊張がほぐれ笑顔と大きな声で撮影することができ、それぞれが自分の将来の夢を発表しました。

企業・団体の気付きや感想など

子どもたちの講座に対する真剣な様子や質問内容・感想を見ていて、情報を発信することへの子どもたちの関心が高いことがよく分かりました。

「またやって欲しい」「対象年齢に満たないきょうだいにも体験させたい」といった、保護者の方からの嬉しい声もいただいた。

定員5名に対し53名の応募をいただくという状況でしたので、機会があればまた参加させていただきたい。

No.とプログラム名	No.9 大地震発生！その時、わたしにできること
実施日・回数	8月6日（火）から8月8日（木）1日2回 計6回実施
会場	【神奈川区】横浜市民防災センター
参加児童数	152人
企業・団体等名	横浜市消防局横浜市民防災センター
参加の目的 (150文字程度)	地震火災体験及び体験プログラムを通して「災害発生時、自分には何ができるか」を主体的・対話的に考えることのきっかけを作ります。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

地震の講話、地震の体験
AR防災体験

（AR技術を活用した避難所体験や浸水体験、非常食の試食）
避難所課題解決ゲーム（意見発表）

当日の流れ

- 1 地震の講話30分
- 2 地震の体験15分
- 3 AR防災体験60分
- 4 避難所課題解決ゲーム（意見発表、講評含む）45分



（AR防災体験の様子など）



（避難所課題解決ゲームをする様子）

参加児童の様子や意見、感想など

参加児童からは、「勉強になった」「防災ポスターを書く時の参考にします」などの声をいただきました。

令和6年能登半島地震で派遣に行った消防職員の講話や地震体験では真剣に聴く姿勢が見られました。

意見発表の場では、避難所での課題などを挙げ、各班で出した意見をリーダー中心にまとめ、他の参加者の前で発表するために他学年の子たちが積極的に意見する場面や恥ずかしそうにしている場面がありました。

AR防災体験では、VRゴーグルを付け避難所の状況や実際の段ボールベットに寝るなどの体験をしました。

非常食（アルファ米）の試食では、「思ったより美味しかったからもっと食べたい」などの意見も出ました。



(防災講話の様子)



(班で意見をまとめている様子)

企業・団体の気付きや感想など

子たちの学びの姿勢に感激しました。また、学年関係なく個人の得手不得手をフォローし合う場面を見ることができて良かったです。

また、保護者の方々にも防災について一緒に考えてもらい、「勉強になりました」との声も聴くことができて、良かったです。

運営側として、参加者は先着順の受け入れでも良いのではないかと感じました。理由としては、抽選後の当選メールを送った際にキャンセルされてしまい、個人メールのやり取りや補欠当選メールの送付などの事務作業が増え、個人情報漏洩のリスクが高まったように感じました。個人的には募集期間中に勧められる作業が少なく、スケジュールに余裕が欲しいと思いました。

【3日間合計 参加児童数152人、保護者含む総勢259人】



(令和6年能登半島地震の話を聞いている様子)



(AR防災体験する様子など)

No.とプログラム名	No.10 地域のコミュニティスペースで まちづくりのお仕事を体験しよう！
実施日・回数	8月6日（火）午前、8月8日（木）午前 計2回実施
会場	【神奈川区】大神商店会 事務局
参加児童数	8人
企業・団体等名	大神商店会
参加の目的 (150文字程度)	商店会で考える「地域での子育て」に通じる企画なので、会の活動を多くの方に知ってもらえる機会になることを期待して参加しました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

商店会エリアでの多世代が交流できるイベントの企画立案

当日の流れ

- 1 10時10分～10時20分：商店会会長の講話（商店会の活動や会長の経歴など）
- 2 10時20分～10時30分：講話を聞いて、商店会の活動について感想をシェア
- 3 10時30分～10時50分：イベントの企画を体験
- 4 10時50分～11時20分：企画案の実現方法についてグループディスカッション
- 5 11時20分～11時30分：企画案の発表～会長による講評
- 6 11時30分～11時45分：振り返り
- 7 11時45分～12時00分：修了証の授与



付箋を使ってアイデア出し



大人を交えてディスカッション



修了証の授与

参加児童の様子や意見、感想など

- ・とても積極的な子、遠慮がちな子、それぞれの個性が出ていてとても良かったと思う。
- ・ブレインストーミングのお手本のようなアイデア出しができていた。

【子どもたちの感想】

- ・商店会って色々なことをやっていてビックリした。
- ・イベントを考えるのが楽しかった。
- ・考えたイベントが実現されると思うとわくわくする。

【親御さんからの感想】

- ・子どものあまり見ることができない一面を見られて良かった。



たくさん出たアイデアを整理中



会長の講演を聞きながらポイントをメモ

学生サポーターの気付きや感想など

実際に自分自身や子供達がコミュニティづくりに関わる良い機会となりました。子供達とアイデア出しをする時には、小学生ならではの視点を聞くことができ、普段の自分とは違う新たな発見が多くありました。素敵な機会の良い学びをさせていただきました。



学生サポーターと一緒に企画案の発表

企業・団体の気付きや感想など

学年の違う子どもたちが仲良くグループワークに取り組んでいる様子を見ると、学校でも年の違う子供たちの交流がもっとしやすい環境を作れたら良いと思いました。



商店会役員と共に企画のブラッシュアップ

No.とプログラム名	No.11 子どもアドベンチャーカレッジ2024～動物愛護センターのお仕事を学ぼう！～」
実施日・回数	8月7日（水）午前、8月8日（木）午前 計2回実施
会場	【神奈川県】横浜市動物愛護センター 視聴覚室、飼育体験実習室、市民活動室
参加児童数	83人
企業・団体等名	横浜市動物愛護センター
参加の目的 (150文字程度)	動物愛護センターの業務説明や犬猫クイズ、犬猫のおうち探し体験やお仕事ディスカッションを通して、動物愛護センターの仕事や動物の適正飼育について学んでもらう。

■ プログラム内容

1 センターのお仕事説明

スライドを使い、動物愛護センターの仕事について説明

2 犬猫クイズ

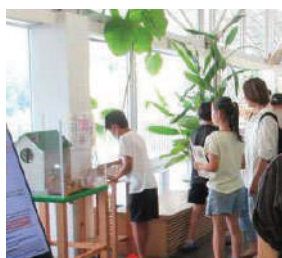
犬や猫の収容頭数や譲渡にまつわるクイズ

3 犬猫のおうち探し体験

犬猫のぬいぐるみを使用し、マイクロチップや迷子札等のヒントを見てお家を探す体験（スタンプラリー）

4 お仕事ディスカッション

センターの抱える課題に対して、子供たちが解決策を考え発表する



犬猫のおうち探し
体験



犬猫クイズ

■ スケジュール



子どもアドベンチャーカレッジ2024
～動物愛護センターのお仕事を学ぼう！～

時間	タイムスケジュール
10:00～	動物愛護センターのお仕事説明
10:20～	犬猫クイズ
10:40～	休憩
10:45～	犬・猫のおうちを探そう (動物のチェック)
11:00～	犬・猫のおうちを探そう (おうちさがし)
11:20～	お仕事ワークシート記入
11:30～	お仕事ディスカッション (Aは飼育体験実習室、B班は視聴覚室、C班は市民活動室)
11:40～	振り返り会 修了証授与
11:50～	アンケート
12:00	終了



■ 参加児童の様子や意見、感想

- ・動物愛護センターはとっても大切な場所だということを知った。
- ・マイクロチップや迷子札をつけていない親戚や近くの人たちに呼びかけたい。
- ・マイクロチップは入れるだけではなく、登録することも大切だということが分かった。
- ・このイベントの影響で将来捨て猫や犬がいなくなるような世界を作っていきたいと思った。
- ・クイズは難しかったけど楽しかったので今度家族に話してみたいと思った。

マイクロチップ
読み取り体験



■ 感想

当センターのイベントでは参加者を小学5，6年生に絞って募集し、高学年向けのイベント内容を実施した。

今年度の犬猫クイズは譲渡に関するクイズを追加し、動物を譲渡する際に職員がどのようなことに注意しているかを伝えることができた。

犬猫のおうち探し体験では、迷子札やマイクロチップ等の所有者明示することの大切さを知ってもらうことができた。

お仕事ディスカッションでは、動物の収容数や迷子の犬猫についての課題に対し、本イベントで学んだ事を振り返りながら子供たちの考える解決策を聞くことができた。また、お仕事ディスカッションは、人数調整のため3班に分かれて行い、少人数で行う事で子供たちとの距離が近づいたと考える。

今年度も応募人数が多く、小学生やその保護者から非常に注目度の高い事業であると改めて感じ、今後もぜひ参加したい。



犬猫のおうち探し体験

No.とプログラム名	No.12「夏休み石の勉強会」
実施日・回数	8月7日（水）午後 計1回実施
会場	かながわ県民センター 305会議室
参加児童数	43人
企業・団体等名	神奈川鉱物研究会
参加の目的 (150文字程度)	子供たちに石の面白さを知ってもらう

■ プログラム内容

石とは何かをスライドを使って説明（プリントでも配布）した後、石を使った観察や実験を行いました。

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

13：00 受付

13：30 スライドショー開始、途中石の観察や実験

14：15～14：30 休憩

14：30～15：10 子供が持参した石の鑑定会、
アンケート作成と質問受付

15：30 終了



「石とは何か」説明中

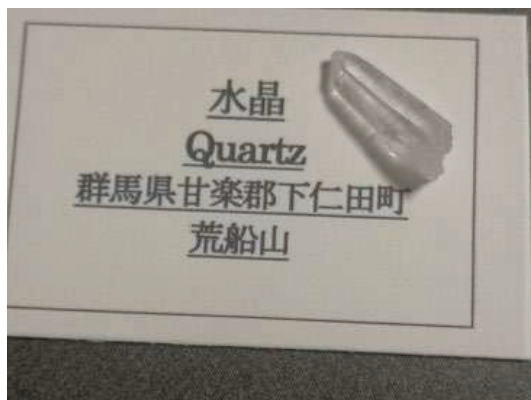
■ 参加児童の様子や意見、感想など

アンケートから、話の内容は少し難しかったが、ほとんどの子供が興味を持って話を聞き、観察や実験を楽しんでいました。半分くらいの参加者が鑑定用の石を持参しており(43人中25人)、それをOHPで写しながら何の石か説明したところ、持参してきた石が何かわかって喜んでいました。石を持参した子はもとより、持ってこなかった子も含めて、多くの子供が興味深く話を聞き、鑑定を楽しんで見ていました。

■ 企業・団体の気付きや感想など

中学校で勉強する内容が多いので、少し難しいとは思ったが、石好きの子ばかりだったので理解できた様子でした。

ただし、資料等にはもっと多くの用語にルビを入れる必要があったと反省しています。



水晶を参加者に配布しスケッチをした後、特徴を発表してもらいました。水晶はお土産として持ち帰ってもらいました。



左の写真のような方解石で複屈折を観察してもらい、方解石の特徴を勉強しました。その後別のサンプルを使い、割って劈開（へきかい）の様子を観察し、最後に希塩酸をかけて、発泡しながら溶けてゆく様子を観察しました。

子供の
感想

石に希塩酸をかけると泡立ったのが面白かった。

No.とプログラム名	No.13 MANABIYA 「一個の石けんから地球環境を考える」
実施日・回数	8月6日（火）午前、8月8日（木）午前 計2回実施
会場	【神奈川区】太陽油脂株式会社 本社棟会議室（307号室）
参加児童数	16人
企業・団体等名	太陽油脂株式会社
参加の目的 (150文字程度)	・石けんの持つ力や性質・特徴、作り方などを学び石けんの良さを理解して頂く。 ・太陽油脂のSDGs取組みや身近で出来るSDGs貢献活動を学び、今後のSDGs活動に生かして頂く。

■ プログラム内容

- ①石けんの基礎知識
 - ・石けんって何だろう・作り方（製造工程映像）
 - ・歴史、はたらき（実験）・石けんの性質（実験）
- ②石けん工場見学
- ③SDGsと太陽油脂の取組み
- ④ワークショップ（こねこね石けん：オリジナル石けん作り）
- ⑤振り返り（本日の感想を発表）

■ 当日の流れ

- 受付（8：50～9：30）⇒ご挨拶、会社紹介（9：30～9：45）
⇒プログラム（9：45～12：00）⇒終了、解散

■ 児童の活動中の写真



石けんの基礎知識講話の様子



地球温暖化対策講話の様子

■ 参加児童の意見・感想

- ・自分たちが使っている石けんの歴史などについて知ることが出来た。
- ・石けんは感染予防を出来ることが分かったから、これからも石けんで手あらいしたい。
- ・今回のこの体験をしてみて石けんの歴史やSDG s の取組みなど知ることができて石けんにも興味が湧いてきて石けんに対する考え方が変わりました。
- ・今日の説明を聞いて油が落ちる仕組みを理解できました。
- ・石けんこねこねが楽しかった。
- ・物を作る工場の見学は初めてだったので、楽しかったです。
- ・石けんについて良くわかったし工場も見られて楽しかったです。
- ・いろいろなことを学べたから楽しかったです。
- ・石けんを作るのには長い時間が掛かることを知ってびっくりしました。
- ・石けんがこんな感じで作られてるなんて知らなかった。
- ・石けんについて良く知らなかったので、くわしく知れて良かった。
- ・石けんもSDG s に関係していると分かった。
- ・いままでは石けんについてはあんまり知らなかったけど、石けんのでき方や、油にするための材料などを知れました。
- ・あまり知らない石けんの作り方やとくちょうなどを知れて楽しかったです。
- ・石けん作りと工場見学が楽しかったです。
- ・石けんの仕組みや作り方が知れましたし、工場もたくさんの製品を作っていることが分かりました。

石けんの性質
実験の様子①



石けんの性質
実験の様子②



■ 企業・団体の気付きや感想

- ・子どもアドベンチャーカレッジ初参加で不安だったが、参加者が熱中症など体調不良にならずに無事、プログラムを終えることが出来て良かった。
- ・当日の体調不良や当選メールを確認していない欠席者もおられました。1週間前くらいにリマインドメールを今後はしたいと思いました。
- ・別室で保護者の方も石けん教室の様子をモニターで見られるようにセットしたので皆さまも子どもと共通の体験をしていただけたらと思います。
- ・工場見学後に石けん乳化のクリームは泡立つのですか？なんて質問があったり…保護者の方にも楽しい1日になっていただけたのではないのでしょうか。
- ・当選メールをしているのかを確認できる方法の検討が必要と感じました。



工場見学の様子



集合写真①



集合写真②

No.とプログラム名	No.14 ロボットとパネルでプログラミングを楽しもう！
実施日・回数	8月7日（水）午前、8月7日（水）午後 計2回実施
会場	【神奈川区】一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会 会議室A・B
参加児童数	40人
企業・団体等名	株式会社ICON
参加の目的 (150文字程度)	日本の技術を担う未来の子供たちに、プログラミングの基礎になる考え方を身に付けてほしいと思い、弊社の知育ロボット「クミータ」を使った体験をしてもらうため参加しました。

プログラム内容

ロボットとパネルの知育セット「クミータ」を使って、プログラミングの基礎となる論理的思考力を、楽しんで身につけるための体験をするプログラムです。

当日の流れ

- 前半（45分）：クミータに親しんでもらうための基礎的なプログラムを体験。
- 休憩（10分）
- 後半（20分）：前半で学んだことを応用して、より複雑な問題に挑戦。
- 振り返りの会（30分）



大型ディスプレイを使用し、基本的な使い方の説明や出題を行いました。参加児童たちは真剣に聞いてくれています。



3～4人ずつのグループに分かれて、みんなで同じ問題に取り組みます。最初は知らない同士の子どもたちが、すぐに仲良く協力し始める姿が印象的でした。

参加児童の様子

■ 全体の様子

体験中、終始たいへんな盛り上がりで参加児童たちは興奮気味に問題に取り組んでいました。難易度の高い問題に対しては、理解度にばらつきが出るため子どもによって取り組み方が様々ですが、数人のグループでの共同作業によって集中力が高まり、一人で行うよりもアイデアが豊富になるなど、様々な良い効果が生まれていました。

■ 参加児童の感想

- ・ 最初は簡単だったけど、後から出た問題がむずかしかった。
- ・ むずかしいのもあったけど、考えて、出来たときうれしかった。
- ・ パネルの絵がかわいくて好きだった。クミータ（ロボット）がかわいかった。
- ・ プログラミングが好きなので、来れてよかった。楽しかった。



知らない子ども同士でグループで知恵を出し合っ
て、一つの答えを組み立てていく作業です。問題
に集中すると自然にコミュニケーションが生まれ
て、すぐに以心伝心の輪ができました。



パネルにはマグネットが内蔵されていて、お互い
にくっつく仕組みになっています。それを利用し
たこのような立体づくりが大流行し、男の子達は
かなりアクロバティックな挑戦に夢中でした。

主催者の感想

■ プログラムへの反響について

今回、当選枠50~60人程度のところへ300人を超える応募があり、楽しめるプログラミング体験
について子どもたちの興味が高まっていることを実感しました。ただやはり前日や当日のキャン
セルも多く、せっかくの当選が惜しい結果になってしまったケースも目立ちました。

■ プログラムの内容について

タブレット端末等を使うプログラミング学習は他にもたくさんありますが、数人で一緒にできる、
手で触って動かせる、というところが子どもたちの自然な遊び心を引き出して、たいへん賑やか
な会となりました。

学生サポーターの感想

- ・ クミータに初めて触れたが、商品開発は大変だっただろうと想像した。
- ・ 子どもが自主的に学ぶように導くという趣旨だが、理解させながら自分で学ばせるにはどうす
ればいいのか、子どもによっても異なるので臨機応変な対応が必要だと思った。
- ・ 子どもたちの理解が思った以上に早く、驚いた。問題に集中して休憩時間も考えている子ども
がたくさんいた。



子どもが失敗しても大人が口を出さ
ず、自分たちで修正するプロセスを
体験してもらいました。



学生サポーターも子どもに学ばせる体験
は初めてでしたが、出来る作業を積極的
に探して行動してくれました。



高学年の理解の早い生徒にはより高度な
答えに挑戦してもらおうなど、グループご
とにフレキシブルな指導を実施しました。

No.とプログラム名	No.15 「オートボックスのお仕事を体験しよう」
実施日・回数	8月7日（水）午前10時～12時 午後14時～16時 計2回実施
会場	【金沢区幸浦】株式会社アイエー スーパーオートボックス横浜ベイサイド ピット内
参加児童数	18人
企業・団体等名	株式会社アイエー スーパーオートボックス横浜ベイサイド
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様イベントを通じて、オートボックスを好きになって頂く（未来客創造・永く繋がる） ・社会との関りを大切にし、地域貢献活動の実施。

■ プログラム内容

- ・店内ツアー：挨拶・店舗見学・商品の品出し
- ・作業体験：タイヤ交換作業
- ・クイズ大会：店舗ツアー見学で学んだ事を出題
- ・振り返り：「楽しかったこと」「初めて知ったこと」「今度やってみたいこと！」の発表

■ 当日の流れ

- ・オリエンテーション
- ・店内ツアー
- ・作業体験
- ・クイズ大会&振り返り（修了証授与）



クイズ大会の様子



タイヤ交換作業体験の様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・楽しかったこと：タイヤ交換作業・商品品出し（宝探しみたい）・クイズ大会。
- ・初めて知ったこと：タイヤがネジで外れる・タイヤが重たい！工具の種類たくさんある。
- ・感想（子供）：違う作業もやってみたい！品出し作業をもっとやりたい！レジ打ちしたい！など
- ・感想（運営側）：お子様も保護者様も「非日常の体験」を楽しんでいた様子でした。たくさん写真を撮っていた様子が印象的です。また、オートボックスを題材に「新しい事を学ぶ」ことについて好奇心が強く、楽しみを感じるようです。



集合写真



店内ツアーの様子



修了証授与の様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・実際の店舗制服（ツナギ）に着替え、職業体験をする様子は貴重な経験となった様子。
- ・座学よりも「商品の品出し」や「タイヤ作業」などの体感する内容が楽しそうでした。

■ 学生サポーターの気付きや感想など（学生受入れ企業・団体のみ）

・午前中のパートでは、慣れない環境下でイベントへの関りが薄かったのですが、休憩中にコミュニケーションを取り、午後のパートでは積極的にプログラムに参加。最終の「振り返り」では、学生サポーターさんの進行でお子様とのディスカッションを実施出来ました。とても立派に進行しており、本人も成長を感じた様子でした。今後も、学生ボランティアと繋がり、「社会参加のきっかけ作り」の場を提供していきたいと感じました。



学生サポーター
ボランティア（学生サポーター）
振り返り司会進行の様子（中央）

No.とプログラム名	No.16 元気なからだをまもる！ ～看護の道具と技を使ってみよう～
実施日・回数	8月8日（木）午後 計1回実施
会場	【金沢区】横浜市立大学
参加児童数	27人
企業・団体等名	横浜市立大学 医学部 看護学科
参加の目的 (150文字程度)	看護職が行っている人々の健康を守る方法について、医療器具・医療用品を用いて体験することで、医療や看護に興味・関心を持ってもらうことや、健康や命の大切さを学んでもらうことです。また、今回の看護体験を通して、将来の進路選択に役立ててもらうためです。

■ プログラム内容

体験内容：シミュレーターを用いた心音の聴取、滅菌手袋の装着、点滴滴下調整
体験内容に関連した講話：心臓の機能と役割、感染予防、輸液療法
振り返り会：体験の感想の発表、看護学生や看護師への質問

■ 当日の流れ

「元気なからだをまもる」道具や技術について講話を通して学んだ後、看護技術を体験しました。

10人程度のグループに分かれて、看護学生や看護師、看護教員と一緒に3種類の看護技術を実践し、最後に全員で振り返り会を行いました。



■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 色々な事がわかった
- ・ 看護に興味を湧いた
- ・ 手袋をつけるのが難しかった
- ・ 心臓の音に癒された
- ・ 点滴が難しかったけど、これを毎日やっている看護師さんがすごいと思った



点滴滴下調整にチャレンジしている様子



滅菌手袋を正しく装着できたか確認している様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

<看護学生ボランティア>

- ・ 小学生が感染予防の重要性に真剣に取り組んでいる姿を見て、学びの意欲を感じた。
- ・ 小学生に専門的な知識をわかりやすく伝える難しさを実感し、教える側としてのスキルを磨く必要性を感じた。
- ・ 小学生との交流を通じて、教育活動にも積極的に貢献したいという意欲が湧いた。

<教員>

- ・ 小学生にとって、看護体験が医療や看護に関わる将来を考えるモチベーションを高めるきっかけとなると感じた。



シミュレーターで心音を聴いている様子



学生と点滴滴下調整をしている様子



振り返り会で学生や看護師へ質問をしている様子

No.とプログラム名	No.17 シーサイドラインの車両基地を探検しよう！
実施日・回数	8月7日（水）午前、8月7日（水）午後 計2回実施
会場	【金沢区】株式会社横浜シーサイドライン 本社講堂・検修場
参加児童数	24人
企業・団体等名	株式会社横浜シーサイドライン
参加の目的 (150文字程度)	普段入ることができない車両基地見学や洗浄体験をしてもらい、シーサイドラインを知ってもらえる機会として参加いたしました。

■ プログラム内容

普段、見るすることができない車両基地見学とグループディスカッション

■ 当日の流れ

ホームから車庫線へ乗車→洗浄体験→車両見学

→グループディスカッション



車内から洗浄体験をしている様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

子どもからの感想やこちらで準備したクイズを実施しました。

・主な感想

車両を近くで見れて仕組みが知れて良かった。

洗車されている迫力がすごかった。

シーサイドラインの色んなことが知れて楽しかった。

・クイズ

班ごとに分かれてクイズの答えを考えながら発表しました。



班ごと分かれて
クイズの回答を考えている様子（前方）

■ 企業・団体の気付きや感想など

子どもの楽しんでいるところや真剣に考えている姿が見れました。

低・中学年が多かったため、グループディスカッションは

ちょっと難しい感じでした。



検修場内で車両を見学する様子

No.とプログラム名	No.18 不用になった素材で工作しよう！アップサイクル体験！
実施日・回数	8月6日（火）午前 計1回実施
会場	【金沢区】武松商事株式会社エコルファクトリー会議室
参加児童数	9人
企業・団体等名	武松商事株式会社 広報グループ
参加の目的 (150文字程度)	地球環境保護が全世界共通の重要課題となっている今、 不用になったものを使用した工作教室を通じて子どもたちに環 境保護について楽しく学んでもらうため

■ **プログラム内容** 講話・ワークショップ

■ **当日の流れ** 講話・写真撮影・ワークショップ・振り返り会



講話の様子



ワークショップの説明の様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

講話中はみんな真剣に耳を傾けてくれていました。

工作が好きで申し込みをしてくれた子、むずかしかったけど楽しかったと言ってくれた子、ごみは見方によって使えるものになると言ってくれた子、また作りたと言ってくれた子、それぞれみんな楽しんで参加してくれました！



ワークショップ中の様子



ワークショップ中の様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

ワークショップには保護者の方にも参加していただきました。そのお陰もあり、3年生からでもみんな楽しく体験していただきました！最初にちょっとお手伝いをするだけでみんなすらすらと作成できていて来年度はもっと参加人数を増やし、たくさん子ども達に参加してもらいたいと思っています。



ワークショップ中の様子



ワークショップで使用する
紐の作成の様子



作成した作品の紹介

No.とプログラム名	No. 19 みんなの生活をささえるごみ処理のお仕事
実施日・回数	8月8日（木）午前・午後 計2回実施
会場	【金沢区】横浜市 資源循環局 金沢工場
参加児童数	16人
企業・団体等名	横浜市 資源循環局 金沢工場
参加の目的 (150文字程度)	横浜市資源循環局のごみ処理がどのように行われ、そこで働くひとたちがどのような仕事をしているのかをみなさんに体験していただくことで、ごみ分別の大切さやごみ処理行政への理解を深めていただきたいと思います。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ・ごみの収集作業
- ・ごみ収集車に乗って焼却工場内を探検
- ・機械電気設備の修理
- ・ごみクレーンの疑似運転
- ・排水処理を化学的に学ぶサイエンス教室

当日の流れ

- A ごみ収集体験 : 25分
- B 収集車乗車体験 : 25分
- C サイエンス教室、機械電気設備修理体験 : 25分
- D ごみクレーン疑似運転体験 : 25分
(児童と付添者が4グループに分かれ入替制でA～Dを体験)
- E 振り返り会 : 10分



ごみ収集体験



収集車乗車体験

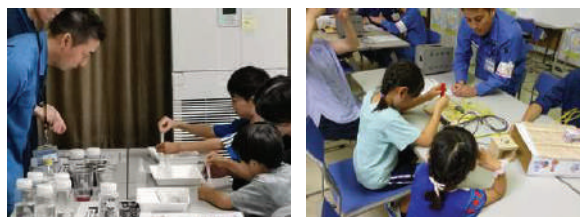


参加児童の様子や意見、感想など

- ・ごみ工場の仕組みがわかって面白かった。
- ・普段入れないところを見られてよかった。
- ・ごみを減らしたいと思った。
- ・いろいろなことを学べてよかった。



- ・ごみ収集が楽しかった。
- ・収集車に乗れて楽しかった。
- ・サイエンス教室の実験が楽しかった。
- ・修理体験が楽しかった。
- ・ごみクレーンの操縦が楽しかった。
- ・全部楽しかった。



サイエンス教室・機械電気設備修理体験



ごみクレーン疑似運転体験

企業・団体の気付きや感想など

ご参加の皆様へごみ処理に関する幅広い体験を提供するために、ごみ焼却の金沢工場だけでなく、ごみ収集の金沢収集事務所、缶・びん・ペットボトル処理の金沢資源選別センター、化学を得意とする政策調整課調査等担当との共同開催としています。

今回も多数のお申し込みをいただき感謝いたします。ただ、プログラム内容的に定員が少数になってしまうため、ご参加いただけなかった方々にはお詫び申し上げます。

参加されました児童と付添者の皆様にご満足いただければ、職員一同とても嬉しく思います。

学生サポーターの気付きや感想など

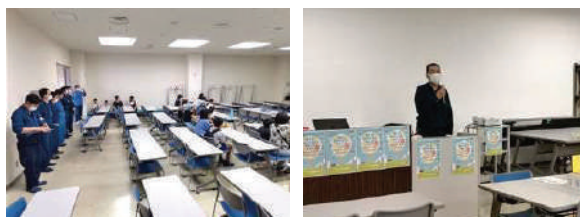
子どもアドベンチャーカレッジに学生サポーターとして参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。

普段見ることのできない工場内の施設はもちろん、さまざまな体験を楽しんでいる子どもたちの姿を近くで見ることができ、子どもたちの新たな経験、楽しい思い出作りに少しでも携われたようで、嬉しかったです。

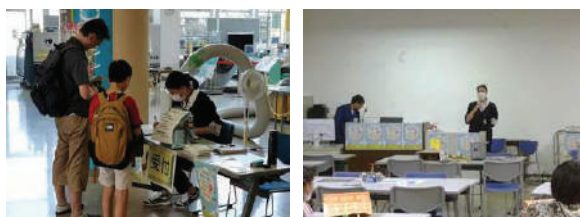
また、子どもだけではなく保護者の方も今回のイベントでの体験を子どもと一緒に楽しんでいる様子が見られたことも印象的でした。

私個人としては、振り返り会の司会進行で緊張してしまい、堅苦しい雰囲気になってしまったことが反省点ではありますが、職員のみなさんから優しく丁寧な仕事内容のご指示をいただいたことで、最後まで学生サポーターとしての役割を果たせたかなと思います。

打ち合わせからイベント当日までたくさんの貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



開催のごあいさつ



学生サポーター活動状況

No.とプログラム名	No.20 福祉のお仕事ワクワク体験
実施日・回数	8月7日（水）10：00～14：00 計1回実施
会場	【港南区】特別養護老人ホーム 芙蓉苑 1F多目的ホール
参加児童数	19人
企業・団体等名	特別養護老人ホーム 芙蓉苑
参加の目的 (150文字程度)	『福祉のお仕事ワクワク体験』では、 ・老人ホームってどんなところだろう？ ・車椅子に乗ってみよう！ ・お年寄りの体を体験しよう！ のイベントを通して、高齢者について皆さんに学んでもらい少しでも福祉の仕事や高齢社会に対して興味を持っていただきたく、応募しました。

■ プログラム内容

- ・老人ホームってどんなところだろう。
- ・車椅子に乗ってみよう。
- ・お年寄りの体を体験しよう。
- ・かき氷の提供を通して、ご利用者との交流。

■ 当日の流れ

- ・10：00～参加者自己紹介
- ・10：15～福祉って
- ・10：45～高齢者疑似体験と車椅子体験
- ・11：50～口腔体操
- ・12：00～12：45まで昼食休憩
- ・12：45～施設見学及び介護ロボットとのふれあい
- ・13：15～14：00かき氷を通してご利用者との交流
- ・14：00 プログラム終了



福祉について真剣に勉強されました



介護ロボットと触れ合いました

■ 参加児童の意見、感想など

- ・ 来年も行きたいが中学生になるといけない。
中学校1年生まで参加できるようにしてほしい。
- ・ とてもいい経験をしました。
- ・ かき氷イベントがたのしかった。
- ・ 車椅子の乗り方が分かった。
- ・ 福祉の事がわかりました。
- ・ 祖母に学んだことを話したい。
等、大変ご好評頂きました。



← 車椅子の操作を体験しました

疑似セットを用いて高齢者の体験をしていただきました→



■ 企業・団体の気付きや感想など

数ある子どもアドベンチャーカレッジより多くの応募を頂き、福祉への興味があるのだと実感しました。また子供からの目線で、スタッフも勉強となることが多々ありました。短い時間でしたが、初めての経験をすることで成長する姿を目の当たりにすることが出来ました。今後もこのような活動を通じて少しでも高齢福祉に興味を持っていただけるよう行なって参りたいと思います。



イベント終了後は、みんなでかき氷を食べました！



全員集合写真！お疲れ様でした！

1 このページのレイアウトはできるだけ変更しないでください

No.とプログラム名	No.21 「広報お仕事体験「選手紹介をつくってみよう」」
実施日・回数	8月7日（水）12:30～14:00・14:30～16:00計2回実施
会場	【港北区】岩崎学園 スポーツ＆ウェルネス専門学校 教室
参加児童数	30人
企業・団体等名	横浜GRITS
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチームとしての地域貢献 ・新たなファン層の獲得に向けた関心喚起 ・港北区を中心とする地域の子どもたちに横浜GRITSを知ってもらうため

プログラム内容

“横浜GRITSの選手を他己紹介してみよう！”

スポーツチームにおける広報業務を体験してもらうことを目的に選手の魅力を他己紹介の形式で発信するワークショップを実施いたしました。

90分間のワークショップでは、クラブスタッフの仕事、広報の仕事を紹介した後、グループワークとして選手へのヒアリング実施、アウトプットとしては紹介シートの作成を行いました。

選手へのヒアリングでは質問も活発に飛び交い、子どもたちならではの目線での問いなど、クラブスタッフとしても新たな気づきを数多く得ることの出来た時間となりました。

1

広報の仕事紹介

チーム広報が取り組む仕事の紹介、大切にしている考え方を伝えました。



2

選手への質問

選手を他己紹介するにあたって必要な情報収集として様々な質問を実施しました。



3

まとめ作業

ワークシートにグループでの質問を整理し、他己紹介シートを作成しました。



4

発表

グループごとに担当選手の他己紹介を実施いたしました。



参加者の声

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

90分間のワークショップに終始前向きに参加して下さったおかげで、AM/PMともに明るい雰囲気
気で終えることができました。実際に試合を観戦したことがない方が大半でしたが、リンクに足を
運んでみたいという声をたくさんいただくことができ、大変嬉しく思います。

全体への感想

- ・選手の人たちがとても優しく
答えてくれたので緊張せずに
参加できた。
- ・自分のワークシートが試
合会場で張り出されるのが
とても楽しみ。
- ・質問が他の人と被った時に、
すぐに次の質問を考えるのが
大変だった。
- ・初めて会った人と一緒に作
業するのが楽しかった。



広報への関心

- ・人に伝える仕事の難しさを
知ることができた
- ・競技以外の魅力を伝えるための
工夫が大変だった

競技への関心

- ・アイスホッケーを実際に
見てみたいと思った
- ・選手が真剣な表情でプレーして
いる姿にも興味が湧いた

活動を終えて

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

ユニークで、斬新な視点

子どもならではの視点からユニークかつ斬新な切り口で質問が飛び交いました。日々、チームに携わるスタッフが見ている角度とは異なり、新たなファン獲得に向けた認知拡大に向けて多くの気づきがある時間でした。参加した選手たちもプロスポーツ選手にとって重要な要素の一つであるセルフブランディングの観点から、学びを受けていた様子でした。

学生サポーターとの活動を通じて

学生サポーターは、スポーツ界のこれからをともに盛り上げていく未来の仲間であると考えています。今回のワークショップでは子どもたちとのコミュニケーション、スポーツプロモーション領域など、それぞれ得意領域を持った学生サポーターが力を貸してくれました。作業も多い90分間でしたが、滞りなく進行できたのは学生サポーターの皆さんの存在が大きかったです。また新しいステージでお会いできることが楽しみです。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

No.とプログラム名	No.22 世の中を便利にするコンピュータのお仕事を学ぼう！
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後 計2回実施
会場	【港北区】株式会社タスクフォース サテライトオフィス
参加児童数	9人
企業・団体等名	株式会社タスクフォース
参加の目的 (150文字程度)	コンピュータがどのように進化してきたか振り返る。 普段の生活の中でどんなところに使われているか認識する。 どんなコンピュータがあったら便利か想像する。 プログラミングをしてコンピュータの動きを確認する。

■ プログラム内容

・コンピュータがどんなところで使われているのか、
どのように私たちの生活に役立っているのか一緒に考えましょう。
世の中をどんどん便利にする仕事について理解を深めましょう。

■ 当日の流れ

- ・コンピュータはどんなところに使われている？
- ・コンピュータの歴史（ゲーム、AI（人工知能））
- ・コンピュータはどうやって動いている？
- ・プログラム体験
- ・人とコンピュータの強み
- ・感想発表
- ・便利なものを作るために必要なこと



コンピュータの動き（処理）について説明

■ 参加児童の様子や意見、感想など

「楽しかった！」

「プログラミングに興味を持てた」

「プログラミングが難しかったけど、面白かった！」

「先生方がとても優しくかったので発言しやすかった」

「色々な経験が出来た」



人間の強みとコンピュータの強みを説明



まとめ、感想発表

■ 企業・団体の気付きや感想など

子どもたちが楽しんでいる様子を見ることができ、嬉しかったです。

若手社員を中心にプログラムを進めました。

限られた期間で、協力して資料を作り上げたり、

子どもたちにプログラミングを教えたり、分かりやすく説明したりと

社員にとっても良い機会となりました。ありがとうございました。



プログラミングについて説明



プログラミング体験

No.とプログラム名	No.23 学芸員と一緒に博物館の裏側を探検しよう！
実施日・回数	8月6日（火）午後 計1回実施
会場	【都筑区】横浜市歴史博物館 体験学習室他
参加児童数	7人
企業・団体等名	横浜市歴史博物館
参加の目的 (150文字程度)	多くの子どもたちに博物館を身近なものに感じてもらいたいため。

■ プログラム内容

- ・博物館に所蔵されている土器や仏像、絵画などの資料に触れ観察する学芸員の仕事を疑似体験
- ・博物館のバックヤードを巡って博物館の役割を解説

■ 当日の流れ

- ・学芸員業務の疑似体験の後、バックヤードツアーを実施



日本画の解説を聞く子供たち

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 解説に驚いたり、資料を熱心に見学する様子が確認できました。
- ・ とても面白いと言ってくれた子どもたちが大半でしたが、中にはつまらなかったと言った子もいました。



仏像を観察する子供たち

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・ 当日キャンセルが全参加者の1/3ほど出ました。
ある程度は仕方のないことですがキャンセルの際は事前に連絡する旨徹底いただきたく思います。

■ 学生サポーターの気付きや感想など

- ・ 学生サポーターはいませんでした。当館の活動として高校生のインターンシップを受け入れており彼らに手伝ってもらいました。
しっかりと活動してもらいました。



バックヤードを見学する子供たち

No.とプログラム名	No.24 漢方ってどんなもの？ 昔の道具をつかった香り袋作り体験！
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後 計2回実施
会場	【都筑区】横浜都筑ビジネス&コミュニティ 貸会議室
参加児童数	20人
企業・団体等名	ジェーピーエス製薬株式会社
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市内の子どもたちに学びのきっかけや考える機会を提供することで、地域社会に貢献したい。 クイズや香り袋づくり体験を通じて、漢方の面白さや楽しさをもってもらいたい。

■ プログラム内容

1. 漢方について学ぶ（座学）



漢方医学のはじまりや、
今と昔の漢方薬の作り方の違いを学んでもらいました

2. 漢方クイズ



グループ対抗でクイズに挑戦してもらい
盛り上がりました

3. 香り袋づくり体験



漢方のむかしの道具「薬研」をつかって
生薬を小さくし、香り袋をつくりました

4. 振り返り会



学生サポーター司会のもと
感想をひとりずつ発表してもらいました

■ 参加児童の様子や意見、感想など

★また参加したいと思いますか？

「思う」の回答率：100%

★漢方クイズをやってみて、おもったこと

- ・いままでしなかった事も多くて学べたしチームで話し合って答えをだすことが楽しかったです。
- ・漢方は植物だけかと思っていたけどせみのぬけがらなどがありおどろいた。
- ・むずかしかったけど面白かった
- ・次に漢方を飲むときは原料やざい料も調べてみたいです。
- ・だいたいのクイズの問題は、せいはいできました。すごく楽しかったです。



生薬を選ぶ様子

★香り袋づくり体験をやってみて、おもったこと

- ・6種類の漢方（生薬）を使って自分の好きな香りにすることができました。「ケイヒ」のをとぐのがけこう固くてむずかしかったけど、いい香りで楽しかったです。
- ・漢方の香りがよくわかった。実用的なのでこの後家でかざれたらいいと思う。
- ・薬研を使う体験をしたとき、意外に力が必要だったけど、木のかわがパリパリ割れる感じでなんか気持ちよかった。
- ・実際の生薬のにおいをかけて楽しかったです。



香り袋完成

■ 企業・団体の気付きや感想

漢方を身近に感じて興味をもってもらうためにクイズや実際の生薬に触れられるプログラムを行いました。

子どもたちにとって漢方は「まずい」「漢字が難しい」などのマイナスイメージがあると予想していましたが、積極的に質問や発言をしてくれる児童が多く、楽しんでもらえたのではないかと思います。

薬研などの道具はなかなか触れる機会もないので、こういった体験が子どもたちにとって薬や健康に興味をもつきっかけになれば幸いです。



ひとりずつ薬研体験を行いました

■ 学生サポーターの気付きや感想など

自身も楽しめましたし、貴重な体験ができました。

今回のプログラムは、小学生も保護者の方にも楽しんでいただけたように感じました。

1日のみの開催でしたが、もっとたくさんの子供たちに漢方について知り、香り袋体験などをしてもらいたいと思いました。



児童が学生サポーターと相談する様子

No.とプログラム名	No.25 ごみ焼却工場のお仕事を体験しよう！
実施日・回数	8月8日（木）午後 計1回実施
会場	【都筑区】資源循環局 都筑工場
参加児童数	20人
企業・団体等名	資源循環局 都筑工場
参加の目的 (150文字程度)	都筑工場では周辺の小学4年生や希望者に向けて工場見学を行っています。より多くの市民の皆様にごみについて関心を持っていただき、正しい分別、3R（リユース、リデュース、リサイクル）の意識をもって頂く機会にさせていただきたく、参加させていただきました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

収集車のごみをおろす投入ステージや、ごみを燃やす焼却炉など、普段の市民見学では見ることのできないごみ焼却工場バスツアーやごみクレーンを実際に操作室の椅子に座ってクレーンを模擬操作する体験会について実施しました。

当日の流れ

- 1 13時00分～13時10分：注意事項、工場長からの講和
- 2 13時10分～13時50分：工場内バスツアー
- 3 13時50分～14時30分：ごみクレーン操作体験、ミニゲームコーナー
- 4 14時30分～14時50分：アンケート、発表準備
- 5 14時50分～15時00分：振り返り発表



(振り返り会で意見発表をする様子)



(バスツアー中クイズに挑戦している様子)

参加児童の様子や意見、感想など

ごみの行先を知りたかったから応募しました。
ごみクレーンの操作が面白かった。
(小3)

お兄ちゃんが学校でここに来たから応募しました。
ごみの機械がいろんな色だったらいいなと思った。
(小3)

学校で勉強していたし、ごみの行先のその中まで
知りたかったので応募しました。
バスツアー中のクイズをして学べて面白かった。
(小4)

ごみ収集車が好きだから応募しました。
バスに乗って工場内を見れたことが楽しかった。
(小4)



(クレーン操作体験する様子)



(バスツアー中の様子)

企業・団体の気付きや感想など

募集人数に対して応募者がとても多く、
倍率が約10倍となり、市民の皆様の関心の
高さに驚きました。

当日は体験型のプログラムが良かったと
いう声が多く、特にクレーン操作体験が好
評でクレーン大きさ・迫力に児童だけでは
なく引率のご家族も驚いていました。

プログラム終了後の反省会やアンケート
では小学生ならではの視点からたくさん
のご意見を頂いて非常に参考になりました。

当工場といたしましても今後の啓発活動
に生かせる大変有意義な時間となりました。



(振り返り会、
記念撮影の様子)



(ゲームコーナーでの様子)

No.とプログラム名	No.27 赤ちゃんのお世話や抱っこを体験してみよう！
実施日・回数	8月7日（水）午後、8月8日（木）午後 計2回実施
会場	【戸塚区】戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽 戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽サテライト
参加児童数	9人
企業・団体等名	戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽
参加の目的 (150文字程度)	横浜市のニーズ調査から、実子を出産する前に赤ちゃんのお世話をしたことがない親が7割いることから、小学生の時から赤ちゃんに触れ合う体験ができる機会が必要と感じたため。また自分が大切にされている事、命の尊さについても感じる機会としたかったため。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

赤ちゃんのお世話と抱っこ体験

当日の流れ

- 1 13時00分～13時15分：自己紹介
- 2 13時15分～13時40分：講義「命の話 子育ての話」渡邊助産師
- 3 13時40分～14時20分：沐浴デモ・赤ちゃん人形でのお着替え体験
妊婦体験・missionシート作成
- 4 14時20分～14時50分：0歳児親子との交流・赤ちゃん抱っこ体験
- 5 14時50分～15時00分：振り返り（Missionの共有・感想）・修了証



お着替えデモ見学の様子



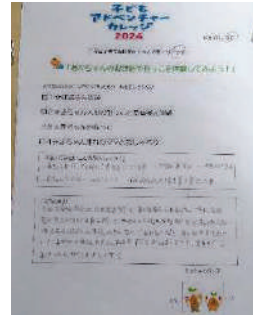
沐浴デモの様子

参加児童の様子や意見、感想など

- 抱っこや着替えのおさらい用の、もう一体の赤ちゃん人形をあちこち触って子どもたちは楽しんでた。最初、表情が硬かった子達がこれをきっかけに緩んでいき、女子三人で仲良くなっていった。
- 赤ちゃんタイムの親子を2か所に分かれて入り、赤ちゃんの抱っこやママ達と交流。最初は緊張していたが徐々に馴染んでいった。ミルクをあげたり、いろいろな赤ちゃんを抱っこさせてもらっていた。1歳半の妹がいる5年生が6か月児ママから「小学生の方が先輩!」と絶賛されていた。他のママ達も協力的で積極的に声がけてくれ、子どもたちの緊張がほぐれいった様子。

【感想】

- ・赤ちゃんの気持ちに気づくのが大変だと思った。目を合わせてみたら信頼を得れたと思う。
- ・妹の世話をして思い出を作りたい。
- ・世の中のお母さん・お父さんたちがすごくがんばっていて、まちなかで困っていたら助けてあげたいです。
- ・お話を聞いたお父さんお母さんが、子どもを育てるのが楽しいとっていたので、子育てがもっと楽しみになりました。



Missionシート

お母さん・お父さんへの質問 (Missionから抜粋)

- ・赤ちゃんと一緒にいて大変な事
- ・出産時に大変だったこと赤ちゃんを抱っこするときに思うことはなんですか。
- ・沐浴をするときに難しいことはなんですか
- ・妊娠中に困ったことはなんですか
- ・赤ちゃんのかわいい瞬間
- ・赤ちゃんと接するときに気を付けている事



赤ちゃん人形で練習

企業・団体の気付きや感想など

各回5名という少ない募集にもかかわらず130名近い申し込みがあったことに驚いた。そして赤ちゃんのお世話を体験したい子どもたちがこんなに大勢いることがわかり、子育て支援拠点として今後の取組のヒントになった。

沐浴デモでは初めて見る赤ちゃんグッズに興味津々で、助産師にたくさん質問する姿が見られた。またお着替え体験では、ボタンやひもがたくさんある服と格闘し、迎え袖の仕方を一生懸命練習していた様子が微笑ましかった。

親子との交流タイムでは、遊びに来ていた0歳児の保護者がとても上手に子どもたちを迎えてくれて、実際に抱っこさせてくれていた。哺乳瓶でミルクをあげる体験をした子どももいて、とても楽しかった様子。まだ帰りたくない!という声もあった。いつでもお手伝いに来ていいと伝えた所、翌週に早速ボランティアに来てくれた子どもがいた。

参加した子どもたちは、将来保育士や看護師になりたいという夢を持っていて、もっとたくさんの子どもたちに子育て支援拠点の取組に参加してほしいと感じた。次年度は他の区の子育て支援拠点にも声をかけたたくさんの子どもたちが参加できる仕掛けを考えたい。

子どもアドベンチャーカレッジ 2024



先輩ママとの交流 (サテライト)



赤ちゃん抱っこの様子

No.とプログラム名	No.28 あなたも看護師のお仕事を体験してみませんか
実施日・回数	8月6日（火）午前 計1回実施
会場	【戸塚区】独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校 実習室
参加児童数	21人
企業・団体等名	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属 横浜看護学校
参加の目的 (150文字程度)	看護師の仕事について興味・関心を持つ機会とし、将来看護職を目指す人材を増やすことおよび当校のPR

■ プログラム内容

- ・ 白衣の着用
- ・ 看護師の仕事について説明
- ・ 4グループに分かれ看護技術体験
 新生児の抱き方・寝かせ方・おむつ交換 輸液の滴下調節
 聴診器を使用した心音聴取 車いす乗車・移送

■ 当日の流れ

- ・ 9：30 受付 更衣
- 10：00 オリエンテーション 始めの会
- 10：05 看護師の仕事の説明
- 10：20 看護技術体験
- 11：00 グループワーク 意見交換
- 11：20 まとめ 終わりの会
- 11：30 解散



オリエンテーション



看護技術を体験する前に
手洗いを行いました

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・車いす乗車体験は初めてだったので楽しかった。
- ・点滴の滴下を合わせるのは難しかった。
- ・看護師さんの仕事は大変だと思った。
- ・患者さんのことを考えていろいろなことを行っていることがわかった。



点滴の滴下調整体験



車いす乗車・移送体験



赤ちゃん抱っこ・おむつ交換体験

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・小学5年生と6年生を対象としたが、当日5年生2名が連絡なく来校しなかった。次年度は6年生を優先的に受け入れることを検討している。
- ・10分ごとに技術を体験できる設定としたため、飽きることなく全員が積極的に参加できた。
- ・グループワークでは自分の意見をしっかり持ち、表現することができていた。



4グループに分かれて
意見交換を行いました



修了証をもらい
参加者みんなで記念撮影

No.とプログラム名	No.29 海の森の大切さを伝えよう ～楽しい海藻おしば体験教室～
実施日・回数	8月8日（木）午前・午後 計2回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター 会議室
参加児童数	41人
企業・団体等名	UMIMORI
参加の目的 (150文字程度)	海の中に森がある事や海の森の役割は普段あまり考えもしない人が多い。しかし地球環境や温暖化防止にとって、とても重要な役割をしている。一人でもたくさんの方に海洋環境保全についての普及啓発を行うため参加した。

■ プログラム内容

海の中にも森がある事をしり、海の森の役割を考える。
海の森と陸の森のつながりや地球温暖化防止。脱炭素について学びきっかけ作り
漂着海藻を使った海藻おしば作り。
海洋環境学習と海藻おしばづくり（工作）
海の環境を守るため自分に出来る事は？大人にやって欲しいことは？発表してみよう

■ 当日の流れ（カッコ内の時間は午後）

10：30～11：00 海の中にも森がある！海の森の大切さを知る (13：30～14：00)
11：00～11：30 神奈川県 の 浜 辺 に 打 ち あ が っ た 海 藻 を 使 い 海 藻 お しば 作 り (14：00～14：30)
11：30～11：45 各グループのグループトーク (14：30～14：45)
「海の森を守るために自分に出来る事やってみたい事。
大人にやって欲しいことを考えてみよう」
11：45～11：55 全体発表（各グループでどんな意見が出たか？聞いてみよう） (14：45～14：55)



海藻って食べたことある？
どんな海藻を食べたことある？
神奈川県・日本にはどれくらいの種類の海藻があるだろう？



海藻おしば協会の映像教材を使用し、海の森の大切さについて海中映像を見ながら学ぶ



食物連鎖の振り返りをイラストで解説、海の森のご飯は？
海の森と陸の森のつながりを振り返り地球環境が壊れるとどうなるのか？考える時間

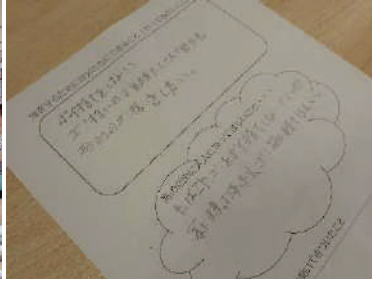
■ 児童の活動



神奈川県横浜に打ちあがった海藻を使用し海藻おしばのポストカード作りを実施



グループワークで海の森のために自分が出来る事・やりたい事、海を守るために大人にやって欲しい事を各グループで発表しあった。



他のグループの意見も聞き、参加者全員で他のグループの意見はどうだったか？発表し情報交換を行った。

■ 参加児童の様子や意見、感想など

横浜のいろいろな区から参加している。兄弟での参加もあったが、受付時にくじ引きでイルカ・サンゴ・ウミスズメ・クマノミチームに分かれ席順を決めた。時間早めに来た参加者が飽きないように、講師が水中で撮影したいろいろな生き物の画像を見ながら開始時間まで場をつないだ。海の不思議な生き物をみながら教室で「海」を感じる事から導入し開始時間を待った。

レクチャーでは、質問すると手をあげて発表してくれる子が多かった。日本には、どれくらいの種類の海藻があるか？挙手制にすると500種類という回答が多かったが、約1500種類という正解を伝えると「え〜すごい！」と驚いていた。映像教材をみながら「え？そんなに小さいの？」「キレイな海藻」「これも海藻なの？」と画面に向かって発言する子もいた。

神奈川県に打ちあがった海藻の中で緑色はみんなが住む横浜（海の公園）で拾った海藻だよ！と説明すると、緑ばかり使う子もいた。楽しい工作時間はあっという間に終わり、グループワークの時間をとった。

今日の話聞いて、海の森を守るために自分に出来る事、やってみたい事。海を守るために大人にやって欲しい事を記入する時間、発表する時間では、一生懸命考え記入していた。3〜4年生には難しかったかもしれないが5〜6年生は積極的に意見も発言していた。その姿をみて低学年でも頑張ってくれた子もいた。

大人にやって欲しい事…の部分では、スタッフ一同の学びにもなった。1週間に1度船で海のゴミを沖で回収して欲しい。車を走らせないで欲しい。工場の煙を減らして欲しい。一緒にゴミ拾いに参加して欲しいという内容もあったが、一番多いのは、タバコを捨てないで欲しいという意見だった。（大人として、恥ずかしい事である。子どもたちの意見に学び見習いたい大人の姿はなんだろう？と振り返る事が出来た。）

自分に出来る事：ゴミ拾いに積極的に参加する。自然体験ができるワークショップに参加する。ポスターを書いてみんなに知らせる。夏休み後学校で皆に呼びかける。などたくさんの意見が書かれていた。

■ 企業・団体の気付きや感想など

「間違っているかもしれないけど・・・」と発表してくれる子もいたが、こたえは間違っていなかったため、良く発言してくれたことを賞賛し、間違っていないことを強調した。その後、なんでも発言していい！という雰囲気になり、他の子にも連鎖していった。雰囲気作りは学生サポーターを含めスタッフ全員が同じ姿勢で取り組んでいたのではないかと考える。今回のスタッフは、講座担当者と横浜市からの派遣学生サポーターのほかに、戸塚区の大学生インターンシップ、一般社会人ボランティアがいたが、初めて朝会メンバーにもかかわらず「子どもたちに楽しい学びを！」という共通認識で行動してくれたため、遅刻者などにも学びがあるよう対応できた。

今回はグループワークの時間を大切にしたいため、感想などを記入したり聞いたりする時間はとれなかったが、挙手制で「楽しかった人?!」「参加してよかった人?!」と質問すると全員元気よく手をあげてくれた。初めての参加であり、申し込みなどの負担はあったが、良い経験にはなったと考える。

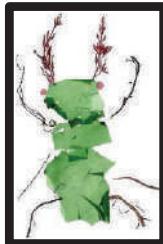
■ 学生サポーターの気付きや感想

事前の打ち合わせで、講座の内容を把握していただき、サポートしてもらいたい事や「楽しく学べるようにしたい」という共通目標を話し、学校での学びや今までの経験を活かして関わって欲しいことを伝えた。当日は、会場準備や運営など積極的にかかわってくれて「お手伝い」のつもりで受け入れたつもりであったが、講座を開催する一員として関わってくれ、発言してくれた意見を取り入れてプログラムを組み立てた。

学生サポーター本人からも、『「主体的で対話的な深い学び」を実践してもらうためにどのように関わることができるだろうかということを考えてながら携わることができたように思います。海藻おしば教室では子どもたちの考え方・楽しみ方・学びの違いや多様な側面から環境問題を捉えること、自分も環境問題の当事者なんだという意識を早速持ち始めたことに子どもの成長力や活力を感じ、圧倒されました。本日、スタッフとして得た気づきや学びを今後、自身の活動にも参考にしたいと思います。』という感想をいただき、講師もスタッフも参加者も、それぞれ次への学びにつながる経験が出来たのではないかと考える。



子供たちの意見を聞き出しながら関わるサポーター



参加者作品一部
当日作品は持ち帰れませんが、講師が乾燥作業を行いラミネートをして、切手をはり郵送した

No.とプログラム名	No.30 気象予報士といっしょにお天気について学ぼう！
実施日・回数	8月6日（火）13：30～15：00 1回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター 会議室
参加児童数	24人
企業・団体等名	よこはま気象予報士サークルひまわり
参加の目的 (150文字程度)	小学生にとって「お天気」は最も身近なサイエンス。身近なものを使った簡単な実験で、その仕組みを学んでもらう。また、夏は局地的大雨、雷、そして台風の季節。小学校高学年になると一人での行動が増えるため、自分の身を守るためには自分で考え行動する力が必要になる。学んだ気象防災について家に帰って家族で話し合う機会になればと思う。



気象予報士といっしょにお天気について学ぼう！

■プログラム内容

身近にあるものを使って
簡単な実験をしよう！

- ①ミニ竜巻発生装置を組み立ててうずを観察しよう。
- ②ペットボトルで雲を作ってみよう！

風水害から身を守ろう！

とつぜんの大雨や雷をひきおこすのはどんな雲？
どうやって身を守ったらいいのかな？
いっしょに考えてみよう！

■当日の流れと活動の様子

気象予報士ってどんなことをするの？

気象キャスターや予報業務だけではなく、様々な場面で必要とされ、活躍しています。

ミニ竜巻発生装置を組み立てよう！

羽をクリップで留めるところが難しいのですが、みんなきちんとできました。グループ毎に気象予報士のスタッフが一人つき、組み立てをフォローして回りました。



装置が完成！



■当日の流れと活動の様子

さあ、ウズの観察だ！

ドライアイスで煙を出してミニ扇風機を回すと、あら不思議！煙が回転し、渦を作り出しました。装置を逆向きにしたらどうなる？装置を重ねて2段にしてみたらどうだろう？グループ内で協力して実験しました。

雲ができるしくみを説明



ペットボトルで雲を作ってみよう！

雲ができる仕組みを学んだら、さっそく実験。ペットボトルの中に真っ白な雲ができました。カいっぱいプッシュ空気詰め込んで手が疲れたかな？

がけからは土が崩れてくる危険があります。

情報はテレビのニュースから。

僕はインターネット。スマホとか。

ワークシート作成中！

すごい風だった次の日登校中に垂れ下がっている電線を見たよ！

ハザードマップを見たことがありません。

防災のおはなし

クイズを通して大雨や雷のときの行動を確認。気象災害は地震と違って「いつくるか」を予報を見て確認できます。ワークシートが完成したら、みんなの前で発表してもらいました。家に帰ったら家族で話し合ってみましょう！

よこはま気象予報士サークルひまわり

■私たちの気づきや感想

- ★講座経験は多くあるが、主催者となりチラシ作成から募集・抽選、教材費の徴収など運営は初めてだった。まずは事故なく無事講座を終了することができホッとした。
- ★応募者が多く抽選だったが、当選者が全員参加してくださり、とても嬉しかった。
- ★子どもたちだけで組み立て作業ができるか心配したが、グループに一人気象予報士を付けたため何とか装置を完成することができた。グループを縦割りにしたのもよかったと思う。が、子どもの対応に追われ、報告用の写真が撮影できなかった。
- ★保護者の参加も可能にしたかったが、会場の都合上難しかった。
- ★家でも正しく実験できるように保護者向けのレジュメを配った。また講座終了後、迎えにいらした保護者の方々に、実験のデモを行ったため、内容を理解していただけたと思う。
- ★実験が面白くて、時間が押してしまった。気象防災に関する時間をもっと取り、自分たちの住む街についての理解を深めたかった。
- ★最後に多くの助言をいただいたとつか区民活動センターのみなさまに感謝申し上げます。

初対面のお友達と協力して実験を行うことができました。



開始前

大雨・雷などの基本的な行動をちゃんとわかっていたので頼もしい！

実験が面白かった！



防災クイズ

将来気象予報士になりたいです！

よこはま気象予報士サークルひまわり

No.とプログラム名	No.31 子ども薬剤師体験セミナー
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後 計2回実施
会場	【戸塚区】横浜薬科大学 模擬薬局
参加児童数	13人
企業・団体等名	横浜薬科大学
参加の目的 (150文字程度)	薬の歴史や薬剤師の職能について講義で学び、調剤など一部の仕事を体験することで社会参加のきっかけとする。フィードバックでは主体的に対話することで体験をより深い学びとする。体験セミナーとして、体験準備（手指消毒）、モバイルファーマシーでの災害医療、錠剤調剤、服薬指導の領域を教員が個別に付き添い体験する。

■ プログラム内容

講義（講座）

実習1：（手指消毒、モバイルファーマシー見学）

実習2：（調剤、服薬指導）

修了：（振り返り／認定証、アンケート）

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

受付～講座～実習1～実習2～修了



（講義を受講する様子）



（手指消毒の様子）

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・薬を作って渡したりするのが面白かった。
- ・モバイルファーマシーという災害時の車に入れてよかった。
- ・錠剤の一包化をするのが楽しかった。
- ・しっかりと手を洗えたかを確認できるのが面白かった。
- ・薬剤師の歴史や薬のことが知れてよかった。



(モバイルファーマシー災害医療体験)



(服薬指導の様子)

■ 企業・団体の気付きや感想など

例年、学生の主体性を尊重したイベントにしてまいりましたが本年は、日程の都合で学生が参加できない状態でした。このイベントは学生も学びの場となり参加者の小学生に教えることで薬剤師の職能を改めて見直す機会となりました。しかし、教・職員が一体となり小学生一人に教員一人をつけたことにより、質問しやすい環境となったためか、気楽に質問ができ感想なども積極的に話されていました。また、プログラムの内容で保護者に服薬指導や問診をする場を作ったことで、子供たちが自立し対等に保護者と会話できる場となりました。保護者からも好意的な感想が多く寄せられました。本プログラムで子どもたちの主体性の場となっただけでなく、薬学の面白さや薬剤師の職業について学ぶ機会を作ることができ、薬剤師になる動機づけの場となった子供もいたことは、薬学部の学生や大学職員にとっても励みとなりました。



(機械による錠剤の一包化を体験する様子)



(修了後、子ども薬剤師認定証を受領する様子)

No.とプログラム名	No.32 誰もが天才画家！色の魅力を体感しよう
実施日・回数	8月7日（水）午前 計1回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター 会議室
参加児童数	12人
企業・団体等名	お絵描き工房 光
参加の目的 (150文字程度)	「誰でも簡単に素敵な絵が描けて心と身体に平穏と活力をもたらし、完成した作品からコミュニケーションが広がる」、そんなパステルシャインアート（パステルアート）を体験してもらい、この先の未来を創造していく子ども達に、少しでも自己肯定感を高めるためのお手伝いが出来ればと思い参加しました。

■ プログラム内容

パステルを使ってのびのびと色の心地良さに触れながら
世界で一つだけの絵（15cm角）を描き、
出来た作品をシェアして、お互いの良いところを見つけて伝え合う。

■ 当日の流れ

1. 色についての簡単な説明（5分）
2. パステルアートでイルカを描く（70分）
 - ・ 講師インストラクション
 - ・ お絵描きタイム
3. 1テーブル4人で出来た作品をシェア（15分）



「自分と向き合い絵を描く様子」

■ 参加児童の様子や意見、感想など

◇緊張から笑顔へ

初めてみるパステルの画材やその他の道具に緊張気味の子ども達、絵を描き進めていくうちに初対面のお友達と「こうやって描けばいいんだよ」と教え合う姿も見られ、帰る時には皆「楽しかった！」と満足そうな笑顔がみられました。

◇ストーリーを持って描いていた男の子に感心！

「2頭のイルカは宇宙を目指していて、ここに太陽があって、この2頭は…」と頭の中で物語りを描いていて、子どもの自由な感性と想像力の豊かさに感動しました。

◇些細な事がキッカケで仲良し

「使っている練り消しゴムは持って帰って良いからね」と伝えた途端笑顔になり、そこから知らない子同士が一気に仲良くなりました。些細な事が嬉しい感情となる瞬間でした。

◇我が子の姿に感動

普段あまり積極的に自分の意見を言わない女の子が、シェアの時に友達絵を見て「私この色好き！」と自分から声をかけていた我が子の姿を見ていた保護者の方から、帰り際に喜びの声をいただきました。

■ 企業・団体の気付きや感想など

◇インストラクションの際に、テーブルの周りに子ども達が集まりましたが、もう少し輪が大きくなるようにすれば良かったです。



「真剣にインストラクションを見ている様子」



「作品仕上がりイメージ」

◇出来上がった十人十色の素敵な作品の写真を取り忘れてしまったのがとても残念でした。

◇保護者の方の参観は無くして、子ども達だけの参加にした方が、よりのびのびとできたかもしれません。

◇子ども達の自由な感性と想像力の豊かさに、日本の未来も捨てたものではないなと感じました。

No.とプログラム名	No.33 太陽光パネルとTESLAの蓄電池で安心の生活を学ぼう
実施日・回数	8月7日(水), 8日(木) 両日2部制 午前の部：9:00～11:30, 午後の部：13:00～15:30 (計4回実施)
会場	【戸塚区】株式会社アイエーエナジー 会議室
参加児童数	50人
企業・団体等名	株式会社アイエーエナジー, 辻・本郷スマートアセット株式会社
参加の目的 (150文字程度)	発電、太陽光パネル、蓄電池、電気自動車についての基礎的な知識を学習し、停電時の安心な生活に加え、環境問題にも関心が向くようにする。 自転車による発電体験や「ソーラーエコハウス」キットの工作により、学習内容が身近なものだと認識してもらい、学習内容や思い描く安心な生活をグループディスカッションで共有する。

当日の流れ

- 【授業】 発電, 太陽光パネル, 蓄電について学ぼう：30分
- 休憩：10分
- 【授業】 電気自動車について学ぼう：10分
- 【工作】 ソーラーエコハウスをつくろう：85分
- 【発表】 グループで学んだ内容やソーラーエコハウスのこだわりを共有しよう：10分
- 修了式：5分



授業の様子



自転車による発電体験の様子



グループディスカッションの様子

【参加児童の意見・感想】

- 太陽光パネルのしくみがわかった。
- 自転車で電気をつくるのは大変だとわかった。
- オリジナルのソーラーエコハウスをつくるのが楽しかった。
- テスラの電気自動車がカッコいいので乗ってみたいと思った。
- カッコいい充電器を家につけたいので、電気自動車が欲しくなった。



ソーラーエコハウスの工作に取り組む様子



グループディスカッションの様子

※ 参加者の皆さまより写真撮影に関する許諾を頂いていますが、プライバシー保護の観点からぼかし加工を入れております

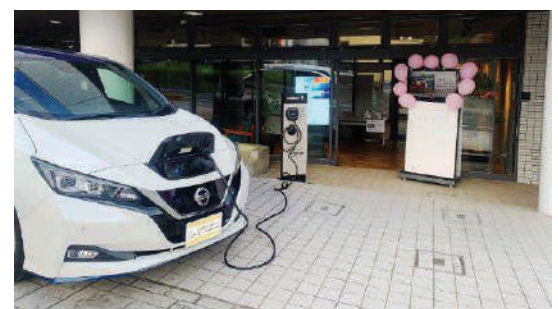
企業の気付きや感想など

発電に関する内容は小学6年生で学ぶことであるため、6年生未満にとっては少し難しい内容のプログラムで退屈を感じさせてしまうのではないかと心配していたが、児童たちが非常に強い興味を持って参加してくれたため、非常に活発で有意義な学びの機会になったと感じている。

会場内で初対面の児童どうしが仲良くなり一緒に工作をしている姿も見受けられ、ディスカッションの時間を含め、他校の児童との良いコミュニケーションの機会も創出できたと考えている。

今回取り扱った太陽光パネル、蓄電池、電気自動車はどれも地球温暖化等の環境問題や再生可能エネルギーと密接な関わりを持つものであり、この先の未来を生きる小学生たちには是非知っておいて欲しい内容である。単に環境に良いという側面だけではなく、実生活においても豊かな暮らしに繋がるものである点も学んでいただき、ソーラーエコハウスの工作を通じてそれらが身近なものであることを認識頂けたのではないかと感じている。

平日にも関わらず、多数の児童に本企画に参加頂き、楽しく学ぶ機会を提供できたことに感謝している。



会場入り口の展示



終了証の授与

※ 参加者の皆さまより写真撮影に関する許諾を頂いていますが、プライバシー保護の観点からぼかし加工を入れております

No.とプログラム名	No.34 図書館のお仕事を体験しよう！
実施日・回数	8月7日（水）9：30～11：30、13：00～15：00 計2回実施
会場	【戸塚区】男女共同参画センター横浜 情報ライブラリ
参加児童数	19人（午前8人、午後11人） ※応募者多数のため定員を増やしました
企業・団体等名	男女共同参画センター横浜
参加の目的 (150文字程度)	小学生及びその家族の男女共同参画センター横浜と情報ライブラリについての認知度を高め、利用のきっかけをつくるため。また、参加者に男女共同参画社会やジェンダー平等について啓発を行うため。

■ プログラム内容

お仕事紹介（男女共同参画センターおよび情報ライブラリの業務内容についてのレクチャー）、本の貸出・返却作業や、本を紹介するためのPOP作成、本の展示作業 等

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

1. オープニング あいさつ（スタッフ・参加者の自己紹介）
2. ライブラリツアーと「私のおすすめの一冊」をえらぼう
3. 本の貸出（かしだし）・返却（へんきやく）をやってみよう
4. POP（ポップ）をつくろう！
5. 発表と展示をやってみよう
6. 振り返りの会・修了証授与



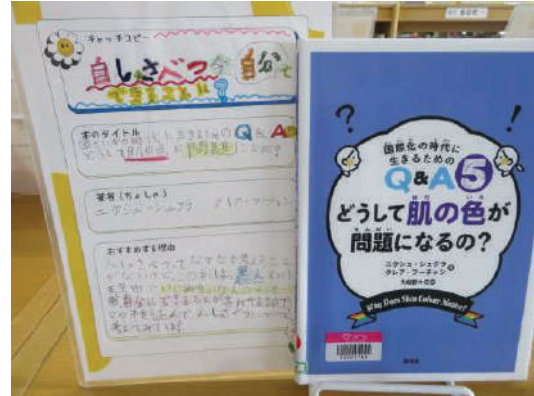
本の貸出と返却作業を行っている様子

■子どもたちの感想

- ・本の貸出や返却の仕方がわかって、体験して楽しかった。
- ・学校の図書室と少し違って面白かった。
- ・図書館の仕事を始めて知ることができた。
- ・本の楽しさを改めて知り、勉強になって楽しかった。
- ・POP作りが大変だったので、いつも作っている職員さんに感謝した。
- ・本の置き方を工夫しているんだなと思った。



おすすめしたい本のPOPを作成している様子



■企業・団体の気付きや感想など

みなさん楽しみにしてきてくださった様子でした。本が好きな子どもたちが多い印象で、たくさんの本の中から1冊選ぶのに迷っていたり、決めた一冊のPOP作りを熱心に取り組んでいました。図書館員体験は普段立ち入れないカウンター内に入っての作業で、子どもたちのわくわく感が伝わってきました。POP作りでは、本の選択やコピーのつけ方から各自の主体性がうかがえました。私たち大人による「子どもらしさ」の思い込み・押しつけについて、考えさせられる機会になりました。



図書カウンターでの貸出と返却作業を教えている様子

No.とプログラム名	No.35 『なんだろう』の森への大冒険！ ～子どものための哲学カフェ
実施日・回数	8月7日（水）13：30～15：30 1回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター・会議室
参加児童数	8人
企業・団体等名	アートの時間
参加の目的 (150文字程度)	「子どもたちがより豊かに生きるために」と『横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業～アーティストが学校へ』にコーディネーターとして約16年間関わらせていただいているが、最もシンプルな表現活動としての哲学対話の中にも、みんなで何かを創る楽しさがあるということを紹介したいという思いで、参加させていただいた。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

当たり前を問い直す作業の中で、正解がない問題について、他者の意見をよく聞き、自ら考え、よりよい方向へ進むプロセスを体験した。

具体的には参加児童が提案した「モノは生きているのか？」「生きるとは？」というテーマに沿って深い対話を行った。

当日の流れ

- 1 13時30分～13時45分：互いを知り合う
- 2 13時45分～14時15分：当たり前を問い直すとはどういうことか、芸術作品を用いて、意見を出し合いながら、哲カフェの手法を体験
- 3 14時15分～15時35分：本日のテーマを出し、賛否分かれ、対話を深める
- 4 15時35分～15時45分：感想を言い合う



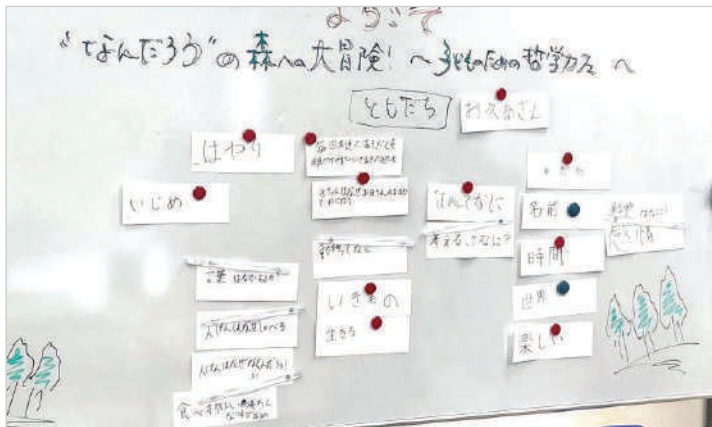
「集めているもの」などを語りながら互いを知り合う



藤田昭子氏（造形作家）の作品を鑑賞し、これは何かを考え、作品に自分たちなりの名前をつけてみる

参加児童の感想など

- ・色んなことを深く考えた。
- ・色んな人の意見が聞けてよかった。
- ・色んなことが繋がっていることがわかった。
- ・全員初めて会ったのに、みんなでひとつの絵を描いているみたいだった。
- ・色んな考えがあっておもしろかった。
- ・生きることの深い考えが知れた。
- ・自分と違う意見が知れてよかった。
- ・簡単に考えるとモノは生きてない、難しく考えるとモノは生きてると考えられる。
- ・不思議に思うこと、疑問に思うことが考えられた。
- ・他の人の言うことも知れて楽しかった。
- ・楽しかった。みんなの意見を聞いてそうだなと思った。また来たい。



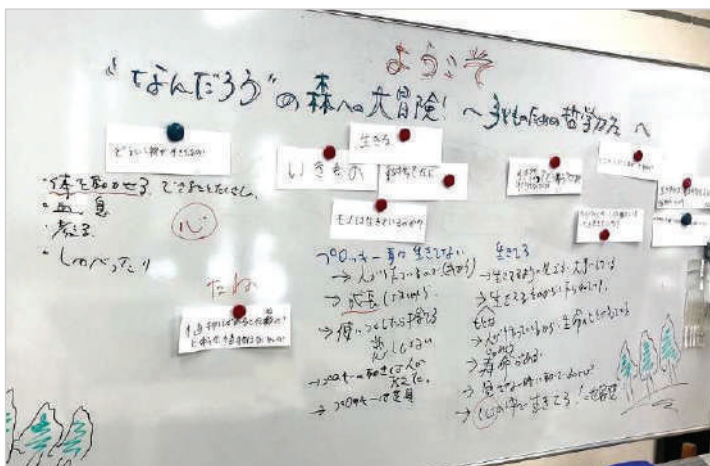
<補足>

「モノは生きているか?」という切り口からスタートした。生きているという意見も多数出たが、それは、そう考える心(視点)をどちら側に置くかということではないかという気づきに至った。

話したいテーマとして出て来たワード

企業・団体の気付きや感想など

この場では何を言っても否定されない、安心して語れる場であることを共有できたので、子どもたちは対話を本気で楽しむことができたようだった。大人が思っている以上に、子どもたちは知識欲も思考力も、そして想像力も高い。これらの力を総動員する今回のような対話のプログラムが学校の教育現場にもあれば、各教科での学びが深いところで結びつき、彼らの更なる力になるのではないかと感じた。



対話の中で出て来た意見

No.とプログラム名	No.36 手術で使う道具には工夫がたくさん ～お医者さんが手術で使う道具を触って体験してみよう！～
実施日・回数	8月6日（火）午前、午後 計2回実施
会場	【戸塚区】株式会社パイオラックスメディカルデバイス 横浜事業所
参加児童数	23人
企業・団体等名	株式会社パイオラックスメディカルデバイス
参加の目的 (150文字程度)	社会貢献 小学生の子供たちに体験コーナーや工場見学を通じて、ものづくりにおける工夫や大変さを感じてもらい、今後の学びへの意識向上につながり、将来の職業選択について考えるきっかけになればと思い参加しました。

■ プログラム内容

人体のしくみや病気について学び、お医者さん体験コーナーでは実際の手術で使用されている製品に触れたり、作っている工場を見学した

■ 当日の流れ

講話⇒人体の仕組み・病気について⇒体験コーナー
⇒工場見学⇒グループディスカッション・振り返り・発表



講話の様子



人体のしくみ・病気についての様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

体験コーナーでは実際の手術道具に触れ、
工場見学では作業工程を確認し、

「とても興味深かった」

「たくさんの工夫があって凄いと思った」

「一つ一つ手作業で作って大変そうだった」 etc.



体験コーナーの様子



工場見学の様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

最初の自己紹介では緊張した様子であったが、
体験コーナーや工場見学を行う中で徐々に緊張もほぐれ、
最後のチームディスカッション、発表ではファシリテーターの助言もあり
様々な意見が出てきていた



体験コーナーや工場見学では保護者の方も参加

No.とプログラム名	No.37 映像をiPadでグループ制作して映像祭に参加しよう！
実施日・回数	8月6日(火)、7日(水)、8日(木)いずれも午後(計3回実施)
会場	桜木町 さくらリビング研修室
参加児童数	37人
企業・団体等名	NPO法人キッズディレクター
参加の目的 (150文字程度)	映像の楽しさを知り、メディアリテラシーの学びを行い、学区外の児童との交流を行うこと、青少年や大人と交わることを目的といたしました。

■ プログラム内容

映像の基礎講習、撮影技法 編集の基礎 編集アプリの操作

■ 当日の流れ

- 1日目 映像基礎 撮影方法 仲間を撮影
- 2日目 ロケハンと撮影
- 3日目 編集の基礎 編集
作品の完成



グループ紹介映像制作

■ 参加児童の様子や意見、感想など

子どもたちは初日から仲間として活動をはじめました。
協力してぶつかりながらも作品完成に向けて頑張っていました。
楽しく作品作りができました。



映像・撮影方法の基礎講習

■ 企業・団体の気付きや感想など

子ども隊は意見を出し合って制作に取り組んでいました。
プログラムとしては編集作業時間をもう少しとれるようにしたいと思います。

■ 学生サポーターの気付きや感想など

学生サポーター2名は積極的に子どもたちとかかわってくれて、助かりました。
グループ入ってもらいサポートをしていただき、助かりました。



No.とプログラム名	No.38 オリジナルカードゲームの制作を体験しよう！
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後（計2回実施）
会場	関東学院大学 関内キャンパス
参加児童数	77人
企業・団体等名	関東学院大学佐々ゼミナール
参加の目的 (150文字程度)	ゼミナール活動の一環として参加いたしました。 佐々ゼミナールは、モノだけでなくコト（イベントや体験）のデザインを主に行っています。その点では、小学生向けの遊びの体験を学生の手によってデザインができたことは、良い機会でした。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

なんじゃもんじゃ（ゲーム）をベースとして、オリジナルなカードゲームを作成し、遊ぶ

当日の流れ

- 1 「デザインとは」の説明と大学の教室見学：20分
- 2 ワークショップの説明：10分
- 3 オリジナルカードゲーム作成：50分
- 4 作ったゲームで遊ぶ：20分
- 5 修了証お渡し、アンケートの実施：20分

デザインを制作する様子→



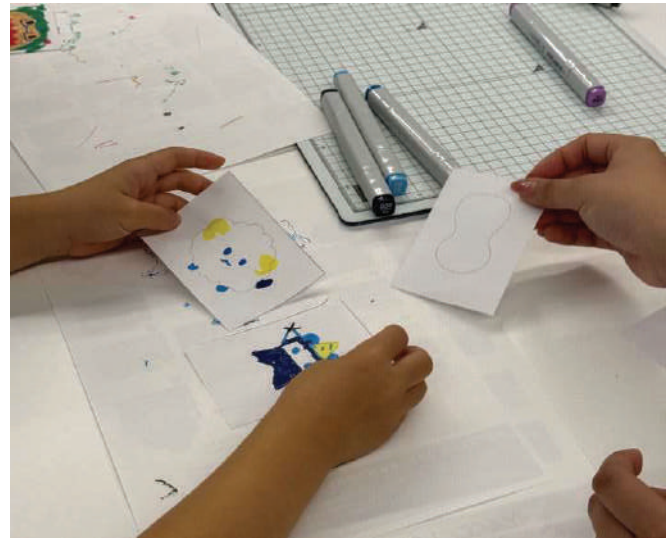
参加児童の様子や意見、感想など

実際のワークが多く、ディスカッションや振り返りを行っていません。今後の課題かと思われます。

感想としては、
「すごく楽しかった」
「時間がたつのが早かった」

などをいただきました。

感觸としては、騒がしいぐらいに大いに盛り上がりましたので、成功だったと思います。



参加した児童が作成したデザイン

企業・団体の気付きや感想など

作った後の感想や学びを発表する場を設ければ良かったかと思えます。

ゼミの学生が中心になって行いましたが、とてもスムーズだったかと思えます。

落選メールは出した方がかえって良かったです。
ひっきりなしに問い合わせがあったので。



作成したオリジナルカードで遊ぶ小学生と学生

No.とプログラム名	No. 39 学芸員の仕事を体験してみよう！
実施日・回数	8月7日（水）午前、午後（計2回実施）
会場	【中区】横浜人形の家 4階ホワイエ
参加児童数	18人（午前8人、午後10人）当日欠席2人
企業・団体等名	横浜人形の家
参加の目的 (150文字程度)	横浜市の施設として、人形文化や「まもり・しらべ・つたえる」学芸員の仕事等を地元の小学生に知ってもらうきっかけづくりとして実施。

■ プログラム内容

博物館は大事なものを集めて・守って・調べて・紹介しています。その仕事を主に行うのが「学芸員」。ふだんあまり知る機会のない仕事を知って、その一部を体験してみました。

今回は「横浜開港人形」をテーマとしました。

■ 当日の流れ

まず「横浜人形の家」「学芸員」についてレクチャー。次に関東大震災の復興期、横浜開港期の人々をモデルに作り始められた「横浜開港人形」を知った後、開港人形を含めた常設展示を、解説を聴きながら一周。小休憩後、いま伝えたい「横浜で暮らす人」を考えてカードを作り発表。また、実際の開港人形をその石膏型を手にとって、作り方や博物館資料の取扱いの基礎を学びました。その後、カードをバランスを考えながら額装。10月末まで常設展示室に展示しています。



全体レクチャーの様子 博物館の仕事だけでなく開港や関東大震災と横浜についても学びました



常設展示室で「開港人形」をはじめとした人形たちを観ながら説明を聴きました

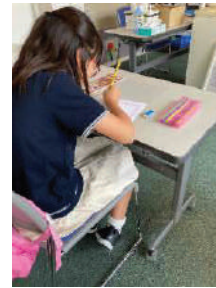
■ 参加児童の様子や意見、感想など

初めは緊張気味でしたが、個別に話しかけると応え、課題について質問も出るようになりました。館内見学の際は声をかけても遠巻きにする児童も少しいましたが、課題の説明はきちんと理解していました。

人形（デザイン）を考える課題では、有名人や横浜ならではの仕事を考える人を選ぶことを想定していましたが、身近な人（先生や親、街で見かける人）を選ぶ児童が大半でした。日常的に周りの大人をよく観ていて、自分もそうなりたい、という憧れや感謝の言葉が出ました。

人前で一人ずつ発表することには慣れていないようで皆スラスラと話しましたが、最後に課題を展示するためのグループディスカッションとなると全く意見が出ず、時間がないので受入側が主導するかたちとなりました。早い段階で一度周りとの意見交換する機会を設けていればよかったかもしれません。

「講話」の際は付添の保護者を含めて皆真剣に話を聴いていました。小休憩を三度挟みましたが、全体として集中力を持続して取り組むことができたと思います。



こんな人形を...と決めたら一気にカードを書き上げました



午前／午後それぞれ、完成したカードを額に並べて貼ります。色や内容のバランスを考えながら！

■ 企業・団体の気付きや感想など

3年生から6年生ですと知識や理解の差が大きいため今年は4年生以上としましたが、昨年と比べて課題設定と進行のしやすさという点では正解だったように思います。

プログラムを終えて、子どもたちが身近な大人をよく観ている一方、外から見た、あるいは特徴的な「横浜らしさ」に具体的なイメージをもっていない（具体例が挙がらない）こともうかがえました。一方で「学芸員」という専門職種をあらかじめ知っていて今回応募の動機となっていた児童が3分の2を占めており驚かされました。

もともと学芸業務を小学生に2時間で体験してもらうのは難しいので、かなりスポイルした内容になるのですが、この年齢に合わせ、かつ子どもアドベンチャーカレッジの趣旨に沿う課題と進行を、再度練り直す必要があると感じました。

今回の参加児童が、この体験をきっかけに人形の家をまた訪れたり学芸員への関心を深めたり、将来インターンシップなどで関わったりすることになればとても嬉しく思います。



各自、作成したカードを見せながら内容発表。しっかり話せました。



皆のカードを入れた額を囲んで、記念撮影。お疲れ様でした！

No.とプログラム名	No.40 看護師さんのお仕事を知ろう！
実施日・回数	8月6日（火）午前 計1回実施
会場	【中区】独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院 会議室
参加児童数	19人
企業・団体等名	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院
参加の目的 (150文字程度)	横浜市内の小学生とその保護者に当院の医療への取り組みを知ってもらう。

血圧を測ってみよう！
包帯を巻いてみよう！
なりきり☆👩‍⚕️看護師さん！



当日の流れ

- 10時00分～10時20分：病院説明
- 10時20分～11時40分：①病院内案内 ②看護師ユニフォーム試着
③看護技術体験
血圧測定・包帯巻き・車いす体験・手洗い実践
※上記の内容を各20分程度ずつ体験していただきました。
- 11時40分～11時55分：質問・振り返りディスカッション

血圧・サーチュレーションを
測ってみよう！



お父さん♪お母さんの手当♪♪
包帯を巻いてあげる～～～

参加証

看護師さんのお仕事を知ろう！

2024.8.6

初めて体験すること・・・

看護師さんになってみたり
血圧を測ってみたり
包帯を巻いてみたり

どれも見ていると簡単にでき
ちゃいそうでしたが、やってみ
ると、うまくできなくて
むずかしかったです。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

横浜中央病院

Yokohama Chuo Hospital



看護師さんのお仕事を知ろう！

2024.8.6

車いすでモデル人形を移送してみたり・・・
手をきれいに洗っているか、光をあてて確認してみました。

とても暑い中・・・たくさんの方に参加をしていただきました。
ご参加頂いた皆さんが楽しんでいただけている姿を観て、私たちもとても
楽しく♪過ごすことができ、元気をたくさん頂きました。
これを機会に、広く横浜市民の皆様へ、当院を知っていただく機会に
つながるといいな・・・と思っております。
地域の皆様が、安心して過ごせるよう私たちも精進してまいります。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

横浜中央病院



No.とプログラム名	No.41 議事堂探検！議員を体験！
実施日・回数	8月7日（水）午前10時から午前11時半まで 8月8日（木）午前10時から午前11時半まで 計2回実施
会場	横浜市役所 市会議事堂
参加児童数	58人／80人
企業・団体等名	横浜市議会事務局政策調査課
参加の目的 (150文字程度)	子どもたちが横浜市会について知り・学ぶことで、議会をより身近に感じ、政治や議会に興味・関心を持ってもらうことを、本プログラムの参加目的としております。

■ プログラム内容

「自分たちの住んでいる街の大切なことが、どのように決められていると思いますか？」

普段入れない議事堂内を特別公開！動画やクイズを交えて、議会の仕組み、議員の仕事内容を分かりやすく紹介します。プログラムの後半では、実際に議員席に座って議員体験ができます。

■ 当日の流れ

10時00分～

- ・ガイダンス
- ・学習動画視聴＆市会クイズ

10時20分～

- ・議員体験「ボタン採決」

10時30分～

- ・議事堂探検ツアー
- ・写真撮影＆質問タイム

11時10分～

- ・クロスワード答え合わせ
- ・振り返り会

11時30分～

- ・解散
(希望者のみ) お絵描き



子どもたちが学習動画を視聴する様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 議員さんの仕事が大変なものであることが分かった。
- ・ 議会の分からないことが分かるようになりました、また来たいです！
- ・ 特別応接室に入れて嬉しかったです！



本会議場でボタン採決体験をする児童たち

- ・ クロスワードの答えを探しながら見学できたのが楽しかったです！
- ・ 定例会の傍聴に来てみたいな、と思いました。
- ・ バリアフリーについて習いましたが議会もみんなに配慮がされている、優しい場所だと思いました。
- ・ ボタンで採決をしていることを知ることができた。
- ・ 実際に賛成・反対を押してみることができて楽しかった！
- ・ いろんな人が関わっていることが分かりました。
- ・ 使う前はボタンは白なのに、使うときは青・赤色に光る！

■ 企業・団体の気付きや感想など

参加人数が多い中、学生サポーターの二人が非常に良く頑張ってくださいました。

しっかりとタイムマネジメントを意識しつつ、それでいて児童達の興味関心を引き付けられるようメリハリのある説明・案内をしていたと感じています。

また、参加された児童らのみならず、保護者の方たちも私たちや学生サポーターの話に積極的に耳を傾けてくださいました。全体を通しまして、運営側としては、これ以上なく素敵な2日間を過ごせたと思っております。

■ 学生サポーターの気付きや感想など

議会の話に興味をもってもらうのは難しいところだが、今回のイベントを通じて自分事として興味をもってくれる子が増えてくれたと思う。

保護者の方も積極的に質問していた。また、アドリブ前提で対応をしなくてはならないところがあるな、と感じた。



議事堂探検でホワイエを満喫する親子



議会クイズに答える児童らの様子

No.とプログラム名	No.42 キッズ・マネースクール
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後 計2回実施
会場	【中区】横浜信用金庫 8階大会議室
参加児童数	午前19人、午後19人
企業・団体等名	横浜信用金庫
参加の目的 (150文字程度)	キャッシュレス化が進み「お金」の使われ方が見えにくい現代だからこそ、お金を取り扱う仕事の様子やお札を使った体験を通して、子どもたちに「お金」について学んでいただく良い機会と捉え参加いたしました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

1 信用金庫のお仕事（講義）：30分

～信用金庫はどんな仕事をしているのだろう？～



(信用金庫のお仕事)

2 本店営業部内見学ツアー：30分

～実際に仕事の様子を見てみよう！～

3 1億円の重さ体験：10分

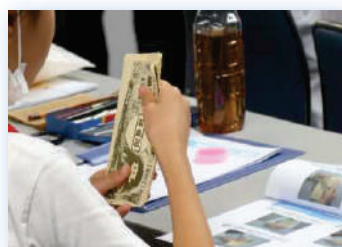
～1億円の重さってどれくらい？～



(お札の偽造防止技術説明)

4 お札の偽造防止技術説明：20分

～新しいお札の秘密を見つけよう！～



(お札の勘定体験)

5 お札の勘定体験：20分

～札勘上手にできるかな？～

参加児童の主な感想・意見

信用金庫のお仕事・見学ツアー

- ◆ 銀行との違いや、お札にある技術を知れて自由研究に役立ちました。
- ◆ 信用金庫の秘密がわかった。
- ◆ 金庫の扉がすごく分厚かった。
- ◆ カメラの場所が意外なところであってびっくりです。
- ◆ 普段は見れないところの見学が楽しかった。
- ◆ ATMの裏側など知らなかった機械や場所を見学して感動した。

お札の偽造防止技術

- ◆ お札の秘密が一番楽しかった。
- ◆ お札の隠れた字を探すのが楽しかったです。
- ◆ 3Dホログラムなどの偽造防止技術がすごすぎて感動しました。

お札の勘定体験

- ◆ お札の数え方を知る機会が、あまりなかったので貴重な体験ができて良かった。
- ◆ ちょっとだけお札を扇形にすることができた。
- ◆ お札の数え方がうまくできなかったが、家で練習したい。



(親子で偽造防止技術の説明を受けている様子)



(お札の勘定体験をする様子)

企業・団体の気付きや感想など

「キッズ・マネースクール」は、子どもアドベンチャーカレッジに参加する前から当金庫で実施しているプログラムです。

これまで保護者の方より、小学校高学年になりお金のことを学ばせたいが、どのように説明したら良いかわからないとの意見が多く寄せられていました。

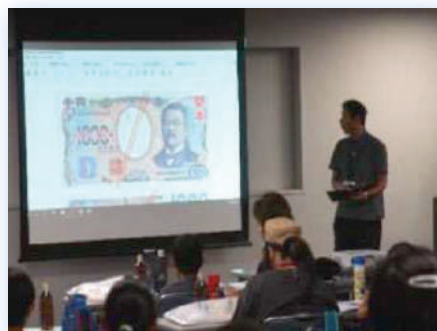
当金庫としては、キャッシュレス化が進み「お金」の使い方が見えにくい現代だからこそ、お金の取り扱いの様子やお札を使った体験を通して、子どもたちに「お金」について学んでいただく良い機会と捉え本スクールを実施しています。

子どもたちから、積極的に質問が出るなど改めて子どもたちの探求心の高さに驚かされ、「お金」について学びたいニーズが多いことを改めて実感しました。

今後も子どもアドベンチャーカレッジに参画し、地域の皆様のニーズにお応えできるよう努力していきたいと考えています。



(信用金庫の仕事について説明する様子)



(新札の偽造防止技術について説明する様子)

No.とプログラム名	No.43 建設のお仕事を体験してみよう！
実施日・回数	8月8日（木）10時30分～16時 計3回実施
会場	【中区】ラジオ日本 会議室
参加児童数	33人
企業・団体等名	一般社団法人横浜建設業協会／横浜建設業青年会
参加の目的 (150文字程度)	建設業について、講話と体験で楽しく学んでもらいました。 プログラムを通じて、建設業がどのような仕事なのか、どのように市民の生活を支えているのか、大切さや魅力を参加者にPRすることを目的とし、参画しました。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ・ 建設業の仕事の話（講話）
- ・ ドローン体験
- ・ 一輪車を使った運搬作業体験
- ・ 建設現場で使用する工具の展示
- ・ 測量体験

当日の流れ

- 1 講話：15分
- 2 体験学習：45分（3組に分かれてローテーション）
- 3 振り返り会：15分



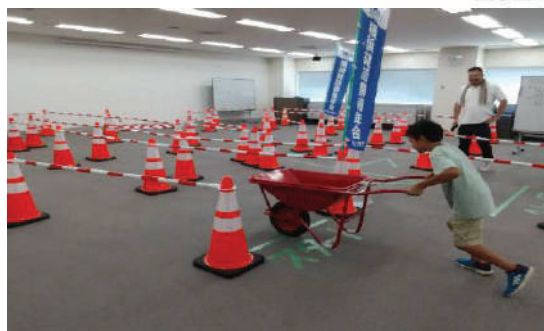
クイズに積極的に答える様子



測量器を使って距離を測る様子

参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 運搬作業に使う一輪車を実際に手に取ると、思っていたより難しかったが、タイムを競う体験は楽しかったという感想が多かったです。
普段は何を運ぶのか、どのくらいの重さの物を運ぶのかなど、参加児童が積極的に質問をしていました。
- ・ ドローン体験では、建設業での用途とは異なりますが、実際に操作してドローンサッカーを体験してもらい、普段触れることのない機械のため、非常に興奮していました。
- ・ 参加児童から、「建設業の一番のやりがいは何ですか？」との質問があり、「ものが完成した時、人に喜んでもらった時、道路が完成して便利になった時」などの答えを熱心に聞いていました。
- ・ 保護者の方からも、建設現場で使用する機器について質問を受けるなど、親子で楽しんでいただけたと思います。



一輪車の運搬作業でタイムを競う様子



ドローン操作の説明を受ける様子

企業・団体の気付きや感想など

建設業の仕事について、映像やクイズを交えて説明し、理解を深めてもらいました。その後、一輪車での運搬、測量、ドローン操作といった建設現場に関わる機器を使ったプログラムを体験してもらいました。

講話や体験を通じて、参加児童から建設業に興味を持って参加してくれた事がうかがえ、人々の生活を支えている建設業の大切さや魅力をアピールすることができました。

この体験が、将来建設業を目指すきっかけに少しでもなれば嬉しく思います。

学生サポーターの気付きや感想など

初めての経験でわからない事ばかりで緊張しましたが、横浜建設業協会、横浜建設業青年会の皆さんの気遣いに助けられました。

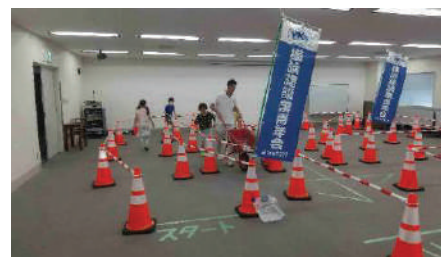
自分自身が建設業の仕事詳しく知らなかったため、学生サポーターとして参加しながら、児童と同じようにたくさん学ぶことができました。

担当した振り返り会では、児童に参加した感想を聞きましたが、各回の児童の雰囲気や全く違ったため、回毎に児童の雰囲気に合わせて質問内容を変えるなど、工夫が必要だったと感じました。

今回の貴重な体験を今後活かしていきます。



体を使った測量方法を教える様子



一輪車の運搬作業をレクチャーする様子



学生サポーターによる振り返り会の様子

No.とプログラム名	No.44 子どもアドベンチャーカレッジ2024 ～お金のおもさを感じよう！～
実施日・回数	8月6日（火）午前、午後 計2回実施
会場	【中区】株式会社神奈川銀行 本店
参加児童数	19人
企業・団体等名	株式会社神奈川銀行
参加の目的 (150文字程度)	「貯蓄から投資へ」の流れを推進する世の中だが、日本の金融教育は乏しいと感じる。早いうちからお金の役割や大切さについて興味を持ってもらい、子供たちの金融リテラシー向上に貢献するため。

■ プログラム内容

お金の「おもさ」（「大切さ」という意味と「物質量的」な意味の2つの「おもさ」）を体感し学んでもらう

■ 当日の流れ

- ・ 銀行の役割、お金の役割、大人になるまでに必要なお金の話（講義形式）
- ・ 銀行探検（営業店見学）
- ・ 札勘（紙幣の数え方）
- ・ 1億円に触れる体験
- ・ お金の重さ当てクイズ（硬貨の入った袋を持ってもらう体験）
- ・ おこづかい帳の使い方



銀行・お金の役割の講義中の様子



お金の重さ当てクイズの様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 銀行探検で、普段見られない所や物を見ることができて良かった
- ・ 札勘が難しかった
- ・ 練習して友だちに教えたい
- ・ 大人になるために必要なお金が3,000万円だと知って驚いた、
おうちの人に感謝したいと思った
- ・ 1億円は思っていたより軽かった



1億円に触れる体験の様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・ 午前、午後の回ともに積極的に取り組んでもらうことができた。
- ・ 個別に質問をしてきてくれた参加者もあり、銀行やお金について
興味を持ってもらえたことを伺えた。
- ・ 金融リテラシー向上のために、今後も貢献していきたい。



銀行・お金に関するクイズの様子



銀行探検（営業店見学）の様子

No.とプログラム名	No. 45 『情報の森』 冒険の心得を取材し、新聞にしよう！
実施日・回数	8月6日（火）、7日（水）、8日（木） 午前・午後 計6回実施
会場	【中区】ニュースパーク（日本新聞博物館）
参加児童数	73人
企業・団体等名	ニュースパーク（日本新聞博物館）
参加の目的 (150文字程度)	「取材して記事にまとめて新聞を作る」という体験を通して、子どもたちに新聞記者の仕事を知ってもらうとともに、新聞を身近に感じてもらいたい。また取材テーマを「『情報の森』を冒険するのに必要な心得（情報リテラシーに関する展示）」とすることで、たくさんの情報があふれる現代社会において、情報とのつきあい方を知ってほしい。

2

■ プログラム内容

ニュースパーク（新聞博物館）で「情報の森」を冒険するのに必要な心得（情報リテラシーに関する展示）を取材し、その結果を記事にまとめた新聞をパソコンで作成した。

■ 当日の流れ

新聞製作マネジャーから「新聞とは・取材の仕方」のレクチャーを受けたのち、館内で取材。次に「記事のまとめ方、見出しのつけ方」のレクチャーを聞き、パソコンを使った新聞づくりに挑戦した。

■ 児童の活動中の写真①



新聞製作マネジャーから、取材の仕方や記事のまとめ方などのレクチャーを受けた



職員の説明を聞きながら、「情報の森」を冒険するのに必要な心得を取材した

3

■ 参加児童の様子や意見、感想など

参加者は真剣に話を聞き、メモを取っていた。分からないことは自分から質問する姿勢も見られた。アンケートでは、参加者、保護者を含め、「自分の考えを分かりやすく伝えることは大切だと思った」「分かりやすく解説してくれて主体的に参加している様子が見られた」「新聞記事だけでなく、書くことを短くまとめるときにも役立つ情報だった」「子どもに調べることの大切さを知ってもらえて良かった」「情報があふれる社会で大人になっていく子供たちに、気づきを与える良い機会となった」などの感想が寄せられた。振り返り会では「楽しかった」「また新聞を作りたい」などの感想が出た。

■ 児童の活動中の写真②



取材後はパソコンを使い、記事にまとめ、見出しを付けて新聞づくりに挑戦した



全員が自分だけの新聞を完成させた。完成した新聞はプレゼントした

4

■ 企業・団体の気付きや感想など

子どもたちの真剣さが印象的だった。アンケートでは、子どもたちに「体験させたい」「学ばせたい」との保護者の思いを知ることができた。パソコンが苦手な子ども向けに手書きの新聞も用意したが、全員がパソコンで作成した。こうした機器の浸透をあらためて感じた。

■ 学生サポーターの気付きや感想など（学生受入れ企業・団体のみ）

子どもたちの楽しい思い出になるように、との気配りや配慮を感じた。振り返り会の司会も、こちらの進行などを参考にじぶんで工夫し、子どもたちが自分から発言できる雰囲気を作ろうとする意欲を感じた。



分からないことは都度、スタッフや新聞製作マネージャーがサポートした



振り返り会では、積極的に手を挙げて感想を発表した。2回発表した児童もいた

No.とプログラム名	No.46 スポーツチームの色々なお仕事を学んでみよう！
実施日・回数	8月6日（火）、8月7日（水） 計5回実施
会場	横浜市役所1階市民協働スペースAB
参加児童数	125人
企業・団体等名	横浜市にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 協力：横浜F・マリノス、横浜エクセレンス、横浜FC、 横浜キャノンイーグルス、横浜ビー・コルセアーズ
参加の目的 (150文字程度)	子どもたちが意識しやすい選手の他にも、選手・チームを支えるスタッフの方々がいることや、そのお仕事を学び、将来の選択肢の一つとして考えてもらうとともに、スポーツチームのことをもっと好きになってもらう。

■ プログラム内容

スポーツチームの選手、スタッフの皆様を講師に迎え、チームでは色々な役割の人が働いていて、どのようなお仕事をされているのかをお話いただきました。

ワークショップでは、子どもたちにグッズ製作や広報のスタッフになってもらい、オリジナルグッズやPRポスター、キャッチコピーを作ったり考えたりしてもらいました。



横浜エクセレンスのプログラム
チームPRポスターを作成



横浜FCのプログラム
選手による「夢」についての講話

■ 参加児童の様子や意見、感想

初対面同士で緊張した様子でしたが、ワークショップが始まると、楽しそうに自由に意見を交わし、それぞれ工夫を凝らして取り組んでくれました。

絵を描いたり、文章を考えたりが、もしかしたら得意でない子どもたちもいたかもしれませんが、講師の皆様のアドバイスを聞きながら、一生懸命に取り組む様子が印象的でした。

振り返りで感想を聞いた際には、「スポーツチームに色々な人が働いていることを知ることができました」「次にチームの試合に行く時は、働いているスタッフさんにも注目してみたいです」「みんなで一緒にものをつくる経験がはじめてで楽しかったです」といった話をしてくれました。



横浜キヤノンイーグルスのプログラム
オリジナルトートバッグを作成

■ 講師を務めていただいたスポーツチームの皆様の気付きや感想

・「スポーツの話」と「スポーツチームの話」の違いが理解しづらい年代の子どもたちには、「スポーツの話」を多めにした方が『楽しさ』はあったと思いますが、「スポーツチームの話」を通じて多くの『学び、気づき』を伝える機会になったと感じています。最後に今後の生活で意識してほしいことを伝えた際には、自然と多くの子どもたちから大きな返事があり、その大切さを理解してくれているのだなとうれしい気持ちになりました。(横浜F・マリノス)

・聞いた話からキャッチコピーを考えるという少し難しいワークでしたが、積極的に発言してくれる子や、静かにもくもくと考えてくれる子と、取り組み方に違いはあっても、皆さん積極的に一生懸命取り組んでくれたのが印象的でした。弊社クラブが横浜にあるクラブとしてどうありたいのか、そのためにどのような活動を行っているのかを知っていただく機会はありません、想像以上に興味をもっていただいたので、とてもいい機会でした。(横浜ビー・コルセアーズ)



横浜F・マリノスのプログラム
オリジナルグッズを考案



横浜ビー・コルセアーズのプログラム
チームのキャッチコピーを考案

No.とプログラム名	No.47 クイズ！「税金」サマースクール ～もしも、税金のない世界だったら？～
実施日・回数	8月6日（火）午後、8月7日（水）午前・午後、 8月8日（木）午前・午後（計5回実施）
会場	【中区】横浜中税務署（よこはま新港合同庁舎2階）大会議室
参加児童数	118人（付き添い者を含めると245人）
企業・団体等名	横浜市租税教育推進協議会
参加の目的 (150文字程度)	租税教育の一環として、税金の種類や、内容、使いみちなどを解説し、自分たちの生活に身近なものであることを感じてもらうため。



◆ プログラム内容

もしも、税金がない世界だったら、私たちの生活はどのように変わるのか？を大きなテーマに、税金に関するアニメを見たり、税金クイズにチャレンジしたりしながら、税金は何のためにあるのか、どう使われているのかについて学びました。



○×クイズやアニメ鑑賞

1億円のリプリカが登場！？

- ①税金の種類や使い道について
「みんなが聞いたことがある税金はあるかな？」
- ②これは公共施設・サービス？○×クイズ出題！
- ③アニメ「マリンとヤマト 不思議な日曜日」鑑賞
税金がなかったら、街の様子はどのように変わってしまうかな…？アニメで見てみよう！
- ④横浜市の財政について（あなたと創る横浜の財政より）
- ⑤学校でどのくらい税金が使われているかな？
- ⑥1億円のリプリカ登場！
- ⑦振り返り会
今日気づいたこと、学んだことを発表しよう



◆ 参加児童の感想（一例）



- ・税金がなかったら大変だなということを知ってよかったです。（小3）
- ・税金が大切なことはもともと知っていましたが、今日改めて大切なことがわかったし、税金のおかげでみんなが暮らしやすい社会になっていることが分かりました。（小4）
- ・これから大人になるにつれ、税金のことへの関わりが深くなるので、もっと税金のことを知りたいと思いました。（小5）
- ・いつも「消費税」を払って損した気分になっていたけど、今日税金の大切さを知ってちょっといい気持ちになりました！（小6）

プログラム
スタート！
税金って…？



税金って大切な
ものだとわかり
ました！



◆ 運営スタッフの感想

- ・「税金」というものが難しい・遠い存在ではなく、みんなの生活の身近なところでも活用されていることを、知ってもらえてよかったです。説明を聞きながら熱心にメモをとっている子もいて、「税金」への関心の高さを感じました。
- ・子どもたちからクイズを通して、今まで知らなかったことが知れた！という声が多く上がり、税について少し興味を持ってくれたのかなと思います。
- ・「税金」という堅いテーマでしたが、子ども達が説明スライドやアニメを真剣に見ており、「税金」の大切さを改めて感じてもらう良い機会になったかなと思います。長時間の座学だったので、次は、もう少し子どもたちが主体的に参加できるプログラムとなるよう工夫していきたいです。

<クイズの一例>



クイズは
全部で8問！
全問正解
できるかな？



1億円のレプリカ
と写真を撮ろう！



No.とプログラム名	No.4 8 脱炭素社会実現に役立つバイオマス発電所の仕組みを学ぼう！
実施日・回数	8月8日（木）午前、8月8日（木）午後 計2回実施
会場	【中区】三菱重工パワーインダストリー株式会社 会議室
参加児童数	28人
企業・団体等名	三菱重工パワーインダストリー株式会社 人事総務部
参加の目的 (150文字程度)	脱炭素・カーボンニュートラルという言葉が一般化されて久しいが、言葉だけが独り歩きしている恐れがあるため、その本当の意味やどうすれば実現できるかを、色々な発電の方法を知って貰い、その中でも特にバイオマス発電という仕組みを通じて、正しい脱炭素を理解して考えて貰うため。 また、この学習を通じて理科・科学分野への興味を引き出して、子どもたちの将来の進路選択の一助とするため。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ・生活に欠かせない電気をつくる発電所の仕組みと、発電方式の一つであるバイオマス発電所がどうして地球に優しいのかを、講師からの説明で学習。
- ・工場内に設置されている、実際に発電所で使われていたボイラーやタービンの実物、経年劣化して破損してしまった部品の実物を見学。
- ・「こんな発電が出来たらいいな」をテーマにグループワークを行い、個人毎に皆の前で発表。また、プログラムの感想も一人ずつ発表。

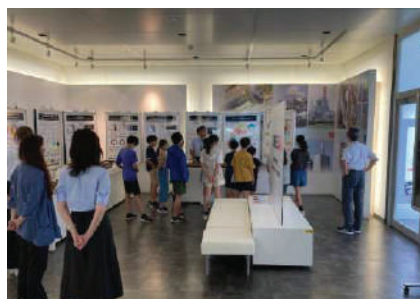
当日の流れ

- 1 9時00分～9時50分（50分）：講義
- 2 10時00分～10時40分（40分）：工場内実物見学
- 3 10時50分～11時50分（60分）：グループディスカッションと振り返り

午後も13:30開始で、同一の時間配分で進行。



（講義を聞いている様子）



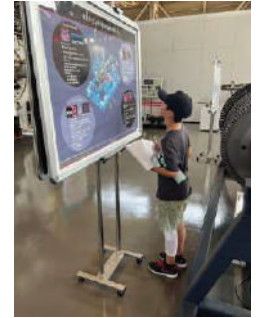
（会場内の展示品の説明を聞いている様子）



子どもアドベンチャーカレッジ 2024

参加児童の意見、感想など

- ・「バイオマス発電」は火力発電のようにCO₂がでてしまうので地球に優しくないと思っていましたが、植物が光合成をしているため、CO₂の量は増えないということが理由としてわかって良かったです。
- ・バイオマス発電は環境にいいとは知っていたけど、よく考えてみるとCO₂は絶対に出るのになぜかと思いましたが、理由を聞いて納得したし、地産地消もできて環境に良いと思いました。
- ・CO₂を減らすために、CとOに分けることが出来たら少しずつCO₂が減るのではないかと考えました。
- ・本物も見られて、ボイラーの中に入れたのが一番楽しかったかです。
- ・電気を作るのにあんなに色々なことをしているのを知ることができました。だから、これからは電気を大切に使っていこうと思います。
- ・タービンの重さは自分の体重の1000倍以上あるのに、その重いものを機械で動かしているのがすごかったです。わたしはタービンを持ってみたいです。
- ・グループワークの時は最初頭が真白だったけど、話すことをしてわかったので、貴重な体験になったと思いました。
- ・みんなの考えた発電方法を見て、自分では思いつかない事をいっぱい書いていて、しかも実現出来そうな発電方法がいっぱいあってとてもすごいなと思いました。
- ・今日学んだことを家に帰ったらまとめて、カーボンニュートラルのことについてもっと詳しく調べたり考えたりしたいです。



(実物展示を見学する様子)



(グループディスカッションの様子)

企業・団体の気付きや感想など

- ・大人にとっても難解と思われる内容を出来るだけ平易に伝えるようにしたものの、理解して貰えたのかどうか心配でしたが、感想文を読むと確実に伝わっていたことが判り、嬉しかったと同時に子供たちの理解力に驚きました。
- ・感想文から、子供たちにとってタービンやボイラーの実物見学のインパクトは想定以上であることが読み取れ、実物展示の説明の時間をもっと長くしても良いと思いました。
- ・グループワークでは、最初はアイデアが出ずに白紙だったのに周りの子供のアイデアを見聞きして、ひらめく子供も多かったので、固定したグループにこだわらずに、自由に室内を動き回らせて見聞きする時間を作っても良かったと思いました。
- ・小学校の授業時間に倣い、45分~50分で休憩を入れたので集中力が途切れずに最後までやり切れたと感じました。

学生サポーターの気付きや感想など (学生受入れ企業・団体の皆様のみ)

今回の活動で、社会人としてのマナーを学べたり、こどもたちへどう接するかを学んだりすることができた。午前の部では緊張してしまっかなかうまくまわせることができなかつたが、午後の部ではこどもたちそれぞれの特徴に合わせて話すことができたり、全体をみて回せたりすることができたと思う。なかなか意見が出てこない子に対しては、いろんな意見の参考になるものを教えてあげたりしてアイデアを引き出してあげたり、前に出るのが嫌な子たちもために前で発表ではなくグループで発表に変更したり、臨機応変に対応することができたと思う。あまり人前で話すのに慣れていなかったが、大人の方々がやさしくサポートしてくださったおかげで、困ったときもスムーズに対応することができた。子どもたちと話すときに目線を合わせてあげたり言葉遣いに気を付けて話すことができたので、楽しく活動することができた。今回の活動で、さまざまな人と関わることで自分の成長につながった。

子どもアドベンチャーカレッジ 2024



(みんなの前でアイデアを発表する様子と
アイデアの例：引力発電)



(グループディスカッションの司会進行をしている学生サポーターの様子)

No.とプログラム名	No.49 ダンボールで横浜のジオラマを作って、謎解きタイムトリップへ！
実施日・回数	8月7日（水）午前、8月7日（水）午後 計2回実施
会場	【中区】一社 防災ジオラマ推進ネットワーク 事務所
参加児童数	17人
企業・団体等名	一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク
参加の目的 (150文字程度)	ジオラマを通じて、子どもたちに横浜の歴史・魅力・災害リスクについて知ってほしい。

■ プログラム内容

関内周辺の埋め立て等による地形の変遷について、皆で段ボールジオラマを使って再現。時代ごとに出される謎を解きながら横浜の歴史を学んだ。

ゲーム後、現代のジオラマを見ながら危なそうな場所について参加児童に考えて発表してもらい、実際のハザードマップとの対比によって地形やその成り立ちと災害リスクとの関係についても学びました。

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

ジオラマの組み立て→謎解きゲーム（時代ごとの地形変化）→防災学習→振り返り会

弊団体Webサイトでのレポート

<https://www.bosai-diorama.or.jp/2024/08/07/koado2024/>



スライドを見ながら謎解きが進む



ゲームの進行スライド



ジオラマ上で横浜の歴史スポットを巡る

■ 参加児童の様子や意見、感想など

皆さんとても積極的に参加してくれ、事前の想定以上に大いに盛り上がってくれました。

< 学生サポーターさんから見た児童についての感想 >

- ・現代の小学生の考える能力の高さにびっくりした。
- ・進んで行動していく姿勢を持った子供達が多かった印象を持ちました。
- ・地理博士みたいな子がいて、びっくりした。
- ・みんな自分の意見を持っていてとてもよかった。
- ・ノリがよい子が多い印象だった。
- ・知識が豊富にある子が多かった。



ジオラマ組み立ての様子

< 振り返り会での児童の感想 >

- ・横浜の歴史（土地・建物）が学べた。
- ・横浜は埋め立て地で、地震の時に津波や色々な被害がある。
- ・ゲームが楽しかった。
- ・津波がきたら高いところにしっかり逃げようと思った。
- ・今回学んだ事をこれから生かしたいと思った。
- ・様々な危険が潜んでいることが分かった。
- ・友達や親に伝えたいと思う。



皆で協力して謎解きに取り組んでいる様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

小学生には少し難しいかも・・・との事前の不安も杞憂でした。昨年の内容に謎解きゲームの要素を加えたことで、進行もさらにメリハリが出て児童の集中力も高く、楽しみながら学ぶことの大切さを一層実感することができました。

■ 学生サポーターの気付きや感想など（学生受入れ企業・団体のみ）

積極的に子どもたちと関わって、ゲームの進行などしっかりとサポートしていただきました。

< 以下、学生サポーターさんより >

私は学生サポーターを通して、スラスラ言葉だけ話しているだけだと、少し子供相手だと伝わりにくいので、体や視線を教えた対象や話したい対象の方向に向ける重要性を感じました。そのような行動の一つするだけでも、伝わり方が変わった印象を持ちました。

また、自分自身まとめの会の司会を務め、進行を行いました。勉強したことをその日にその時にまとめ自分の中に落とし込んでいくことで、大切な事を忘れずにちゃんと記憶しておくことができるとも思いました。

感想としては、今回このような体験をして、私自身知らないことや危険性が身近に存在していることを知ることが出来て、さらに楽しんで行えることも出来てとても良い経験ができました。



ファシリテーターの問いに聞き入る児童たち



学生サポーターの進行による「振り返り会」

No.とプログラム名	No.50 朝食の重要性を学び、ホテルシェフと一緒に調理&試食を楽しもう！
実施日・回数	8月6日（火）10:30-12:30 14:00-16:00 計2回
会場	【中区】横浜市技能文化会館
参加児童数	32人
企業・団体等名	一般社団法人全日本司厨士協会 関東総合地方本部神奈川県本部
参加の目的 (150文字程度)	今回は「朝食の重要性」をテーマにいたしました。普段接する機会のないプロのシェフと共に学び、朝食が学校での学びや遊びへの影響があること、毎日朝食をとる重要性を実感してもらおう。さらに子供たち自身でも能動的に考える機会を設けることを目的とし、調理することで食への興味を持てるよう、子どもたちの成長に少しでも貢献するため参加させていただきました

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

「朝食の重要性」座学

実際にみなとみらいのホテル(ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル横浜ロイヤルパークホテル、横浜ベイホテル東急で提供している朝食メニューを調理・試食しました

当日の流れ

【1回目】

10:30-11:00 座学

11:00-12:30 調理実習 & 試食

【2回目】

14:00-14:30 座学

14:30-16:00 調理実習 & 試食



毎日どうしたら朝食をきちんと食べられるか
グループディスカッション



コーンスープを作っている様子

参加者アンケートより

・おなかいっぱいになって楽しかったです。特にベーコンが美味しかったです。会う前はホテルのシェフの人は（怖い感じ）カリスマシェフの人ばかりだと思ってたけどみんな優しくて良かったです（小5）

・とても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。
楽しい企画、ご準備をありがとうございました。シェフの方とお話ができる機会はないので、とても貴重な経験でした。このような経験が将来の選択肢を広げると思います。ご準備や運営が大変かとは思いますが、今後もあり続けてほしい企画だと思いました（保護者）

・朝食の講義を通して、栄養バランスについて意識するきっかけになったと思います。調理は安全を第一に、難しいことはサポートシェフがやってくれましたが、できそうな手順は子どもに平等に体験させてくださったので、とても楽しそうに取り組んでいました。苦手なトマトも食べていて、びっくりしました。コーンスープが美味しすぎて、作って欲しいといわれましたので挑戦したいと思います。ありがとうございました（保護者）

・小学6年生、思春期を迎えた娘は身だしなみばかりに気を取られて朝食時間を削る毎日です。日頃の親からの小言では効果がなく、今日のイベントを踏まえて朝食の重要性に目を向けてくれることに期待しています。母親個人としてはプロのアドバイスや未知の食材に触れられ、又、若いシェフ達の働く姿に長女を重ねて眩しく感じる時もあり、とても有意義な時間でした。ありがとうございました（保護者）

今日のイベントの最後に総料理長に言っていたいただいた言葉がとても嬉しかったです。これからも美味しいものを色々食べて、目も耳も舌も体全部を大切にしていきます。料理を手伝ってくださったシェフの方々もとても優しく楽しく作れました。今まで食べたフレンチトーストの中で一番おいしかったです。ありがとうございました（小6）

おいしい料理を作って食べることができて、子供の目が輝いていました。おいしい料理を食べることは大切だと私自身も学びました。
子供も、シェフ達にたくさんのことを教えてもらい、貴重な体験となりました。気軽に質問できる雰囲気、質問にきちんと答えてくださったので嬉しかったです。子ども自身も、本格的な料理を実際に作って食べることで、自分でもおいしい料理が作れるということを実感でき、更に料理に興味が出たのではないかと思います（保護者）

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



挟むためのトマトをカットする様子



フレンチトーストのデコレーションを行う様子

企業・団体の気付きや感想など

複数の保護者の方から伺ったこととして、小学校高学年は思春期に入り子供たちへの対応の難しさがあり、第三者によるアドバイスやかかわりを持つことで、大切な話に素直に耳を傾けることを期待している、ということでした。

実際、子供たちが嫌いなものが食べられたり、シェフの話を受容して受け止めていたので、こうした活動が夏休みのイベントとして思い出づくりの一面だけではなく、子供の成長に良い影響があることを実感いたしました。

一点、今回初めて支援学校のお子様（弱視）をお一人参加いただきました。事前に座学の資料や調理実習の方法等、サポート方法をお母さまとやりとりを重ねて本番を迎えました。可能であれば支援学校のノウハウや助言をいただくと、より良い対応が出来たと感じております。ちなみに調理実習はサポートしたシェフ曰く、普通学級に通学している子よりも上手だったそうです（学校で調理実習を積極的に取り入れていると伺いました）。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



フレンチトーストを焼く様子



出来上がったスープにトッピングする様子

No.とプログラム名	No.51 夏休み子ども貿易教室
実施日・回数	8月6日（火）午後1時から、 計1回実施
会場	【中区】本牧ふ頭BCターミナル
参加児童数	12人
企業・団体等名	公益社団法人横浜貿易協会
参加の目的 (150文字程度)	私たちの日々の暮らしは海外との貿易によって支えられていて、貿易もたくさんの人たちが支えている。そのことを座学で学んだり港湾施設の体験してほしい。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- 13時～ 集合、バスで移動
 14時～ 授業「貿易のはたらきと横浜港を知ろう」
 15時～ 港湾施設の見学（随時スタッフが説明）
- ・岸壁でコンテナ船やガントリークレーンの見学
 - ・倉庫内の見学
 - ・空のコンテナの中に入れてみる
- 16時～ バスで移動、振り返り会開催



貿易についての授業を受ける子どもたちの様子



船からの積み荷を卸すところを見る子どもたち

参加児童の様子や意見、感想など



- ・楽しかった。船を見るのが楽しかった。
- ・船からおろしたり積んだり、知らないことを見れて勉強になりました。
- ・貿易を知らなかったなので、勉強になりました。
- ・ガントリークレーンがコンテナをおろすところが興味深かった。
- ・船がたくさん見れた。
- ・近くで大きな船をみることができてよかった。
- ・貿易のことを知ることができてよかった。
- ・楽しかった。
- ・コンテナの中は暑かったけど、入ることができてよい体験だった。



コンテナについての説明を聞く様子



コンテナの中に入る様子

企業・団体の気付きや感想など



- ・普段と違う体験ができることに、児童たちは非常に積極的でした。
- ・お盆期間の前に開催が出来たことは、児童や保護者、プログラム提供側にもよかったと思います。
- ・年々暑さが増しており、熱中症対策などに気を付けることが重要だと感じます。



コンテナの説明を聞いたり、フォークリフトを見る参加者

No.とプログラム名	No.52 日銀の仕事にチャレンジ！
実施日・回数	8月6日（火）午前・午後、8月8日（木）午前・午後 計4回実施
会場	【中区】日本銀行横浜支店 会議室
参加児童数	54人
企業・団体等名	日本銀行横浜支店総務課
参加の目的 (150文字程度)	夏休みの機会を捉えて、お子様に日本銀行の仕事やお札に興味をもていただくため。「日銀の仕事にチャレンジ！」をテーマに、楽しく日本銀行やお金について学べるような機会にしたいため。

■ プログラム内容・当日の流れ

1.日本銀行の仕事を知ろう（DVD上映、日本銀行横浜支店の紹介）

日銀の役割や業務についてのDVDを視聴した後、日本銀行横浜支店の歴史や仕事について学びました。

2.お札を見てみよう（偽造防止技術の紹介）

古いお札と新しいお札の違いを学びながら、お札の偽造防止技術を確認しました。

3.日銀の仕事にチャレンジ！（窓口見学、鑑定クイズ）

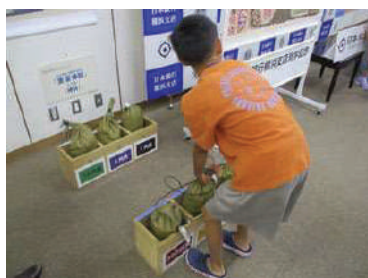
実際に職員が働いている窓口を見学したほか、日銀の仕事の一つである「引換え」事務にチャレンジしました。傷んだお札の引換基準を学び専用の定規を使って鑑定しました。

4.自由見学（重量体験等）

1億円分のお札や、硬貨の重量体験のほか、会議室内にある展示物を見学し、お金や日銀に関する豆知識を学びました。

5.振り返り会、グループディスカッション（お小遣いの使い方を考えよう）

グループに分かれ、お小遣いの使い方をみんなで話し合い、発表しました。



【硬貨の重量体験】



【お札の重量体験】



【お札の偽造防止技術を確認している様子】

■ 参加児童の感想

- ・お札をじっくり見る機会はなかなかないので、偽造防止技術を確認することができて楽しかった。
- ・新しく発行されたお札の最新の偽造防止技術についてわかりやすく説明を聞くことができ、面白かった。
- ・お札には偽造されないように様々な工夫がされていることがわかった。
- ・日本銀行の仕事について詳しく知ることができて、嬉しかった。
- ・普段気にせずに使っているお金に興味ももてた。

■ グループディスカッション

～お小遣いの使い方を考えよう～

- ・友達と一緒に買おうと言われたとき、本当に自分にとって必要なものなら買う。
- ・貯金をする（貯金することで将来使うお小遣いが増えて、もっと高いものが欲しいときに買えるかもしれないから）。
- ・お小遣いの中で、一部は貯金をする。貯金しないお小遣い分で買えそうなら買う。
- ・親に相談する。
- ・みんなでお小遣いの使い方について話し合うことができ楽しかった。



【グループディスカッションのテーマを見て考えている様子】

【グループディスカッション後に発表している様子】



【展示物をご覧になっている様子】



【鑑定クイズにチャレンジしている様子】



■ 企業・団体の気付きや感想

- ・「偽造防止技術の紹介」では、古いお札と新しいお札を手元で比べながら、偽造防止技術を実際に確認していただきました。普段じっくり見ることがないお札について興味を持っていただけの様子が伺えました。
- ・「鑑定クイズ」では、クイズ形式で日銀固有の仕事を経験していただきました。お札が火事で燃えてしまったときや破れてしまったときの引換基準をもとに、親子で相談しながら熱心に取り組んでいました。
- ・ディスカッションでは、全員が一生懸命にお小遣いの使い方を考えていた姿が印象的で、参加団体側としてはとても嬉しく感じました。こうした機会が金融リテラシーの向上につながることを願っております。
- ・本プログラムを通じて、お金の流れや日本銀行について楽しく学んでいただけて良かったです。
- ・今後も日本銀行の役割や業務を広く皆さま方にご理解いただけるよう努めて参りたいと思います。

No.とプログラム名	No.53 ペーパークラフトを使って、まちをデザインしよう！
実施日・回数	8月7日（水）午前9時～午前12時 計1回実施
会場	横浜市役所1階 市民協働ラボ
参加児童数	8人
企業・団体等名	横浜市都市整備局景観調整課
参加の目的 (150文字程度)	当課では、地域の個性を生かした魅力的な景観づくりを推進するための事業の一つとして、地域に誇りと愛着を持った未来の景観づくりの担い手を育むための「景観まちづくり学習」の普及啓発に取り組んでおり、その活動の一環として参加しています。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

展望台から横浜のまちを見学しよう！

ペーパークラフトを組み立てて、じぶんだけのまちをデザインしよう！

ペーパークラフトに色塗りをして、建物をデザインしてもらいます☆

当日の流れ

- 1 9時00分～9時50分：展望台見学（50分）
- 2 10時00分～10時10分：景観に関するレクチャー（10分）
- 3 10時10分～11時40分：色塗り、ペーパークラフト組み立て（90分）
- 4 11時40分～12時00分：発表会（20分）



集合写真



完成したペーパークラフトの前で記念撮影

当日の様子

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



関内地区の説明を受ける子どもたち



ペーパークラフトに色塗りする子どもたち

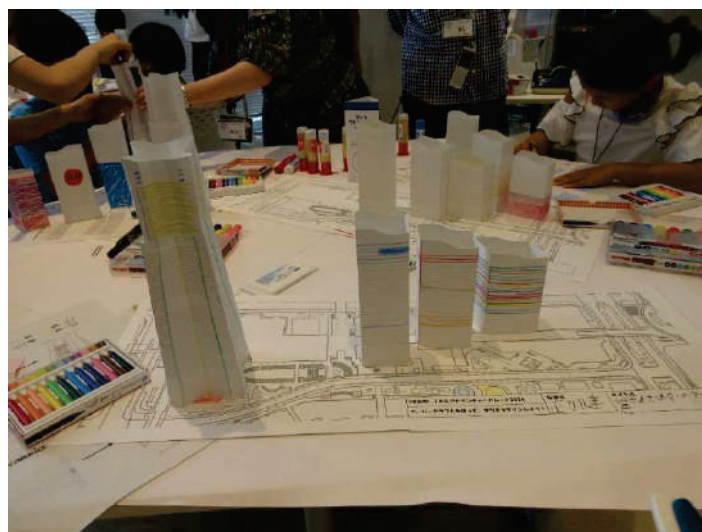
★参加児童の主な感想・意見

- ・ 関内地区やみなとみらい地区の歴史を知ることができた。
- ・ じぶんだけのまちをデザイン出来て楽しかった。

プログラムを終えての感想



ペーパークラフトを組み立てる子どもたち



完成したペーパークラフト

★事務局の気付き・感想

- ・ 子どもらしい発想や色づかいに驚かされた。手が動かなかった子も書き出すと早かった。
- ・ 思いのほか子どもたちが積極的に参加してくれた。

No.とプログラム名	No.54 「ペーパータワーチャレンジ！」
実施日・回数	8月7日（水）午前・午後、8月8日（木）午前・午後 計4回実施
会場	【中区】公益財団法人横浜市建築保全公社 会議室
参加児童数	83人
企業・団体等名	公益財団法人横浜市建築保全公社 技術部 企画調整課
参加の目的 (150文字程度)	ものづくりの魅力、建物に愛着を持ち大切に使うこと及び建設業の社会的な重要性を知ってもらうこと（将来の担い手確保）

プログラム内容

はじめに職員から建物やタワーについての講話を聞いたあと、制限時間内に新聞紙6枚で高いタワーを建設するという課題に3～5人のチームで挑戦しました。

当日の流れ

- 1 5分 : 開会の挨拶 注意事項
- 2 10分 : 職員講話
- 3 5分 : チーム名決定
- 4 10分 : 休憩
- 5 45分 : 練習チャレンジ・本番チャレンジ
- 6 10分 : 計測タイム
- 7 10分 : 休憩
- 8 20分 : 振り返り会 表彰式 閉会の挨拶



開会の挨拶



保護者待機室

参加児童の感想

- ・最初は仲良くできなかったが、チーム名を決めたり、休憩時間に仲良くなった。
- ・ペーパータワー作りは、役割を分担して取り組んだ。
- ・ほかのチームにタワーを見られないよう背中で隠しながら作った。
- ・初めてのお友達と協力できるか不安だったが、仲良くできて良かった。
- ・去年も参加して楽しかったから、今年も参加できて嬉しかった。
- ・家に帰ってから家族と作ってみたい。



ペーパータワー作り



職員講話



表彰式

団体の気付きや感想

- ・最初はおとなしかった子どもたちも、時間の経過とともに賑やかに楽しそうに（時々けんかしながら）活動していました。
- ・初対面とは思えないほどチームワークを発揮して活動していました。
- ・子どもたちの想像力や学生サポーターの取り組みに、私たちも気付くことや学ぶことが多く今後につなげたいと思います。

学生サポーターの気付きや感想

- ・学生サポーターに、受付補助、チーム活動中のコーディネーター、及び振り返り会の司会進行を担当してもらいましたが、プログラムの目的や意図をしっかりと理解して取り組んでいました。
- ・振り返り会では、子どもたちから感想を発表してもらうだけでなく、それぞれのチームの良いところを子どもたちに伝えるように具体的に言葉を選びながら笑顔で発表しました。
- ・子どもたちが楽しく取り組めるよう、前向きな姿勢で取り組み、学生サポーターも楽しんでいました。
- ・学生サポーターから「組織の立場でイベントを運営する苦労や楽しさと、今後の進路選択や将来に活かせることを多く学ぶことが出来た」との感想を頂きました。



振り返り会（学生サポーター司会）



振り返りの発表（学生サポーター進行）

No.とプログラム名	No.55 水と野菜のふるさと 道志村と昭和村を体験しよう！
実施日・回数	8月6日（火）午前、午後 計2回実施
会場	【中区】横浜市役所 アトリウム
参加児童数	16人
企業・団体等名	横浜市政策経営局広域行政課 横浜市水道局広報課 山梨県道志村 群馬県昭和村
参加の目的 (150文字程度)	様々な社会体験を通じた「人との交流」の場や「他自治体との友好交流」について考える機会を提供するため、横浜市の友好交流自治体である「山梨県道志村」と「群馬県昭和村」の協力を得て実施。

プログラム内容

道志村

- ・きれいな水と水源涵養林の関係を学ぶ実験を行いました。
- ・道志村役場職員より、道志村の特徴等を説明。また、道志村の間伐材からできたパズル体験、SDGsの講話を実施しました。



木のパズルを説明する様子

昭和村

- ・昭和村の概要について説明。畑の様子やトウモロコシの収穫方法は動画による説明を行いました。
- ・昭和村の農家さんとオンラインで繋ぎ、子どもたちとの質疑応答を行いました。



クイズを交えた昭和村の概要説明

参加児童の感想

「道志村・昭和村に行ったらやってみたいこと」をテーマに、3班に分かれて振り返りを実施。

道志村

- ・木のパズルを自分で作ってみたい。
- ・道志村のきれいな川で遊んでみたい。 等

昭和村

- ・とれたてのトウモロコシを昭和村で食べたい。
- ・いろいろな野菜の畑を見てみたい。 等



農家さんに質問をする参加児童



振り返りの発表をする様子



実験装置に水を投入する参加児童

学生サポーターの感想

- ・私は小学生の時に子どもアドベンチャーカレッジのような、自治体が主催のイベントに参加したことはありませんでした。今回学生サポーターとして運営に携わり、このように楽しみながら学ぶイベントがあることを知りました。
- ・実際に子どもたちから「とうもろこしの収穫をしてみたい」「川遊びしたい」など率直な感想を聞くことができ良かったです。
- ・オンラインで現地の方とコミュニケーションを取り、実験や体験が含まれたイベントに参加している小学生が楽しんでいる様子を見ることができ、サポーターとして貴重な体験をすることができました。



パズルを補助する学生サポーター



振り返り会の司会をする学生サポーター

No.とプログラム名	No.56 横浜の未来を考えよう！ ～データを使って都市経営体験～
実施日・回数	8月7日（水）午前 計1回実施
会場	【中区】横浜市市民協働推進センター スペースA・B
参加児童数	13人
企業・団体等名	横浜市政策経営局データ経営部データ経営課
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが都市経営（市役所の仕事、二代表制、予算編成等）について学び理解を深めるとともに、データに親しみデータを活用しようとするきっかけを、ワークショップ等を通じて、提供すること。 横浜市が進める“データ経営”について、多くの方に知っていただく機会とすること。

1 プログラム内容

- 市役所業務や予算編成などについて学んだ上で、会場にいる大人（保護者・スタッフ等）を対象に「世論調査」を実施。
- 世論調査結果や自分たちの考えをもとに、横浜市の予算案をグループ毎に考え、発表。
※[当日のレポート](#)（横浜市政策経営局データ経営部公式note）

2 当日の流れ

- 「市役所の仕事や予算について学ぼう」（スタッフによるレクチャー）
- 「横浜をどんなまちにしたい？」（グループワーク）
- 「みんなの“声”を聞いてみよう！」（会場にいる大人に聞き取り調査）
- 「キミは横浜市長！」（グループワーク）
- グループ別発表



スタッフの説明を聞く参加児童



集合写真（参加児童・スタッフ）

3 参加児童の様子や意見、感想など

- ・会場にいる大人（保護者、スタッフ等）から意見を聞く「世論調査」の場面では、緊張しながらも、自分の保護者以外の大人にも積極的に意見を聞いていた。
- ・グループワークでは、「人口が増えれば、横浜が賑わって、魅力づくりや経済の発展につながっていくので、まずは子育ての分野の予算額を増やしたらいいと思う」、「もともと予算額が少ない分野は、これ以上削減しすぎるとやりくりできなくなるかもしれない」などといった、大人顔負けの意見もあった。

【参加児童の感想】

- ・「初めて会う人に質問するのはとても緊張した。勇気を出して話しかけたり、意見を伝えることができできたのは勉強になった」
- ・「自分たちが集めたデータをグラフにすると、どの意見が多いのかが一目でわかるようになって、みんなの考えをまとめるのがスムーズになった」



調査結果や自分たちの意見を踏まえ、
予算案を検討



グループで考えた予算案を
13人の「こども横浜市長」が発表

4 企画・運営者としての気付きや感想など

初めての企画でしたので、どの程度内容を理解し、楽しんでくれるか不安もありましたが、いざ始まってみれば、子どもたちは、緊張しながらも大人たちに積極的に話しかけ、グループ内で意見を交わし、楽しみながら予算案の作成や発表に取り組んでいました。

子どもたちにとって分かりやすいプログラムは何かと考えたり、子どもたちの鋭い視点に驚かされたりすることで、我々にとっても学び多い有意義な機会になったと考えています。

5 学生サポーターの気付きや感想など

プログラムに携わり、子どもたちの考える力に驚かされました。保護者にアンケートを取り、予算をどのように配分すると良いのかを考え、現状とアンケート結果を踏まえた新たな予算案を作っていました。グラフ化した結果を見ながら、予算の増減を考え、ときに同じグループの仲間とともに議論を交わしている姿がとても印象的でした。また、市職員による細かく作られたプログラムと子どもたちへの丁寧なコミュニケーション力に感銘を受けました。



学生サポーターが一人ひとりに声掛け



会場内にある大人に「世論調査」



調査結果をグラフ化

No.とプログラム名	No.57 木のストローを使ってSDGsの大切さを学んでみよう！
実施日・回数	8月8日（木）60分のワークショップを計4回実施
会場	【西区】ヨコハマSDGsデザインセンター
参加児童数	31人
企業・団体等名	ヨコハマSDGsデザインセンター
参加の目的 (150文字程度)	SDGsの普及啓発のため。

■ プログラム内容

- ・ SDGsに関する授業
- ・ 木のストローをつくるワークショップを

■ 当日の流れ

- ・ SDGsに関する授業（20分）
- ・ 木のストローをつくるワークショップ（40分）



【SDGsに関する授業の様子】



【木のストローつくる様子】

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 児童とその付添いの方がSDGsの授業について真剣に聞いていました。
- ・ 木のストローをつくるワークショップの際は、児童とその付添いの方と一緒に作業する様子がたくさんありました。
- ・ 皆さん、楽しそうに木のストローをつくっていました。



【木のストローをつくる様子】



【木のストローをつくる様子】

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・ つくった木のストローは学校の自由研究等で活用できるようなので、夏休み時期に木のストローをつくるワークショップを継続して実施しようと思った。
- ・ 市民がヨコハマSDGsデザインセンターの拠点にいらっしゃる機会が普段あまりないので、今回のようなイベントを通じて、市民に知っていただくきっかけになればと思った。



【木のストローをつくる様子】



【木のストローをつくる様子】

No.とプログラム名	No.58 「コールセンターお仕事体験」 ～もしも自動車事故がおきたら？～
実施日・回数	8月6日（火）午前、午後 8月7日（水）午前、午後 計4回実施
会場	【西区】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 会議室・研修室
参加児童数	33人
企業・団体等名	あいおいニッセイ同和損害保険（株）
参加の目的 (150文字程度)	当社の経営方針に「地域密着」を実現するにあたり、 横浜市内の子どもたちを対象とし、また、横浜市内在学の学生ボラ ンティアとも協働できるこの取り組みは、横浜市で事業活用を行っ ている、当部署としてはまさにピッタリであり、加えて損保のコー ルセンターという職業についても知っていただけるいい機会である ため

■プログラムの内容

自動車事故の事故受付の体験

お客さま役の社員からの電話をヘッドセットをつけて対応
保険契約の検索や事故現場でのアドバイス等を実施してもらいました。
電話対応終了後は、お客さまと話した内容をシステムに入力してもらい
事故受付票の作成をしてもらいました。

■当日の流れ

- ・コミュニケーターのマナーの説明
 - ー電話では顔は見えないけれども「笑顔」で対応
 - ー「相槌」が大切 ～かしこまりました・承知しました～
 - ーわからないことを聞かれたら「保留」にして確認しよう！
- ・発声練習
- ・社員によるデモンストレーション
- ・お仕事体験
 - ーお客さま役（社員）とコミュニケーター（子ども）での実施
 - ーシステムへの入力
 - ：子どもが記載した事故状況図をスキャナーで取り込み
 - ーお客さま役（保護者）とコミュニケーター（子ども）での実施
- ・振り返りの会



■参加した子どもたちの様子

- ・冒頭では声が小さかったお子さまも、発生練習では大きな声を出してくれました。
- ・電話対応の体験では、「お大事になさってください」「お気をつけて」となれない言葉にとまどいながらも一所懸命に、相槌や復唱も交えて対応をしてきていました。
- ・システム入力では、時間はかかりましたが、授業でやったという「ローマ字入力」で最後まできっちり入力してくれました。
- ・自分で記載した事故状況図がスキャナに取り込まれるのを見ると、目を丸くしてびっくりしていました。
- ・どのお子さまも、体験が進むにつれ、笑顔がみられ目がキラキラと輝いていました！

■参加した子どもたちからの意見・感想 ～振り返りの会からの抜粋～

<難しかったこと>

- ・メモをとりながら、電話できくのがむずかしかった
- ・お客さまとお話するのは、「抑揚」や「スピード」を自分の中では気を付けていたが、保留した後は、「スピード」がくずれてしまったりするから難しかった ・パソコンで、色々まとめたりしたことが難しかった

<楽しかったこと>

- ・パソコン操作は難しかったけれども、間違いなく入力できて印刷したときは達成感があった
- ・図をスキャンするのが楽しかった ・話し方を知ったりできてとても楽しかった
- ・マイクで話したり、受付票に絵をかいたり、コールセンターに関する全部が楽しかった

<感想>

- ・このお仕事は24時間365日しているからとても重要な仕事だとわかった
- ・将来コールセンターの仕事をやってみたい
- ・コールセンターのお仕事って何をするのか全然知らなかったけれど、教えてくれた社員の人ののおかげですごく楽しかったし、またこの体験をやってみたい
- ・心をこめてお客さまに対応していて大変だけどすごいなおもいました
- ・コールセンターについてもっと知りたいとおもいました



■プログラムに参加して

- ・最初は緊張していたり、つまらなそうにしているお子さまが、体験がすすむにつれて目がキラキラし、笑顔があふれだす様子を見ることができ、実施者としても非常にうれしく貴重な体験の機会です。
- ・コールセンター業務は、心理的ストレス高い業務の一つではありますが、子どもたちから「大変だけれども大切なお仕事」「私もコールセンターで働いてみたい」といった前向きな感想をもらえることは、社員にとって、とても励みになります。
- ・子どもたちに業務の内容を分かりやすく説明することは、そのままお客さまにわかりやすく説明することにもつながり、説明力の向上等、本来の業務のスキル向上にもつながっています。

■学生サポーターに関して

- ・打ち合わせや開始初日は、緊張していましたが、回を重ねるうちにその緊張もなくなり「振り返りの会」をととても素晴らしく進めてまとめていただきました。保護者の方からも「振り返りの会」があつてよかったとの感想を得ています。
- ・「振り返りの会」の冒頭に、アイスブレイクとしてプログラムで実施した内容の「○」「×」クイズをいれたいと考えています。といったように、こちらでは思いつかないようなアイデアで実施いただきました。子どもたちもとても楽しそうに参加していました。おかげでたくさんの感想をもらうことができました。



■学生サポーターからの感想

- ・「振り返りの会」で子どもたちがとてもたくさん、しっかり感想を書いてくれてびっくりしたと同時にすごいと感じました。(プログラム終了時の雑談にて)
- ・時間があつという間だと感じるくらい、楽しくて貴重な体験をさせていただくことができました。また来年も一緒に活動したいです。
(本人から社員にあてたメッセージより抜粋)



No.とプログラム名	No.59 進化し続けるテクノロジーでアライナー矯正をつくろう！
実施日・回数	8月6日(火)、8月7日(水)、8月8日(木)、各13~15時、計3回実施
会場	【西区】アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社会議室
参加児童数	25人
企業・団体等名	アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社 人財育成部
参加の目的 (150文字程度)	アライン社は、進化し続けるインビザラインシステムを通じて『素敵な笑顔で人生を変える』をパーパスとした組織であること、デジタル歯科技工の楽しさを紹介し『歯科技工士』という職業や業界を知ってもらうことを目的とし、このプロジェクトに参画しました。

プログラム内容と当日の流れ

子どもたちに「歯科技工士」の仕事であるCADを体験してもらい、歯への関心やデジタル上でおこなう業務のワクワク感を感じてもらうことを目的とした当日のプログラムは、インビザラインシステム™の概要を紹介するイントロダクションから始まり、その後200名のCADデザイナーが働くオフィスツアー、実物のマウスピースに触れる体験、デジタルセットアップ体験、最後に集まった子どもたち同士でふりかえり会を行うという2時間にわたる盛りだくさんの内容となりました。



① 13:00~

アラインデジタルワークフローとインビザライン®
システムの説明。社内見学ツアー。

(10分休憩)



② 13:40~ CADデザイナーの仕事とは？

CADデザイナーの業務であるデジタルセットアップ
について知る。

(10分休憩)



③ 14:30~ ふりかえり会

本イベントを通して気づいた点、感想を共有しあう



① 真剣に話を聞いている様子



② パソコンでデジタルセットアップ体験

参加児童からの声

ワイヤーでやる矯正は知ってたけど、マウスピース矯正は知らなかった！



インビザラインシステムを初めて見て、触って、観察している様子

歯を動かすのが楽しかった！もうちょっとやりたかった！



デジタルセットアップ体験を楽しんでいる様子

ほかにもふりかえり会では、こんな声をいただきました！

- ・ 歯科技工士という仕事は聞いたことがなかった。でも、ちょっと面白そう。
- ・ 細かい作業だったからちょっと疲れたけど、最後まで歯を動かす調整できてたのしかった。
- ・ マウスピース矯正を自分もやってる！



企業・社員の気づきや感想

- ・ 弊社のマウスピース矯正システムをお使いいただいているご家族や、興味を持たれて応募いただいたなどの声を保護者様から頂き、大変嬉しく思いました。
- ・ CAD体験では、うまく使いこなせるようになるか、楽しんでもらえるか当日までサポート社員一同ソワソワしていましたが、皆さんすぐに操作に慣れ、歯を動かして楽しんでいただけて、我々もとても嬉しく、楽しい時間でした。
- ・ 参加後アンケートではポジティブなコメントを頂け、モチベーションが上がりました。今回の経験を通じて、少しでも歯科技工士という仕事を知ってもらえたらうれしいです。



ふりかえり会で楽しかったことを共有している様子



2日目参加児童とサポートスタッフの集合写真



最後に名前入りの認定証とノベルティグッズをプレゼントしました！

No.とプログラム名	No.60 「食べる」から世界を変えよう！
実施日・回数	8月6日（火）午前、8月7日（○）午前・午後 計3回実施
会場	【西区】横浜国際協力センター GALERIO
参加児童数	37人
企業・団体等名	横浜市国際局グローバルネットワーク推進課
参加の目的 (150文字程度)	前半は、世界の11人に1人が飢餓状態にあることや、世界の栄養状況の改善のために活動する国際機関（国連WFP）の役割について、 後半は、先進国のフードロスの現状や改善策について学ぶことで、世界の食糧問題に対して自分たちができることを考え、実践してもらう。

■ プログラム内容

まず、IFADユースクラブによるアイスブレイクで、自己紹介と食に関するクイズに取り組みました。

そして、前半の国連WFPの講演では、世界の飢餓やWFPの支援活動についてクイズ等も交えながら学び、講演を聞いた率直な感想についてグループで話し合い、発表をしました。

後半の資源循環局の講演では、先進国のフードロスの現状や改善策についてクイズやグループワークを交えて学び、最後に、自分たちが今日からできることについて話し合い、発表をしました。

■ 当日の流れ

- ・アイスブレイク（IFADユースクラブ）
- ・講演①（国連WFP）
- ・グループワーク①
- ・講演②（資源循環局 3R推進課）
- ・グループワーク②



真剣な眼差しで講演を聞いている様子



問いかけに、子どもたちが積極的に答えている様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

最初は緊張気味だった児童の皆さんですが、アイスブレイクや講演中のクイズ、グループワークを重ねるうちに、みるみる笑顔が溢れ、積極的に質問をしたり、自分の意見を発表する様子も見られるなど、とてもにぎやかな雰囲気でした。

そして、世界の飢餓やフードロス問題について、「人から言われてからではなく、自分の頭で考えていきたい」といった頼もしい感想もいただきました。

以下は、児童の皆さんのご意見・感想の一部です。

- 世界で起きている問題を身近に感じられるようになったので、もっと世界に目を向けていきたい。
- 学校で、友達に今日聞いたことを教えてあげたいと思った。
- 小さなことを自分たちが行っていれば、いつか世界の人たちを助けることができると思った。家でもできることは実践したい。



フードロス削減メニューを発表している様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

真剣な表情で講演に参加したり、笑顔で楽しそうにグループワークをしている子どもたちの姿から、私たち大人が活力をいただきました。

今後も、世界の様々な課題をこのようなイベントを通じて発信し、子どもたちに“自分事”として考え、行動してもらえよう取り組んでいきたいと思えます。

(横浜市国際局グローバルネットワーク推進課)

世界の飢餓問題について学び、自分にできることを一生懸命考えて発表する姿がとても頼もしく、励みになりました。

今後も世界でどんなことが起きているのか伝え、子どもたちの学びの一助になれば幸いです。

(国連WFP)

子どもたちが、楽しく積極的に参加してくれたので、講義をしているこちら側も、楽しく行うことができました。

自分たちの日常生活と世界で起きていることが、どう関係しているのかを考えていただける良い機会となりました。

(横浜市資源循環局 3R推進課)



課題解決に向けて今日からできることを発表している様子



大人も一緒に、グループで話し合う様子

No.とプログラム名	No.61 夏休みの思い出に！「焼肉のたれ」手作り体験
実施日・回数	8月6日(火)、7日(水) 10:00～11:30、14:00～15:30 計4回実施
会場	【西区】エバラ食品工業株式会社 本社
参加児童数	35名 (当選者数40名 欠席者5名)
企業・団体等名	エバラ食品工業株式会社 広報IR部
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市企業として、地域貢献活動の実施 ・会社の認知度向上 (エバラファンづくり) ・従業員のエンゲージメント向上

■ プログラム内容

「焼肉のたれ」の味づくりの方法や工場での製造工程を学んだのち、班ごとに複数の原材料を使って「焼肉のたれ」を作り上げる。その後、食材(肉や野菜)で、出来上がったたれの食べ比べを行う。

■ 当日の流れ

	内容
①	たれのブレンド体験 <ul style="list-style-type: none"> ・「焼肉のたれ」の味づくりの方法や工場での製造工程を学ぶ ・班ごとに、「焼肉のたれ」をブレンド：味を見ながら、ベースの調味料に原材料を加えていく
②	ショールーム見学 展示物案内、フォトスペースでの記念撮影、エバラ食品の商品チャームのガシャポンチャレンジ
③	作ったたれで試食タイム 焼肉・焼野菜を使って、各班が作った「焼肉のたれ」の食べ比べをして、感想や気づきを発表



班ごとにたれをブレンド：味見をしながらブレンド



出来上がったたれの食べ比べ



感想や気づきを発表

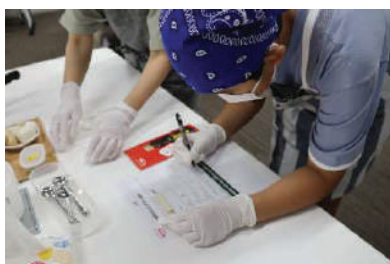


■ 参加児童の様子や意見、感想など（アンケート結果より抜粋）

- ・班の人とコミュニケーションをとって、協力してたれを作ることができたので、とても楽しかったです！またやりたいと思いました。
- ・1人で作るのではなく他の人と協力して作る、他の人と意見交換をして一つの物を作るのは、良い社会経験になった。
- ・味比べができたのがとてもよかったです、少量でも味の違いがあるのだと感心しました。
- ・自分で考えて、オリジナルのたれを作るという想像していなかったで、とてもワクワクして楽しかったです。
- ・自分達だけのたれを作れて楽しかったです、たれの食べ比べも色んなものを食べられて良かったです。
- ・全部満足、試食があるとは思わなかった、全部のたれが美味しかった。
- ・たれ作りの工程を知れて、実際に作ってみて、働いている方がしていることの勉強にもなりました。



たれに入れる
すりおろしりんごの準備です



入れた原材料の量を
素早くメモしていました



各班でブレンドしたたれの加熱は
スタッフが担当しました



たれの食べ比べでは、「自分の班が
一番おいしい！」という声が複数あがりました

■ 企業・団体の気付きや感想など

- ・子どものみならず、保護者の方々もたれ作りを真剣に楽しんでくださっていた。
- ・初対面のグループで一つのたれを作り上げることは初の試みだったが、保護者にも参加いただくことで、比較的スムーズにコミュニケーションを取っていただくことができた。
- ・普段味作りをしているスタッフ自身が、自身の業務の魅力に気付く機会になり、業務経験や刺激に繋がった。



全体を通して、参加者のみなさまが楽しむ姿を見て、当社スタッフも自然と笑顔になりました。
初エントリーでしたが、学びや収穫の多い試みとなりました。ありがとうございました。



自己紹介タイムでは、
保護者の方々が積極的に
話してくださいました



班で協力しながら、りんごをすりおろしたり、
原材料を入れていました



原材料を入れる際、すり切
計量の方法を子どもたちは
大人から教わっていました



たれの食べ比べは
大半の方が初体験、
一つ一つのたれを
味わっていただきました

No.とプログラム名	No.62 みなとみらい線お仕事体験
実施日・回数	8月6日(火)、8月7日(水) ①10:00~12:30 ②13:30~16:00 合計4回実施
会場	【西区】横浜高速鉄道株式会社みなとみらい線 新高島駅及びみなとみらい駅
参加児童数	29人
企業・団体等名	横浜高速鉄道株式会社 経営管理部
参加の目的 (150文字程度)	横浜市内の小学生にみなとみらい線の駅係員の仕事を体験してもらい、将来鉄道業界で働くことのきっかけづくりにつなげる。

プログラム内容 (子どもたちが体験したこと)

- ・ 窓口処理機体験、券売機室見学
- ・ 自動改札機見学、構内アナウンス体験

当日の流れ (各所要時間合計とバッファで1回につき約2時間30分)

- ・ 新高島駅改札集合→新高島駅研修室に移動→制服、帽子、一日駅長褌の着用 10分
- ①オリエンテーション 10分 (体験プログラムの概要説明)
- ②講話 10分 (テーマ：準備をすることが大切、鉄道王国日本は分刻みの仕事)
- ③みなとみらい線キャラクター「えむえむさん」と記念撮影 10分
- ・ 新高島駅→みなとみらい駅 (電車移動) 10分
- ・ 体験プログラム (窓口処理機体験 15分、券売機室見学 15分、自動改札機見学 15分、構内アナウンス体験 20分)
- ・ みなとみらい駅駅長室 本日の振り返り、駅長と記念撮影 20分



駅係員自己紹介



展示物見学の様子



当社キャラクターと記念撮影

企業・団体の気付きや感想など (駅係員コメント)

- ・受付開始時間、どの方々も30分近く前からお越し頂き、電車Tシャツや当社キャラクターのキーホルダーをお持ちのお子さまが多く、鉄道業界に関心がある方の当選で安心しました。
- ・受付後研修室にて、当社の展示物をご覧頂きましたが熱心に見学され、お子さまからも「知ってます。」というお声がありました。
- ・各体験中は限られた時間の中、駅係員が説明やご案内をさせて頂きました。マイク放送などは「もう一度やりたい。」とお声が殆どの参加者からあり、積極的なお声に対し何度か楽しんで頂きました。
- ・お子さまだけではなく、保護者の方が笑顔で(最後の閉会時まで)喜んで頂き、駅係員も笑顔を頂き、今回の機会に感謝します。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



開会までの時間は、展示物を見てその後駅長よりお話、説明の様子



(写真左)

窓口処理機体験、駅での乗車券の精算処理や運賃の調べ方など説明。皆さん楽しんでおりました。

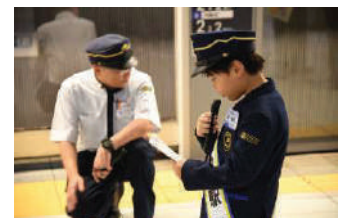
(写真右)

券売機の裏側を説明。切符はどう作られるのか？中を開けて皆さんで体験し驚かれていました。

企業・団体の気付きや感想など

- ・鉄道が大好きな児童が参加。全てのことに興味津々で取り組む姿勢が窺えました。
- ・将来鉄道会社で働くために、今何を勉強しなければいけないか、保護者の方々からも熱心なご質問をいただきました。
- ・構内アナウンス体験（ホーム放送）が一番人気でした。駅係員が感心させられるマイクパフォーマンスをする児童もおりました。
- ・児童1人に駅係員1人のマンツーマン体制を取ったことで、児童及び保護者の満足度が高まったと考えます。
- ・機械の中や駅務室を見学した結果、駅を運営する仕組みを子供ながらに理解している様子で驚きました。物事の流を理解するという機会は今後の生活にもきっと活かされると感じました。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



ホーム放送体験の様子、1人1回ですがお子さまから大好評で2回、3回とチャレンジされていました。



(写真左)

窓口処理機体験、駅での乗車券の精算処理や運賃の調べ方など説明。皆さん楽しんでおりました。

(写真右)

ホーム案内の様子

No.とプログラム名	No.63 SDGsを通じてNPOのお仕事を理解しよう！
実施日・回数	8月6日（火）午前 計1回実施
会場	【緑区】まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY. 緑区事務所3Fセミナールーム
参加児童数	8人
企業・団体等名	特定非営利活動法人 まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.
参加の目的 (150文字程度)	NPO法人の仕事や仕組み、社会での役割を広く知ってもらい、当団体が推進している「SBC.s SDGs」というSDGs啓発事業を子どもたちに知ってもらう良い機会として捉え、昨年に引き続き参加しました。SDGs×地域という難しいテーマを、早い段階から理解と興味を促すきっかけづくりも目的です。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

前半はNPO法人の仕事や役割を説明し、続けてSDGsに関する話をしました。休憩を挟んで後半は「SDGs横浜18区パズル（当団体オリジナル）」を2グループに分かれて体験してもらい、最後に本日体験したことの感想を各自発表してもらいました。

当日の流れ

- 1 10時～10時50分：NPO法人やSDGsに関する講話
- 2 10時50分～11時：休憩
- 3 11時～11時30分：SDGs横浜18区パズル体験ワークショップ
- 4 11時30分～11時45分：振り返り会（感想発表）



講話をしている様子



パズル体験の様子

参加児童の様子や意見、感想など

参加者は男子4人女子4人と、ちょうどよくテーブルに分かれ、グループになりました。

男子4人は学校も違い、初めて会ったにも関わらず仲良くなったようで、積極的に質問してくれ、会場を盛り上げてくれました。

女子は小3が2人いたので、ちょっと講話は難しそうな印象でした。女子4人は物静かでしたが、パズルは積極的に参加し、楽しめたようでした。

SDGsの話なのでパズルの時は男女混ぜたかったのですが、男女ともそのままやりたい雰囲気なので、尊重しそのままにしました。

パズルは大人でも難しいのですが、大人のスタッフがヒントを出し、子どもたちは楽しんで協力し合い、かなりの正答率でした。

最後の感想発表も「またやってほしい」といった声も聞かれ、嬉しい限りでした。



講話中もたくさん質問が出ました。



最後の感想発表の様子

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

企業・団体の気付きや感想など

小学生とはいえ、なかなかSDGsなどについて関心が高く、知識もありました。

そういった子どもたちを相手に、こちらとしては、やりがいのあるプログラム提供となり、社会の仕組み、なぜNPOが必要なのか？なぜ持続可能性が重要なのか？という難しいテーマを理解してもらえたと手応えを感じました。

学生サポーターの気付きや感想など

学生サポーターも子どもたちの知識に少し驚いたようです。また子どもたちの元気さにも圧倒されていました。


パズル体験の時も子どもたちと一緒に進める様子が見て取れました。



↑↓パズル体験と学生サポーターの様子



子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

No.とプログラム名	No.64 看護とリハビリのお仕事を体験してみよう 
実施日・回数	8月6日（火）午前、8月8日（木）午後 計2回実施
会場	【緑区】昭和大学保健医療学部横浜キャンパス
参加児童数	56人
企業・団体等名	昭和大学保健医療学部
参加の目的 (150文字程度)	看護やリハビリテーションの仕事に従事する「看護師」「理学療法士」「作業療法士」の仕事を体験し、医療系の職業について興味や関心を持ってもらう。また、「医療職」が社会の中でどのような役割を担っているかを知ってもらえるようにする。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ①お仕事紹介，②各分野の職業体験，③振り返りの会
【看護師】 点滴の調整，消毒と包帯を巻く作業
【理学療法士】 身体を上手に使うってジャンプ力向上，アイシング体験
【作業療法士】 食事の補助用具の使用，手の装具づくり

📅 当日の流れ

*①～③はグループごとに順番にまわる

時間	内容
12:30	受付開始
13:00	挨拶
13:05	本日の流れについて説明
13:10	各お仕事紹介（大学生）
13:20	グループに分かれて移動
13:25	①看護師
14:10	②理学療法士
14:55	③作業療法士
15:45	振り返り 1 G
	振り返り 2 G
	振り返り 3 G
16:05	全体まとめ
16:15	参加証授与・閉会の挨拶



👉看護師体験ブース
(点滴の調整をする様子)

👉理学療法士体験ブース
(ジャンプ力を上げるための準備運動)



👉看護師体験ブース
(傷の消毒をする様子)



👉作業療法士体験ブース
(手の不自由な方のための装具作製の様子)

参加児童の様子や意見、感想など

- ・看護師の点滴の調節を音楽に合わせてやるのが難しかったけど**楽しかった**。
- ・ジャンプ力向上チャレンジは、1回目飛んだ後に体操みたいなのをやって、2回目に記録があがったから**すごい楽しかった**。
- ・全部が**楽しくて学べて嬉しかった**。いつもできないことができたり、触れたりするのも楽しかったですし、1つ1つ丁寧に教えてくれたのですごいわかりやすかったし、**勉強になりました**。
- ・**普段ではできない体験をさせてもらって、楽しかったです**。普通の学校生活でもできそうなこともあったので、それを活かしてやっていきたいと思いました。
- ・もしも利き手を怪我で使えなくなってしまうとき、補助用具を使って食事をすれば食べやすいだろうし、不便もなくなっていいと思いました。**私もこんな道具を、困っている人たちに教えてあげたいと思いました**。
- ・今日はたくさん、**看護師や理学療法士や作業療法士のことが知れて楽しかった**。
- ・医療系の仕事のことはあまり考えていなかったけど、今日体験してみても**医療のことを少しだけ知れて興味を持ちました**。
- ・看護師がやると思うよりいっぱいあったけど全部体験してみても**大きくなったら看護師になりたいと思いました**。
- ・**またやりたい！楽しかった！昭和大学って楽しいし、すごかった**。
- ・看護師さんは、私たちがやるのが難しいことを目にもとまらぬ速さでやっているの**すごいと思いました**。
- ・学べてよかったし、**学生の方が、僕達のために頑張ってくれていた**ので、とてもうれしくて**楽しかったです**。
- ・どの仕事も楽しかった。**理学療法士が一番興味を持って、それはジャンプの他にも記録を伸ばしたいからです**。
- ・3つの職業を体験してみて、**どの職業も人のためになるようなもので、とてもやりがいを感じられそうな職業でした**。
- ・おねえさんやおにいさんにわかりやすい説明を受けながら、**楽しく体験ができて、嬉しかったです**。 などなど・・・



👉 作業療法士体験ブース
(補助具を使って豆をつかむ様子)

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



👉 理学療法士体験ブース
(アイシングの説明を受ける様子)



👉 振り返りの会
(グループに分かれて体験の感想を発表)

企業・団体の気付きや感想など

本学は、子どもアドベンチャーカレッジの参加は3回目になります。今年も、毎年多くの応募があるため、2日間開催し、参加者の増員をはかりました。横浜市緑区にある昭和大学保健医療学部、横浜キャンパスの地域連携推進委員会の職員が中心となり、計画と準備を行いました。子供達に楽しい体験と医療に関する職業を知ってもらいたいという思いを込めて、5月から準備を進めてきました。暑い時期の開催なので、熱中症にならないように水を配布して、体験中も適宜水分補給を促し、安全面の配慮をしました。

当日は、本学の学生が主体となって運営し、受付からお仕事紹介のプレゼン、体験のサポート、振り返りの会の司会などの役割を担ってもらいました。学生は、子供達1人1人に丁寧に接して、話を聞き、笑顔で対応していました。子供達も大人が話すよりも話しやすい様子で、最初緊張していた子供も徐々に笑顔が増えていきました。また、子供中心の体験ではありましたが、一部の体験では、保護者の皆様にも参加していただきました。体験を通じて「楽しい」「嬉しい」「興味をもった」という声とキラキラした表情を見ることができて、こちらも嬉しく励みになりました。また、本学の学生も子供達との関わりからコミュニケーションや医療的な技術を人に伝える難しさを学び、医療人としての成長にも繋がっていると感じます。

世の中には様々な職業がありますが、この体験を通じて少しでも看護師・理学療法士・作業療法士に関心を持ち、将来、医療を担う仲間になってくれたら嬉しいです。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



👉 受付



👉 閉会式



👉 みんなで記念に！(参加者と大学生、教員)

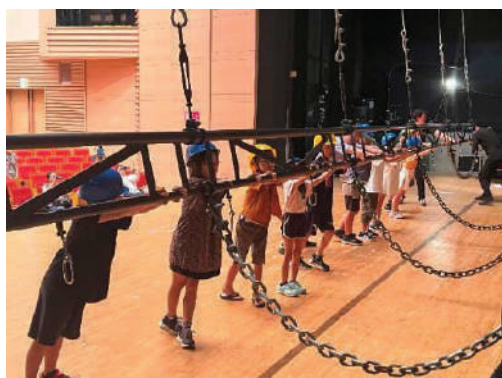
No.とプログラム名	No.65 ホールのお仕事探検ツアー
実施日・回数	8月8日(木) 午前11時～、午後2時～ 計2回実施
会場	【緑区】横浜市緑区民文化センターみどりアートパーク ホール
参加児童数	23人(午前の部:13人、午後の部:10人)
企業・団体等名	横浜市緑区民文化センターみどりアートパーク
参加の目的 (150文字程度)	ホールにはどのような仕事があるのか具体的に知ってもらい、コンサート・演劇などを鑑賞する際、一步踏み込んだ見方をしていただくと共に、より一層みどりアートパークに親しみを持ってもらう為。

■ プログラム内容

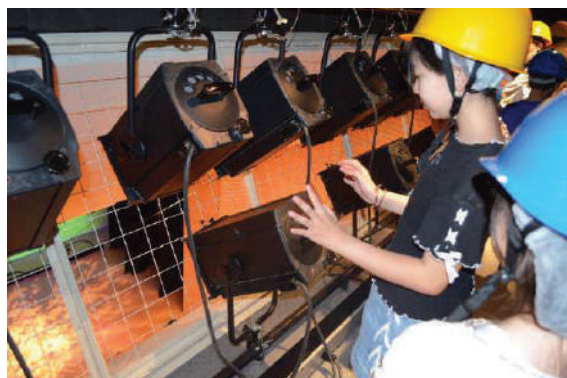
舞台・音響・照明効果などの説明、調整室(音響・照明)操作体験、シーリング(照明機材)室・キャットウォークなど見学、音響反響板・ピアノ体験など

■ 当日の流れ

ホール内(舞台・音響・照明説明)⇒調整室⇒シーリング室・キャットウォーク⇒舞台上(音響反響板・ピアノ・記念撮影)⇒振り返り会(客席内)



舞台上で音響反響板の撤収体験



照明設備(シーリングライト室)見学

■ 参加児童の様子や意見、感想など

興味深く音響・照明卓・ピンスポットの操作をしたり、各種のスピーカーから出てくる音の違いや効果に驚いていました。

「ピアノの値段に驚きました。」 ※YAMAHA CFX 約2,000万円

「自分で操作が出来て楽しかった。」

「普段入れない所に行けて、面白かった。」

「ホールの中には、いろいろな機械があるのを初めて知りました。」



音響調整卓の操作体験



ピンスポットの操作体験

■ 企業・団体の気付きや感想など

参加予定人数の6倍近いお申込みをいただきました。参加されたお子さんも楽しんでいただけたようなので、来年も実施しようかと検討しています。

また付き添いの保護者の方も、興味深そうに舞台の説明などを聞いていただけただけなので、すべての体験に、親子で参加していただいても良いかと思いました。

■ 学生サポーターの気付きや感想など

学生サポーターの方は、当日体調不良により欠席されました。



ピアノの演奏をして、音響反響板の効果体験



舞台上で、照明効果の説明

No.とプログラム名	No.66 めざせ！お箸マイスター ～箸を作って、使って、考えよう～
実施日・回数	8月6日（火）8月7日（水）8月8日（木） 各日 午前・午後 計6回実施
会場	【磯子区】横浜市社会教育コーナー 研修室 【南区】大岡地区センター 会議室 【戸塚区】戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース
参加児童数	169人
企業・団体等名	特定非営利活動法人 みんなのお箸プロジェクト
参加の目的 (150文字程度)	子どもたちが箸の文化を学び、箸作りを体験することで、箸が単なる食具ではなく、日本の文化の象徴であることを知り、自国の文化を大切に思う心を育てたいという事と、保護者の方々にも当団体の活動を理解してもらい、活動を広めることを目的に参加致しました。

■ プログラム内容

「世界へ羽ばたく子どもたちのために、日本の文化を伝える」
箸は単なる食具ではなく、命を繋ぎ感謝するための日本文化として捉える。
箸の語源・歴史・世界の三大食事方法などクイズ形式でわかりやすく説明し、
「はし」の語源を知ることにより、「いただきます」の意味を知り、自然界の恵み動植物の命への感謝を考える。

箸を上手に持つためには、自分の手にあった箸（一咫×1.5）が必要なことを学び、手のサイズに合わせてマイ箸を作る。

作った箸で、箸の持ち方の練習、箸の置き方、和食の基本配膳。

ワークシートを基に気付きや自分ができることなど、グループで話し合い、各自発表。

■ 当日の流れ

ガイダンス・お箸クイズ	20分
箸作り体験	30分
箸の持ち方練習	20分
グループワーク・発表	20分



ワークシート



箸作り体験



バーニングペンで箸に名入れ

参加児童の主な感想・意見

これからお箸の持ち方を頑張りたいと思いました。（小5）



食事をするときは、マナーを守り自分も相手も楽しく食事ができるようになります。これから友達や周りの人に今日学んだことを教えたいです。（小6）



思ったより箸のマナーが多いことと、自分のひとあてで箸の長さが決まることやどうして箸の持ち方が決まったのか知れた。（小4）



お箸のことがクイズでよくわかった。作ったお箸で毎日練習しようと思った。（小3）



箸の持ち方練習

保護者のアンケートから

*箸のクイズから始まり箸の長さや持ち方で、子どもの興味が続くような全体の流れで終始楽しそうに参加していました。スタッフの方みなさんが優しく丁寧に声掛けしてくださって、誰一人置いていかない姿勢がとても素敵だなと思いました。参加して良かったです。

*発達障害の為集団行動が苦手andこだわり強く、指導しづらかったと思いますが、排除せずに参加させてくださり感謝しています。

*箸に対する知識は大人の私も知らないことを知ることが出来て興味深かったです。子どもが気になったことを掘り下げて自由研究にさせてもらおうと思っています。

*箸の持ち方指導の時に「小学生は自分で考える」「自分でやろうと思わなければ出来るようにならない」と毅然と伝えてくれてよかったです。親もいつも言っていることですが、親以外の大人に言われるというのはありがたい経験です。グループワーク時は、もじもじしている子ども達を学生ボランティアの方がリードして発表出来るようにしてくれていてとてもよかったです。

*箸についての知識や箸作りの体験はもちろん、初めて会う大人に褒められたり、初対面の子と対話したりといったことが子どもたちの貴重な経験になったと思います。子どもが箸の講座を選んだ時は、正直今更？という思いが強かったのですが、今日は参加してよかったです。ありがとうございました。

■ 企業・団体の気付きや感想など

- * 1か月以上前からサポーターの学生にプログラムの構成から関わってもらうことで昨年より行き届いたより良いプログラムとなりました。
- * 今年は、子どもたちのグループワークの時間に保護者の方へアンケート入力をお願いしたところ予想を上回る74%と回答率も良く、多くの声を頂戴し今後の活動に活かしたいと思います。
- * 申し込み受付、当選結果通知、電話での問い合わせ対応など事務作業の人的負担が多く苦労しました。2年目の参加ですがキャンセルが多く、この日のために準備した材料費の負担が大変大きいです。この催しは教育委員会主催事業です。せめて会場費の減免は、強くお願いしたいと思います。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

■ 学生サポーターの気付きや感想など

- * 子どもたちのコロコロ変わる表情を見るのがとても楽しかったです。今回の体験を次につなげたいと思います。
- * 私自信、勉強になることがとても多く良い経験になりました。企画を通して子どもたちや団体の皆様と関わることができ、とても充実した体験をすることができました。とても楽しかったです！



V 参考資料（プログラム詳細一覧）

No.	プログラム名	対象 (小学3～6年生)				プログラム説明	参加費	実施日と時間			会場		定員	企業・団体等名称	
		3	4	5	6			8月6日	8月7日	8月8日	区	会場			合計
1	SDGsチャレンジ! 夏のハンドでオリジナルの標記を作ろう!	●	●	●	●	夏のハンドを使って、世界に一つだけのオリジナル標記を作る体験ができます。SDGsのアイコンに添えて、リユースの仕方や環境について学びましょう。手紙で、きって、つけて、めざせSDGsマスター!	無料	—	14:00～16:00	—	青森区	株式会社アップグレーダグループ 本社	20	20	株式会社アップグレーダグループ
2	ごみ焼却場で機械・電気のお仕事を学ぼう!	●	●	●	●	普段の見学では、行くことができない工場の裏面に潜入して、ごみ焼却場の仕事を学ぼう!ごみ収集車に乗って、ごみ収集体験もやってみよう!	無料	—	—	①9:30～12:00 ②13:30～16:00	旭区	横浜市資源循環局旭工場	10	20	横浜市資源循環局旭工場
3	みんなを下から支えている 意外と知らない、知ってほしい下水道	●	●	●	●	トイレや洗面所を流した下水のお話と、下水道のロケットで下水道の中を見てみよう!	無料	—	—	13:30～15:30	旭区	青森工業株式会社横浜技術センター	15	15	青森工業株式会社 (横浜IMLG包括IV)
4	【科学】ってなんだ?	●	●	●	●	意外とひらき!【科学】の世界を、手を動かしながら体験したり、科学館のお仕事について紹介いたします。	無料	—	10:30～12:00	—	磯子区	はまごん ども宇宙科学館	12	12	はまごん ども宇宙科学館
5	みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう!社会教育士のお仕事	—	—	●	●	社会教育士について知り、私たちのまちや暮らしの中にあるさまざまな課題に悩めるきっかけします。参加者同士が仲良くなるゲームやクイズを通して、「みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう」をテーマに自分たちができることを話し合います。	無料	—	10:00～12:00	—	磯子区	横浜市社会教育コーナー	20	20	横浜市社会教育コーナー
6	病院のお仕事体験ツアー	—	—	●	●	病院には、いろいろな人たちが働いており、皆が協力して患者さんを治療しています。当日は、普段見ることができない場所を見学し、使用している機材なども使い、病院のお仕事について学びます。	無料	—	—	12:45～17:00	磯子区	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	20	20	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター
7	クルマのロボットを動かしてみよう!	●	●	●	●	車のロボットをプログラミング制御して、障害物を検知したり避けながらゴールまで走り進めます。講師はマツダの制御開発エンジニアです。自動車の安全技術等も紹介します!	無料	①10:00～11:30 ②12:45～14:15 ③14:30～16:00	①10:00～11:30 ②12:45～14:15 ③14:30～16:00	—	神奈川	マツダR&Dセンター横浜	10	60	マツダ株式会社
8	情報発信のお仕事を体験しよう!	—	●	●	●	普段YouTubeとWEBライターがどうやって情報発信を行っているのか体験することができます。	無料	—	—	13:00～15:00	神奈川	六角橋地域ケアプラザ	5	5	株式会社LOCAL JAPAN、株式会社AMAIN
9	大地震発生!とそのと、わたしにできること	●	●	●	●	令和6年能登半島地震の被災地で活動した消防員による小学生向けの地震講話や地震体験、ARを使った避難所体験などを通して、もし被災したどうするのかを笑顔でもらい、最後はみんなでディスカッションをして、「わたしにできること」を学びます。	無料	①9:45～12:20 ②13:45～16:20	①9:45～12:20 ②13:45～16:20	①9:45～12:20 ②13:45～16:20	神奈川	横浜市防災センター	30	180	横浜市消防局横浜市民防災センター
10	地域のコミュニティスペースでまちづくりのお仕事を体験しよう!	●	●	●	●	まちづくりを運営しているコミュニティスペースで従業員としてコミュニティの企画・運営のお仕事を体験することができます。地域の商店街会長からお話を聴いて、地域活動の大切さを学びましょう。	無料	①10:00～12:00 ②13:00～15:00	—	①10:00～12:00 ②13:00～15:00	神奈川	オアシスデラナ	8	16	大神商店
11	動物愛護センターのお仕事を学ぼう!	—	—	●	●	センターの職員の話を通して、動物愛護センターの仕事と学ぶ犬や猫のケアについて学びます。クイズやマイクロボットの読み取り体験もできます。	無料	—	10:00～12:00	10:00～12:00	神奈川	横浜市動物愛護センター	50	100	横浜市動物愛護センター
12	「夏休みの勉強会」	—	●	●	●	石は何?みんなの身近にある石、石は何に使われているの?水石の観察や石を使った実験を通して石のことを勉強します。	500円	—	13:30～15:30	—	神奈川	かながわ県民センター	50	50	神奈川鉱物研究会
13	MANABIYA「一個の石けんから地球環境を考えよう」	—	●	●	●	1.工場見学や実験を行いながら石けんの性質・特徴を学ぶことが出来ます。・ワークショップでオリジナル石けんを作ります。(こねこねけん)・身近なSDGs貢献活動を学ぶことが出来ます。	無料	9:30～12:00	—	9:30～12:00	神奈川	太陽油脂株式会社本社	10	20	太陽油脂株式会社
14	ロボットとパネルでプログラミングを楽しもう!	●	●	●	●	KUMITAを使いプログラミング基礎を体験することができます。授業、必要となる論理的思考力を養う事ができます。	無料	—	—	①10:00～11:45 ②13:30～15:15	神奈川	神奈川県情報サービス産業協会 第2支部ビル8階	18	36	株式会社ICON
15	オートバックスのお仕事を体験しよう!	●	●	●	●	オートバックスのツナギを育てる本物の自動車や工具を使って整備士の仕事を体験してみよう!普段見えないオートバックスの裏側を特別公開!最後に修了証を交付します!	無料	—	—	①10:00～12:00 ②14:00～16:00	金沢	スーパーオートバックス横浜ベイサイド	8	16	株式会社アイエー
16	元氣なからだをまもる!～看護の道具と技を体験してみよう～	●	●	●	●	医療現場で働く人たちは、いろいろな道具や技(わざ)を巧み(たくみ)に活用して、みんなのからだを元気でいるようにまもってくれています。皆さんと一緒に、医療現場で使われているモノの道具や技を使って、元氣なからだを知る方法、元氣なからだをまもる方法、元氣なからだを取り戻す方法を体験しませんか。医療や看護、元氣なからだをまもる道具や技に興味のある皆さん、ぜひご参加ください。お待ちしております。	無料	—	—	13:00～15:00	金沢	横浜市立大学看護学キャンパス看護教育研究棟	30	30	横浜市立大学医学部看護学科
17	シーサイドライン車両基地を探索しよう!	●	●	●	●	普段見ることができない車両基地内部に潜入し、シーサイドラインの仕組みを学ぼう!	無料	—	—	①10:00～12:00 ②13:00～15:00	金沢	株式会社横浜シーサイドライン本社	15	30	株式会社横浜シーサイドライン
18	不用になった素材で工作しよう! アップサイクル体験!	●	●	●	●	日常で目にする「ごみ」のことについて考えてみよう。「ごみ」の知らなかったことがわかるよ。不用になったものは全部「ごみ」?工作の時間や不用になった素材を使って新しいものを創ることで、「無駄にしない」「もったいない」という心を育て、ものづくりの楽しさを体験できます。	無料	10:00～12:00	—	—	金沢	武松商事株式会社 エコクルファクトリー	10	10	武松商事株式会社
19	みんなの生活をささえるごみ処理のお仕事	●	●	●	●	ごみ処理の仕事を知ってもらったり、ごみ収集車やごみ焼却工場を体験できます。ごみクレーンの運転や機械の修理など、ごみ焼却工場の仕事も体験できます。サイエンス教室では、ごみについての化学的なことを楽しく学びます。	無料	—	—	①10:00～12:00 ②13:30～15:30	金沢	横浜市資源循環局金沢工場	8	16	横浜市資源循環局金沢工場
20	福祉のお仕事ワタク体験	●	●	●	●	身近にある老人ホームって?高齢者って?等の疑問点をわかりやすくご説明します。また車椅子の使用方法や高齢者の疑似体験も準備しております。体験される皆さんの協力には実際に高齢者が見上げるお言葉を準備しますので是非ご協力ください。車椅子の疑似体験との触れ合いやさまざまな方法を通して高齢者の方と触れ合い体験を行います。楽しみながら福祉や介護への興味を持っていただくきっかけになる事を目的としています。	無料	—	10:00～14:00	—	港南区	特別養護老人ホーム 芙蓉苑	20	20	特別養護老人ホーム 芙蓉苑
21	広報お仕事体験「選手紹介をつかってみよう」	●	●	●	●	仕事とプロ選手を両立するデュアルキャリアと呼ばれる横浜GRITSの選手の仕事や一日のスケジュールを知り、インタビューし、紹介シートを作成、ご自身の言葉で紹介していただきます。プログラムでご紹介・作成いただいた内容は試合時に試合会場に掲載、また試合時になんらかの形で発表いただく機会も考えております。	無料	—	—	①【3・4年生】 12:15～13:45 ②【5・6年生】 14:15～15:45	港北区	横浜スポーツウェルネス専門学校	30	60	プロアイスホッケーチーム 横浜GRITS
22	世の中を便利にするコンピュータのお仕事を学ぼう!	●	●	●	●	コンピュータがどんなところで使われているのか、どのように私たちの生活に役立っているのか一緒に考えてみましょう。世の中をどんな便利にする仕事について理解を深めましょう。	無料	—	—	①10:00～12:00 ②14:00～16:00	港北区	タスクフォース本社	6	12	株式会社タスクフォース
23	学芸員と一緒に博物館の裏側を探索しよう!	—	●	●	●	博物館の裏側を探索することで、博物館の役割や学芸員の仕事、横浜の文化財について知ることができます。	無料	14:00～15:30	—	—	都筑区	横浜市歴史博物館	10	10	横浜市歴史博物館
24	漢方ってどんなもの?昔の道具をつかった作り体験!	●	●	●	●	漢方とくるとどんなイメージがありますか?漢方薬の歴史や作り体験はわたしたちの生活に身近な漢方のこと、クイズ形式で楽しく学びましょう。昔のすり鉢やすり臼を使った漢方の道具「薬研(やげん)」をつかったすり鉢づくり体験もできます。漢方薬はお待ち帰りいただけます	無料	—	—	①10:00～12:00 ②13:00～15:00	都筑区	横浜都筑ジェニスコミュニティ (見花山ビル)	10	20	ジェビーエス製薬株式会社
25	ごみ焼却工場の仕事を体験しよう!	●	●	●	●	バスに乗って普段見ることができないごみ焼却工場の内部を見学できます。ごみクレーンの操作体験もできます。	無料	—	—	12:30～15:15	都筑区	横浜市資源循環局都筑工場	40	40	横浜市資源循環局 都筑工場
26	ごみ資源物のゆくえ探検	●	●	●	●	ごみ焼却工場や資源センターの裏側を探索!収集車やごみクレーン等を体験しよう!	無料	—	—	①9:00～11:30 ②13:00～15:30	磯見区	横浜市資源循環局磯見工場	20	40	横浜市資源循環局磯見工場
27	赤ちゃんのお世話や抱っこを体験してみよう!	—	—	●	●	赤ちゃんの形を使った沐浴や着替え体験と、経絡ジャケットを使った経絡体験ができます。そして実際に子育て中のママやパパに話を聞き、子育てについて学びます	無料	—	13:00～15:30	13:00～15:30	戸塚区	8月7日 とつとつの芽 (川上町、モレウ東戸塚) 8月8日 とつとつの芽サテライト (上倉田町、ダイヤ駅)	5	10	戸塚区地域子育て支援拠点とつとつの芽 (NPO法人子育てネットワークゆめ)
28	あなたも看護のお仕事を体験してみませんか。	—	—	●	●	看護士のユニフォームを着て、看護の技術体験をすることができます。心臓の音を実際に聞いたり、鼻に挿入する・押す等の体験ができます。	無料	10:00～11:30	—	—	戸塚区	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 附属横浜看護学校	15	15	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 附属横浜看護学校
29	海の大切さを伝えよう～美しい海浜おしは教室～	●	●	●	●	浜辺に打ちあがる海浜を使った工作体験をすることができます。海の高の大切さを学び、海浜おしはのハガキを作ります。自然環境保全のため自分たちから出来る事は何か?考えてみよう	500円	—	—	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	戸塚区	とつとつ区民活動センター	16	32	UMIMORI～海もり～

No.	プログラム名	対象 (小学3～6年生)				プログラム説明	参加費	実施日と時間			会場		定員		企業・団体等名称
		3	4	5	6			8月6日	8月7日	8月8日	区	会場	合計		
30	気象予報士といっしょにお天気について学ぼう!	●	●	●	●	ペットボトルで雲を作ったり、ミニ竜巻発生装置を組み立ててみる観察したりするよ。また、突然の大雨や雷を引き起こすのはどんな雷がどうやって身を寄せたらいのかな? いっしょに考えてみよう!	500円	13:30~15:00	—	—	戸塚区	とつか区民活動センター	20	20	よこはま気象予報士サークルひまわり
31	子ども薬剤師体験セミナー	—	●	●	●	白衣を着て、本物の機械や道具を使って薬剤師の仕事体験しよう!	無料	—	—	①9:30~12:00 ②13:30~16:00	戸塚区	横浜薬科大学	8	16	横浜薬科大学
32	誰もが天才画家! 色の魅力を体験しよう	●	●	●	●	誰でも簡単に素敵な絵が描けるパステルアートで5感を使って絵を描き、色の不思議な力を学びましょう。	300円	—	10:00~11:30	—	戸塚区	とつか区民活動センター	15	15	お絵描き工房 光
33	太陽光パネルとTESLAの蓄電池で安心の生活を学ぼう	●	●	●	●	電気自動車・太陽光パネル・蓄電池の仕組みのお話を聞いて、自然災害に備える暮らしを学びましょう。実際の電気自動車用充電器・蓄電池を見ることが出来ます。	無料	—	①9:00~11:30 ②13:00~15:30	①9:00~11:30 ②13:00~15:30	戸塚区	ビエ・アイエービル	30	120	株式会社アイエーエナジー社・本郷スマートアセット株式会社
34	図書館のお仕事を体験しよう!	●	●	●	●	男女共同参画センターの図書館「情報ライブラリ」のお仕事を体験出来ます。どんな本があるのかな? 学校の図書館との違いは? 本の貸出・返却の作業や展示の作成など、実際に一緒に体験してみよう! その他にも、男女共同参画センターではどんなお仕事をしているのか、紹介します。男女共同参画センターが取り組んでいるSDGSの目標5「ジェンダー平等」についても、一緒に楽しく学びましょう!	無料	—	①9:30~11:30 ②13:00~15:00	—	戸塚区	男女共同参画センター横浜 フォーラム	6	12	男女共同参画センター横浜
35	「なんだろう」の森への大冒険! ~子どもための哲学カフェ	—	●	●	●	「友だち」ってなんだろう? 「自分」ってなんだろう? 「ふつ」ってなんだろう? 「正しい」ってなんだろう? そんなふうに考えちゃったりも小さな哲学者! そんな子どもたちが集まって真剣に意見を言い合い、真剣に意見を聞き合ううちに、何か大きな発見をするかも知れない。さあ「なんだろう」の森へ、みんなが冒険に出かけよう!	無料	—	13:30~15:30	—	戸塚区	とつか区民活動センター	20	20	アートの時間
36	手術で使う道具は工夫がたくさん! ~お医者さんが手術で使う道具を触って体験してみよう~	—	●	●	●	本物の手術道具を使ってお医者さんの体験をしてみよう! 工場見学を通じてどのように作られているかを楽しく学びます。	無料	①9:30~11:30 ②13:30~15:30	—	—	戸塚区	株式会社バイオファクスメディカルデバイス 横浜事業所	12	24	株式会社バイオファクスメディカルデバイス
37	映像をiPadでグループ制作して映像祭に参加しよう!	●	●	●	●	学校のGIGAスクールで使用しているiPad (団体のiPad) を使って映像の基礎を学びながら、グループ協働で映像制作しよう。撮影の基礎や編集 (CapCutアプリ) の基本を3回のワークショップで学んで、創造する楽しさや制作する面白さをみんなで共有してのぞみましょう。ドコモや地域の紹介、活動の紹介、アートの映像などなんでもOKです。映像祭にも参加できますよ。	無料	13:30~16:30	13:30~16:30	13:30~16:30	中区	さくらりペンギン (青少年交流・活動支援スペース)	40	40	キッズディレクター
38	オリジナルカードゲームの制作体験しよう!	—	●	●	●	デザインを担当している佐々木先生からお話を聞いて、デザインの役割を学びましょう。実際にオリジナルカードゲームをデザインする体験もできます。	無料	—	—	①9:30~11:30 ②13:30~15:30	中区	開成学院大学 横浜・関内キャンパス	30	60	開成学院大学 佐々木ゼミナール
39	学芸員の仕事を体験してみよう!	—	●	●	●	博物館で働く学芸員は大事なものを守ったり、調べたり、紹介したりしています。ふだんあまり知る機会のない博物館の仕事を知って、その一部を体験してみよう。もの見え方がそれまでと少し変わるかも!	無料 差別 盗入 盗料 (小学生200円) が必要 付添の保護者が入館する場合も入館料 (大人400円) が必要です。	—	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	—	中区	横浜入形の家	10	20	横浜入形の家
40	看護婦さんのお仕事を知らよう!	●	●	●	●	本物の血圧計や聴診器を使って、実際に測定してみよう。看護婦さんが、病院で働いている場面を観てみましょう。	無料	10:00~12:00	—	—	中区	横浜中央病院	10	10	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院
41	議事堂探検! 議員を体験!	●	●	●	●	「自分たちの住んでいる街の大切なことが、どのように決められていると思いませんか?」 参加可能な議事堂内を特別公開! 動画やクイズを交えて、議会の仕組み、議員の仕事をおもしろく紹介します。実際に議員室に立って議員体験もできます。	無料	—	10:00~11:30	10:00~11:30	中区	横浜市役所	40	80	横浜市議会協議政策調査課
42	キッズ・マネースクール	—	●	●	●	●信用金庫の仕事 (講義・見学) ●1億円のお金体験 ●お金の貯蓄体験	無料	—	—	①9:30~12:00 ②13:30~16:00	中区	横浜信用金庫 本店	20	40	横浜信用金庫
43	建設工事のお仕事を体験してみよう!	●	●	●	●	建設工事に関するお仕事について、体験と講話から楽しく学んでもらいます。プログラムを通じて、建設業がどんなお仕事なのか、皆さんが暮らしの関わり、また、建設業の大切さや楽しさを知って理解を深めてもらいます。	無料	—	—	①10:30~11:45 ②13:00~14:15 ③14:45~16:00	中区	ラジオ日本会議室	15	45	一般社団法人横浜建設業協会/横浜建設業青年会
44	子どもアドベンチャーカレッジ2024 ~お金の重さを感ぜよう!~	●	●	—	—	お金の流れ、銀行の役割を知ってもらおう職業体験を実施いたします。実際に現金を持って「おまさ」「大切な」を一緒に学びましょう! 【実施予定内容】 ①、お金の歴史、銀行の仕組みについて ②、銀行探検、お仕事を体験 ③、紙幣の発見、お金のつくりかたの使い方 ④、お金の重さまでクイズ (本物の1000円のおまさ体験) ※実施内容は予定であり、変更となる可能性もございます。	無料	①10:00~12:00 ②13:30~15:30	—	—	中区	神奈川銀行 本店	10	20	株式会社神奈川銀行
45	「情報の森」冒険の心構えを取材し、新聞にしよう!	●	●	●	●	記者となりニュースパーク (日本新聞博物館) で「情報の森」を冒険するに必要な心得を取材し、その結果を記事にまとめる、パソコンで新聞を作ります。元新聞記者が取材の仕方や記事のまとめ方、見出しのつけ方などをレクチャーします。作った新聞はプレゼント。	無料、大人 が必要 (要入館料400円)	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	中区	ニュースパーク (日本新聞博物館)	20	120	ニュースパーク (日本新聞博物館)
46	スポーツチームの色々なお仕事を学んでみよう!	●	●	●	●	スポーツチームで働くスタッフさんからお話を聞いて、どんなお仕事をしているか学びましょう。	無料	①11:00~12:00 ②13:00~14:30 ③15:00~16:30	①13:00~14:30 ②15:00~16:00	—	中区	横浜市役所	30	180	横浜市にぎわいスポーツ文化局 スポーツ振興課 協方:横浜F・マリノス、横浜エクセレンス、横浜FC、横浜キヤノンイーグルス、横浜ビー・コルセアーズ
47	クイズ! 「税金」サマースクール ~もしも、税金がない世界だったら?~	●	●	●	●	もしも、税金がない世界だったら、私たちの生活はどのように変わるのでしょうか? 税金に関するアニメを見て、税金クイズにチャレンジして、いっしょに楽しく税金について学びましょう!	無料	14:00~15:00	①10:30~11:30 ②14:00~15:00	①10:30~11:30 ②14:00~15:00	中区	横浜中税務署 (よこはま新港合同庁舎)	40	200	横浜市租税教育推進協議会
48	脱炭素社会実現に役立つバイオマス発電所の仕組みを学ぼう!	—	●	●	●	発電プラントを作っている会社の人から、バイオマス発電プラントの燃料や仕組みについてのお話を聞いて、発電所の仕組みとこの発電方式が脱炭素社会実現のために役に立つのかを学びましょう。	無料	—	—	①9:00~12:00 ②13:30~16:30	中区	三菱重工横浜製作所	20	40	三菱重工パワーイングスター株式会社
49	ダンボールで横浜のジオラマを作って、謎解きタイムトリップ!	—	●	●	●	関内周辺の地形のつくりかわりをダンボールジオラマで体験して、謎解きゲームで横浜の歴史を学ぼう。江戸~令和をタイムトリップしながら、次々と出される謎を解いて横浜のまちを教えるぞ!	無料	—	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	—	中区	関内カサハラビル	12	24	一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク
50	朝食の重要性を学び、ホテルシェフと一緒に調理&試食をしよう!	—	●	●	●	朝食の重要性を学び、生活リズムを整えよう。美味しい朝食メニューを横浜みなとみらいの三次ホテルシェフたちと一緒に調理&試食をしよう!	無料	①10:30~12:30 ②14:00~16:00	—	—	中区	横浜技能文化会館	16	32	一般社団法人 全日本司厨士協会 開成院会地方本部神奈川支部
51	夏休み子ども貿易教室	—	●	●	●	貿易や横浜港について学んだあと、普段は入ることのできない本牧ふ頭コンテナターミナルで、港側施設や荷役作業を見学します。港の物流の仕組みがありますが、コンテナを運ぶゲートリレーやフォークリフトを間近で見ることが出来ます。	無料	13:00~16:45	—	—	中区	本牧ふ頭コンテナターミナル	15	15	公益社団法人 横浜貿易協会
52	日銀の仕事にチャレンジ!	—	●	●	●	日銀の仕事を実験体験。お金について楽しく学びます。	無料	①10:00~11:30 ②13:30~15:00	—	①10:00~11:30 ②13:30~15:00	中区	日本銀行 横浜支店	12	48	日本銀行横浜支店
53	ペーパークラフトを使って、まちをデザインしよう!	●	●	●	●	ペーパークラフトを組み立てて、じぶんだけのまちをデザインしよう! ペーパークラフトに色塗りをし、建物をデザインしてもらいます。	無料	—	9:00~12:00	—	中区	横浜市役所1階 市民協働ラボ	8	8	横浜市都市整備局景観調整課

No.	プログラム名	対象 (小学3～6年生)				プログラム説明	参加費	実施日と時間			会場		定員		企業・団体等名称	
		3	4	5	6			8月6日	8月7日	8月8日	区	会場	合計			
54	ペーパータワーチャレンジ!	●	●	●	●	品が揃って高いタワーが倒れないのはなぜだろう? どんな工夫をすれば高いタワーが作れるのかな? 公益職員のお話にヒントがあるよ。チームのみんなで協力して紙のタワーを建設しよう!	無料	—	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	—	中区	KDX横浜関内ビル	24	96	公益財団法人横浜市建築安全公社
55	水と野菜のふるとと 道志村と昭和村を体験しよう!	●	●	●	●	横浜の水源【道志村】:水を蓄え、水を浄化し、洪水を緩和する水源の働きについて、実験を通して学びます。間伐材を使ったパズル遊びもあります。やさしい道【昭和村】:野菜の収穫方法や農業の現場を動画で学びます。また、昭和村とオンラインで繋ぎ季節の野菜紹介や農家さんとの交流も行います。	無料	①10:30~12:00 ②13:30~15:00	—	—	—	中区	横浜市役所	20	40	横浜市政策経営局広域行政課 横浜市外通局広域課 山梨県道志村 群馬県昭和村
56	横浜の未来を考えよう!~データを使って都市経営体験~	—	●	●	●	子どもたちがまちづくりの主役!みんなが学び暮らす横浜を、住みやすく魅力あふれるまちにするためには、どのようにしていけば良いのか、ワークショップ形式で、データに親しみながら都市経営を学びます。	無料	—	10:00~12:00	—	—	中区	横浜市役所	15	15	横浜市政策経営局データ経営課
57	木のストローを使ってSDGsの大切さを学んでみよう!	●	●	●	●	木(ウッドペーパー)をつかって、ストローをつくりまわす。ここから大人(おとな)まで一冊(いっしょ)に、たのしみながらSDGsについてまなぶことができます。夏休み(なつやすみ)の自由研究(じゆうけんまわ)にしませんか!?	無料	—	—	①8:00~10:00 ②11:00~12:00 ③13:00~14:00 ④15:00~16:00	—	西区	ヨコハマSDGsデザインセンター	10	40	ヨコハマSDGsデザインセンター
58	コールセンターお仕事体験!もしも自動車事故がおきたら?	●	●	●	●	受付コールセンターの本物の電話受付システムとインカムを使い、自動車事故の受付体験ができます。システムに事故内容を入力したり、事故状況を聞いて取りだし、端末操作をしながら受付をします。簡単なスクリプトを見ながら話をするので、誰でもコミュニケーション気分を味わえます。どんな風に電話がかかってくるのかな。親子で話しながら、受付を楽しんでね。保険のしくみも分かりやすく学ぶ、お勉強の時間もありますよ。	無料	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	—	—	西区	MMパークビル	10	40	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
59	最先端テクノロジーでAIライナー矯正をつくらう!	●	●	●	●	国家資格が必要な職業「歯科技工士」の仕事を知る!歯科技工士は、歯科医師とコミュニケーションしながら、新しい笑顔を創る職責です。進化し続けるクリアライナー矯正を通して、デジタル歯科技工の楽しさを紹介します。	無料	13:00~15:00	13:00~15:00	13:00~15:00	—	西区	オーシャンゲートみなとみらい	10	30	アライン・テクノロジー・ジャパン・トリートメント合同会社
60	「食べる」から世界を考えよう!	—	●	●	●	世界の多くの人が、食べ物が足りなくて苦しんでいることを知っていますか。しかし、世界中の食べ物の3分の1は、食べられずに捨てられてしまっています。みんながお腹いっぱい食べられるように頑張っている国際機関が横浜にはあります。その実際のお仕事について学び、私たちができることをいっしょに考えてみましょう。	無料	①10:30~12:00 ②14:00~15:30	①10:30~12:00 ②14:00~15:30	—	—	西区	横浜国際協力センター Y-PORTセンター公益連携オフィス「GALERIE (ガレリオ)」	20	80	横浜市国際グローバルネットワーク推進課
61	夏休みの思い出に!「焼肉のたれ」手作り体験!	—	—	●	●	焼肉のたれにはどんな材料が使われていて、どのように作られているのでしょうか。日ごたれの味づくりをしている人から話を聞いたのち、グループに分かれて相談や協力をしながら、たれ作りを体験します。	無料	①10:00~11:30 ②14:00~15:30	①10:00~11:30 ②14:00~15:30	—	—	西区	エバフ食品工業株式会社 本社	10組 20人	80	エバフ食品工業株式会社
62	みなとみらい線お仕事体験	●	●	●	●	自動改札機見学、窓口処理機体験、機内アナウンス体験、券売機見学	無料	①10:00~12:00 ②13:30~15:30	①10:00~12:00 ②13:30~15:30	—	—	西区	横浜高速鉄道みなとみらい線 みなとみらい駅、新高島駅	8	32	横浜高速鉄道株式会社
63	SDGsを通じてNPOのお仕事を理解しよう!	—	●	●	●	SDGs横浜18区パズルを体験して、持続可能な社会とは?を学び、みなさんの住んでる地域(横浜)にも興味を持ってもらいます。NPO法人とはどんな仕事をするのか理解し、将来の仕事の選択に、多様な取り入れのきっかけづくりの場を提供します。	無料	①10:00~12:00 ②13:00~15:00	—	—	—	緑区	川口ビル3階(緑区台町186)	15	30	特定非営利活動法人まちづくりエージェンシー SIDE BEACH CITY.
64	看護やリハビリのお仕事を体験してみよう!	—	●	●	●	実際の医療器具を使って看護師・理学療法士・作業療法士のお仕事を体験できます。大学の先生、大学生のお兄さんお姉さんからお話を聞いて、それぞれのお仕事の役割を学びましょう。3つ全部を体験してもらいます。	無料	12:30~17:00	—	12:30~17:00	—	緑区	昭和大学横浜キャンパス	30	60	昭和大学保健医療学部
65	ホールのお仕事探検ツアー	●	●	●	●	ふだん見ることのできないホール・ステージの裏側をのぞいて見よう!音響・照明の操作もできるよ!反響板ってなぬ〜?ステージで記念撮影もあるよ! ※当日はヘルメットをお貸ししますので、着用してください。※保護者の方は、ホール客席でお待ちください。	無料	—	—	①11:00~12:00 ②14:00~15:00	—	緑区	みどりアートパーク1階 ホール	20	40	横浜市緑区文化センターみどりアートパーク
66	めざせ!お箸マイスター ~箸を作って、使って、考えよう~	●	●	●	●	和食は世界へ誇る日本の伝統食です。その和食を日常的にいただくために箸は欠かせません。箸は単なる食具ではなく、命を繋ぎそして感謝するための日本の文化として扱われます。世界中の目も向けながら、日本の箸の歴史、歴史から箸のあらゆる意味を学び、自分の手に合う箸のサイズを測り、箸作り体験をします。また、箸を正しく使える持ち方、更に茶碗と箸の持ち方も身に付け、美しい所作で食事をすることを目的とします。	1,200円	①10:00~12:00 ②13:00~15:00	①10:00~12:00 ②13:00~15:00	①10:00~12:00 ②13:00~15:00	—	—	緑区	8月6日【親子区】40人 8月7日【南区】35人 8月8日【戸塚区】80人	310	NPO法人 みんなのお箸プロジェクト

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

子どもアドベンチャーカレッジ 2024 実施報告

書 令和 6 年 12 月発行

横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課

〒231-0005 横浜市中区本町 6 -50-10

電話：045-671-3282 FAX：045-224-5863